

令和4年度

高齢者等実態調査報告書



令和5年3月

白岡市

目次

序章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の対象	1
3 調査の方法と期間	2
4 回収結果	2
5 報告書の見方について	3
第1章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	5
1 回答者の属性	5
2 家族や生活状況について	10
3 からだを動かすことについて	14
4 食事・食べることについて	22
5 毎日の生活状況について	24
6 地域での活動について	27
7 たすけあいについて	32
8 健康について	38
9 認知症の相談窓口について	46
10 高齢者福祉や介護保険等について	49
11 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査のまとめ	55
第2章 在宅介護実態調査	61
1 回答者の属性	61
2 身体状況などについて	66
3 介護保険サービス利用の有無について	70
4 介護保険サービスの利用と評価について	72
5 施設入所の意向について	80
6 高齢者福祉や介護保険制度について	81
7 介護者の状況について	84
8 在宅介護実態調査のまとめ	96
第3章 施設サービス利用者調査	101
1 回答者の属性	101
2 入所施設について	106
3 施設のサービスについて	109
4 今後の意向や要望について	116
5 施設サービス利用者調査のまとめ	118

第4章 サービス提供事業者調査…………… 121

1	回答事業者の属性	121
2	サービスの提供状況について	122
3	今後の事業展開について	124
4	運営上の問題点について	127
5	利用者数の動向について	129
6	サービス提供事業者調査のまとめ	130

第5章 ケアマネジャー調査…………… 131

1	回答者の属性	131
2	ケアプランについて	132
3	サービスに対する評価等について	134
4	地域のきめ細かい支援について	136
5	虐待について	141
6	今後の要望について	143
7	ケアマネジャー調査のまとめ	144

序章 調査の概要

序章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「白岡市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」（計画期間：令和6年度～令和8年度）の策定にあたり、高齢者、介護保険サービス利用者及び介護サービス提供事業者等を対象とし、地域での高齢者の生活実態や介護サービスの需要等を把握することによって、本市における課題及び計画期間内の目指すべき介護サービスの方向性等を検討する基礎資料とするため実施しました。

また、高齢者や地域の課題をよりの確に把握できるとして国が示している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」及び「在宅介護実態調査」の手法を取り入れて実施しています。

2 調査の対象

項目	内容
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	令和4年12月1日現在で65歳以上の市民（要介護1～5の認定を受けていない方から無作為抽出による）
②在宅介護実態調査	40歳以上の白岡市の介護保険被保険者で、令和4年12月1日現在、要支援・要介護に認定され、在宅で過ごしている方（①との重複者は除く）
③施設サービス利用者調査	白岡市の介護保険被保険者で、令和4年11月に介護保険施設に入所していた方
④サービス提供事業者調査	白岡市内のサービス事業者
⑤ケアマネジャー調査	白岡市内の居宅介護支援事業所のケアマネジャー

3 調査の方法と期間

調査方法：郵送配布・郵送回収

項 目	調査期間	備 考
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	令和4年12月9日～1月31日	お礼を兼ねた督促ハガキを1回郵送配布
②在宅介護実態調査	令和4年12月9日～1月31日	お礼を兼ねた督促ハガキを1回郵送配布
③施設サービス利用者調査	令和4年12月9日～1月31日	お礼を兼ねた督促ハガキを1回郵送配布
④サービス提供事業者調査	令和4年12月9日～1月31日	
⑤ケアマネジャー調査	令和4年12月9日～1月31日	事業所を通じた郵送配布

4 回収結果

項 目	発送数	回収数	回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,500票	1,071票	71.4%
②在宅介護実態調査	1,569票	922票	58.8%
③施設サービス利用者調査	359票	193票	53.8%
④サービス提供事業者調査	50票	30票	60.0%
⑤ケアマネジャー調査	38票 (10事業所)	26票	68.4%
全 体	3,516票	2,242票	63.8%

5 報告書の見方について

①回答率

回答は、質問ごとに各項目の回答者数を回答者総数で除し、百分率（パーセント）で表示しました。算出された回答率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。そのため、質問によっては、1人の回答者が選択肢から1つだけ選んで回答する場合（単数回答）でも、回答率の合計が100%ちょうどにならないものもあります。

また、1人の回答者が選択肢から2つ以上選んで回答をしてもよい場合（複数回答）では、回答率の合計は100%を上回ることもあります。

②表記

表、グラフ中では、回答率（%）とともに、その設問の回答者総数も表示しています。

また、表、グラフ、本文中において、回答選択肢の表記は、スペースの都合により簡略化している場合があります。

③年齢区分

高齢者の年齢層を2つに分けて表記しているところがあります。「前期高齢者」とは65歳以上74歳以下、「後期高齢者」とは75歳以上のことを指します。

④地域区分

市内を以下のように区分して表記しているところがあります。

日常生活圏域 (2区分)	地域 (3区分)	地 区
日勝圏域	日勝地域	岡泉、実ヶ谷、千駄野、小久喜、上野田、下野田、 爪田ヶ谷、太田新井、彦兵衛
篠津・大山圏域	篠津地域	篠津、野牛、高岩、新白岡、寺塚、白岡、白岡東、西
	大山地域	柴山、荒井新田、下大崎

第1章 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

第1章 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

1 回答者の属性

(1) 性別

問1 性別を教えてください。[1つに〇]

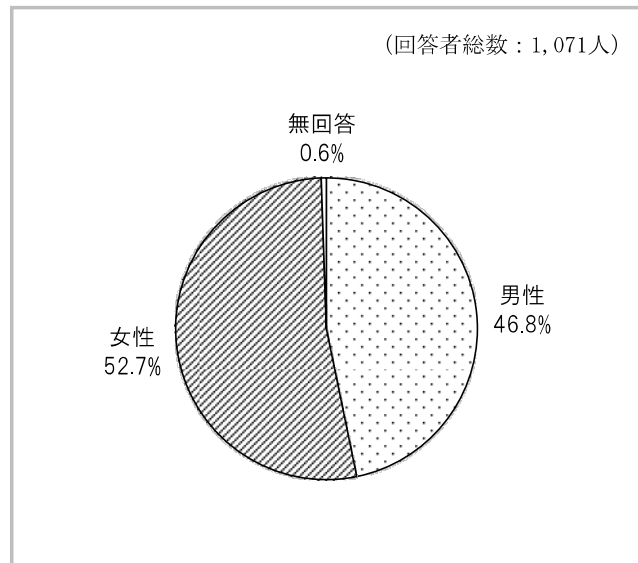
「男性」が46.8%、「女性」が52.7%

性別については、「男性」が46.8%、「女性」が52.7%となっています。

表 性別 単位：人（%）

項目	回答数（構成比）
回答者総数（人）	1,071
男性	501 (46.8)
女性	564 (52.7)
無回答	6 (0.6)

図 性別



(2) 年齢

問2 12月1日現在、何歳ですか。

前期高齢者は47.9%、後期高齢者は50.2%

年齢構成をみると、「65～69歳」が19.0%、「70～74歳」が28.9%で、前期高齢者の割合は47.9%となっています。

また、「75～79歳」は23.0%、「80～84歳」は15.8%、「85～89歳」は8.7%、「90歳以上」は2.8%で、後期高齢者の割合は50.2%となっています。

表 年齢 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
前期高齢者	513 (47.9)
65～69歳	203 (19.0)
70～74歳	310 (28.9)
後期高齢者	538 (50.2)
75～79歳	246 (23.0)
80～84歳	169 (15.8)
85～89歳	93 (8.7)
90歳以上	30 (2.8)
無回答	20 (1.9)

図 年齢

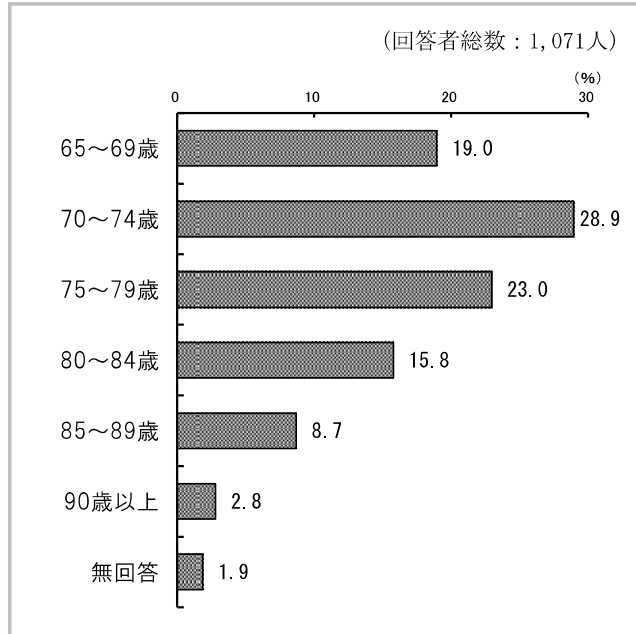
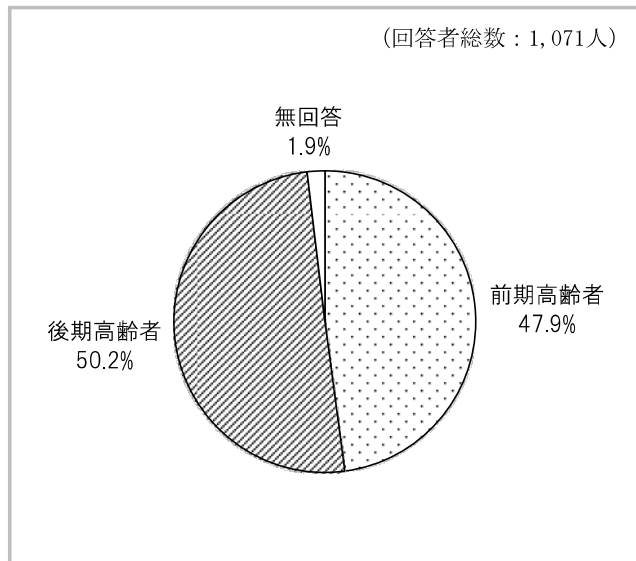


図 前期高齢者・後期高齢者別



(3) 居住地区

問3 お住まいの地区はどちらですか。[1つに〇]

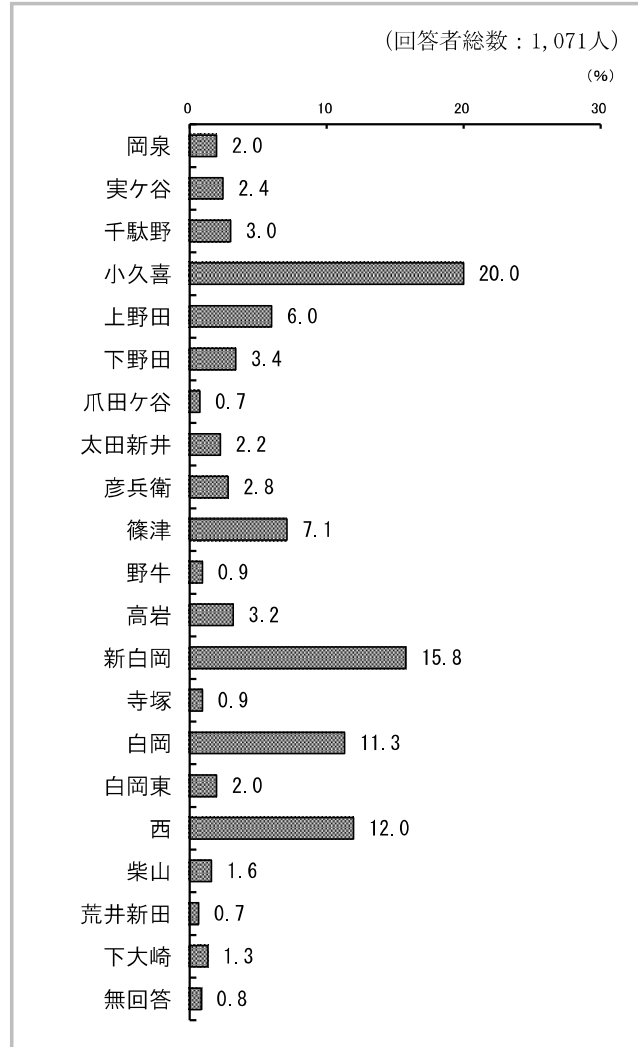
日勝圏域が42.5%、篠津・大山圏域が56.7%

地区別をみると、「小久喜」が20.0%、「新白岡」が15.8%、「西」が12.0%となっています。

表 居住地区 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
日勝圏域	455 (42.5)
日勝地域	455 (42.5)
岡泉	21 (2.0)
実ヶ谷	26 (2.4)
千駄野	32 (3.0)
小久喜	214 (20.0)
上野田	64 (6.0)
下野田	36 (3.4)
爪田ヶ谷	8 (0.7)
太田新井	24 (2.2)
彦兵衛	30 (2.8)
篠津・大山圏域	607 (56.7)
篠津地域	569 (53.1)
篠津	76 (7.1)
野牛	10 (0.9)
高岩	34 (3.2)
新白岡	169 (15.8)
寺塚	10 (0.9)
白岡	121 (11.3)
白岡東	21 (2.0)
西	128 (12.0)
大山地域	38 (3.5)
柴山	17 (1.6)
荒井新田	7 (0.7)
下大崎	14 (1.3)
無回答	9 (0.8)

図 居住地区



地区を地域別にまとめると、「日勝地域」が42.5%、「篠津地域」が53.1%、「大山地域」が3.5%となっています。

さらに日常生活圏域で見ると、「日勝圏域」が42.5%、「篠津・大山圏域」が56.7%となっています。

図 地域

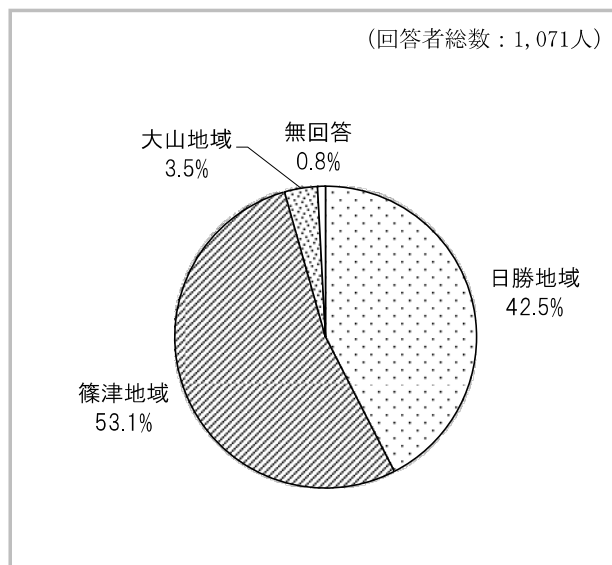
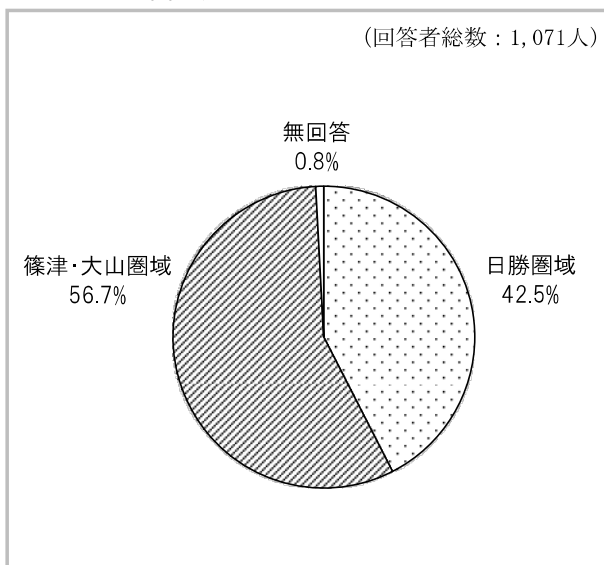


図 日常生活圏域



(4) 状態区分

問4 介護保険制度の「要支援」の認定を受けていますか。[1つに○]

「認定を受けていない」が90.6%

介護保険制度の「要支援」認定を受けているかについては、「認定を受けていない」が90.6%となっています。

一方、「要支援者を除く総合事業対象者」は0.7%、「要支援1」は4.3%、「要支援2」は2.6%となっています。

図 要支援認定区分

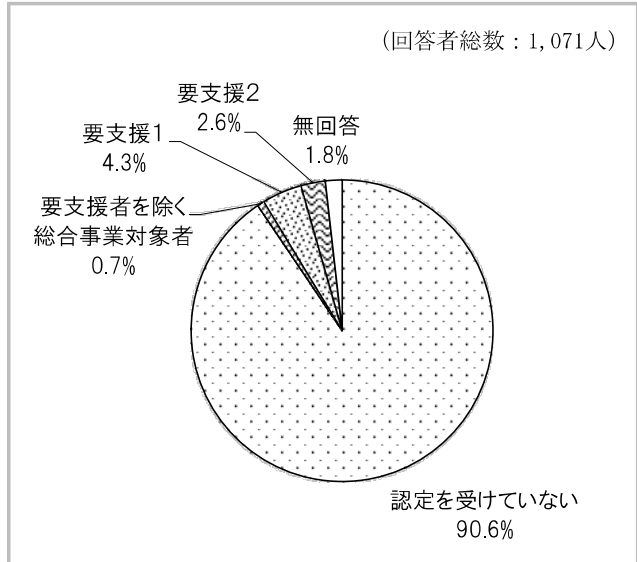


表 要支援認定区分 単位: 人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
認定を受けていない	970 (90.6)
要支援者を除く総合事業対象者	8 (0.7)
要支援1	46 (4.3)
要支援2	28 (2.6)
無回答	19 (1.8)

問5 現在、利用している介護サービスはありますか。[あてはまるものすべてに○]

「ない」が92.3%

利用している介護保険サービスについては、「ない」が92.3%となっています。

一方、利用しているサービスでは「訪問介護」が0.9%、「通所介護」が1.9%、訪問介護や通所介護以外の「その他のサービス」が2.8%となっています。

図 利用している介護サービス

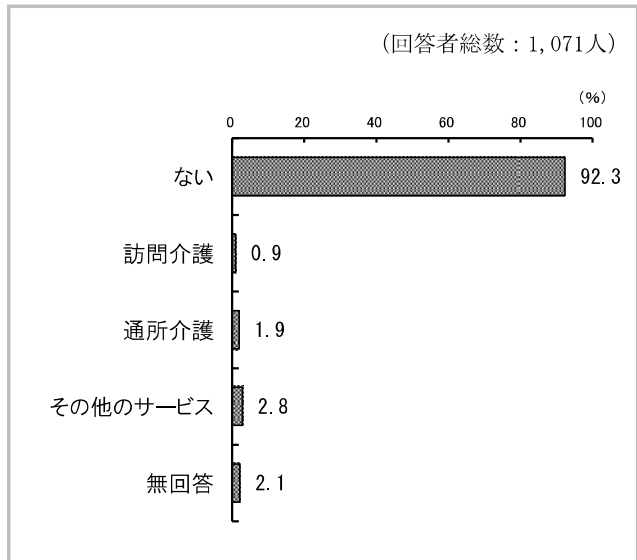


表 利用している介護サービス 単位: 人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
ない	989 (92.3)
訪問介護	10 (0.9)
通所介護	20 (1.9)
その他のサービス	30 (2.8)
無回答	23 (2.1)

2 家族や生活状況について

(1) 家族構成

問6 家族構成を教えてください。[1つに○]

夫婦2人の世帯が約半数

家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が42.9%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が5.1%で、これらを合わせると夫婦2人の世帯が約半数となっています。

また、「1人暮らし」は13.4%「息子・娘との2世帯」は17.5%、「その他」は20.1%となっています。

図 家族構成

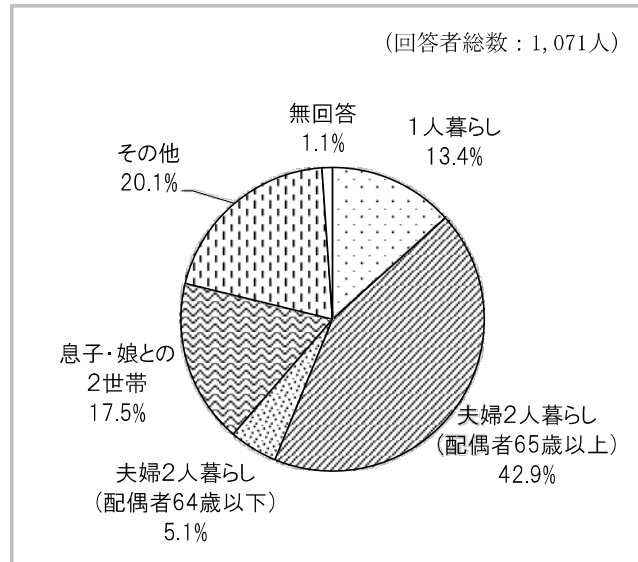


表 家族構成 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
1人暮らし	143 (13.4)
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	459 (42.9)
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	55 (5.1)
息子・娘との2世帯	187 (17.5)
その他	215 (20.1)
無回答	12 (1.1)

(2) 介護・介助の必要性

問7 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。[1つに〇]

「介護・介助は必要ない」が86.5%

普段の生活で介護・介助が必要かについては、「介護・介助は必要ない」が86.5%となっています。

また、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は7.9%、「現在、何らかの介護を受けている」は4.0%となっています。

図 介護・介助の必要性

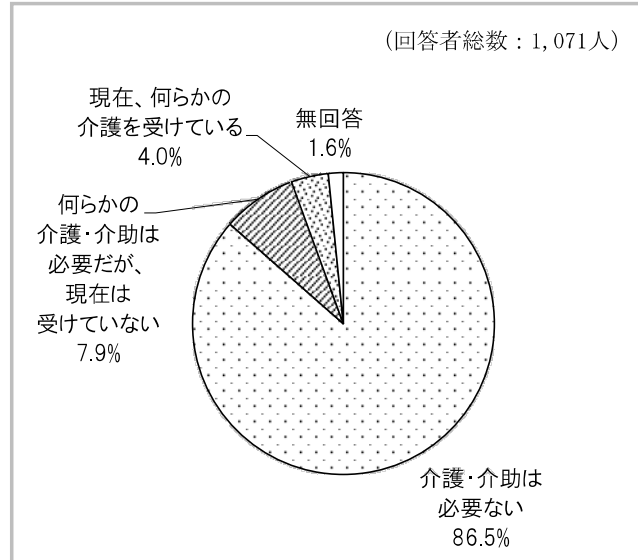


表 介護・介助の必要性 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
介護・介助は必要ない	926 (86.5)
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	85 (7.9)
現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	43 (4.0)
無回答	17 (1.6)

(3) 経済状態

問8 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。[1つに○]

「ふつう」が60.8%

現在の暮らしの経済状況については、「ふつう」が60.8%となっています。
 また、「大変苦しい」が7.2%、「やや苦しい」が20.9%で、これらを合わせると28.1%となっています。
 一方、「ややゆとりがある」は8.4%、「大変ゆとりがある」は1.3%で、これらを合わせると9.7%となっています。

図 経済状態

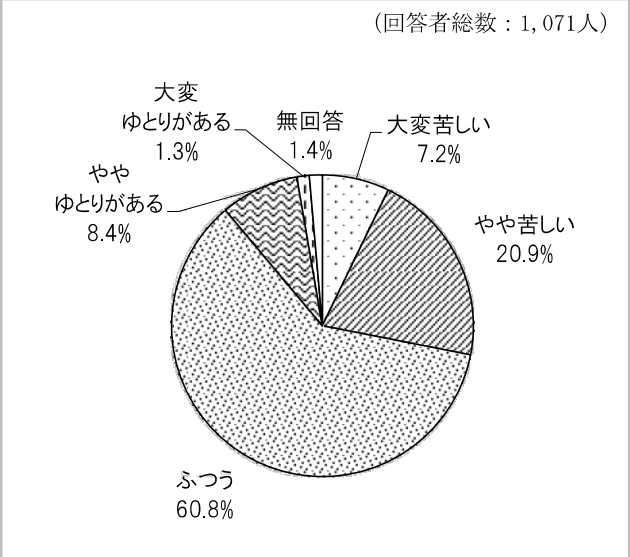


表 経済状態 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
大変苦しい	77 (7.2)
やや苦しい	224 (20.9)
ふつう	651 (60.8)
ややゆとりがある	90 (8.4)
大変ゆとりがある	14 (1.3)
無回答	15 (1.4)

(4) 世帯の年収

問9 あなたを含めた世帯全体の年収（年金含む）はどれにあてはまりますか。[1つに○]

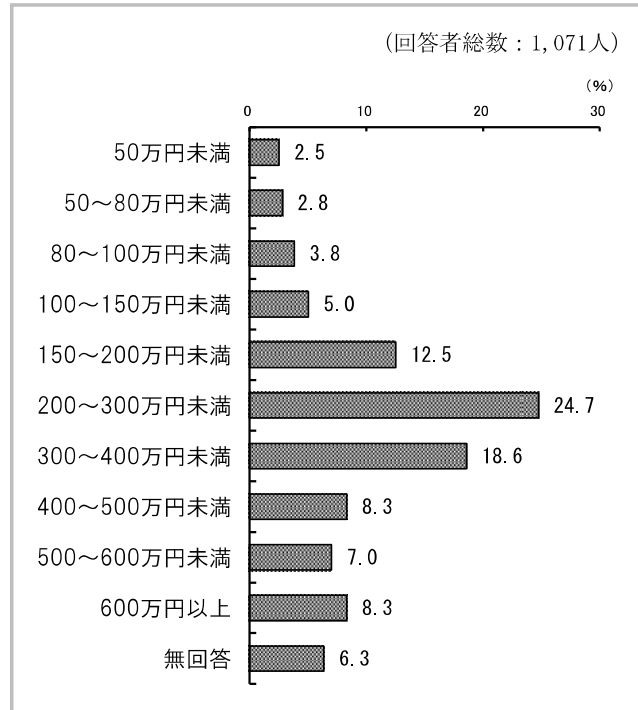
「200～300万円未満」が24.7%

世帯全体の年収（年金含む）については、「200～300万円未満」が24.7%で、次いで「300～400万円未満」が18.6%、「150～200万円未満」が12.5%となっています。

表 世帯の年収 単位：人（%）

回答者総数（人）	1,071
項目	回答数（構成比）
50万円未満	27（2.5）
50～80万円未満	30（2.8）
80～100万円未満	41（3.8）
100～150万円未満	54（5.0）
150～200万円未満	134（12.5）
200～300万円未満	265（24.7）
300～400万円未満	199（18.6）
400～500万円未満	89（8.3）
500～600万円未満	75（7.0）
600万円以上	89（8.3）
無回答	68（6.3）

図 世帯の年収



(5) 住まい

問10 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。[1つに○]

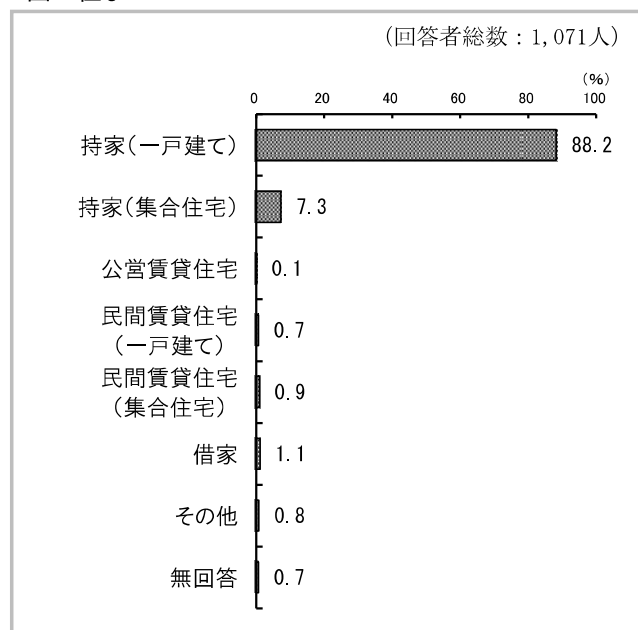
「持家（一戸建て）」が88.2%

住まいについては、「持家（一戸建て）」が88.2%となっています。

表 住まい 単位：人（%）

回答者総数（人）	1,071
項目	回答数（構成比）
持家（一戸建て）	945（88.2）
持家（集合住宅）	78（7.3）
公営賃貸住宅	1（0.1）
民間賃貸住宅（一戸建て）	8（0.7）
民間賃貸住宅（集合住宅）	10（0.9）
借家	12（1.1）
その他	9（0.8）
無回答	8（0.7）

図 住まい



3 からだを動かすことについて

(1) 運動機能と転倒リスク

問11 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。[1つに○]

「できるし、している」が60.0%

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」が60.0%となっています。

一方、「できない」は、17.7%となっています。

図 階段を昇ること

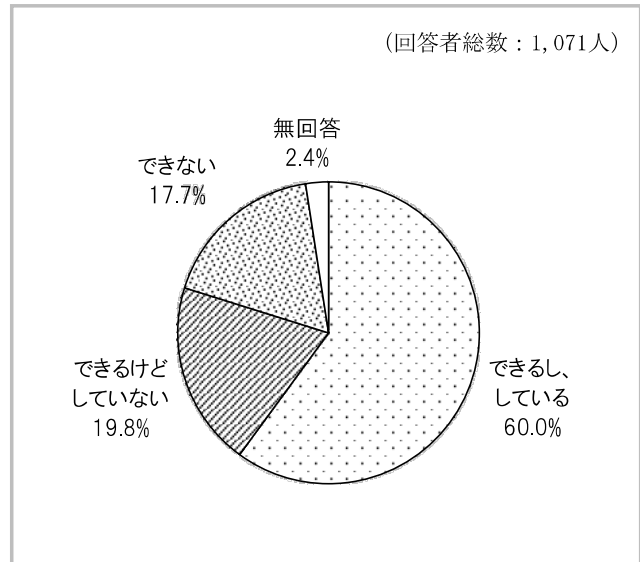


表 階段を昇ること 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
できるし、している	643 (60.0)
できるけどしていない	212 (19.8)
できない	190 (17.7)
無回答	26 (2.4)

問12 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。[1つに○]

「できるし、している」が73.7%

椅子から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が73.7%となっています。

一方、「できない」は10.8%となっています。

図 椅子から立ち上がること

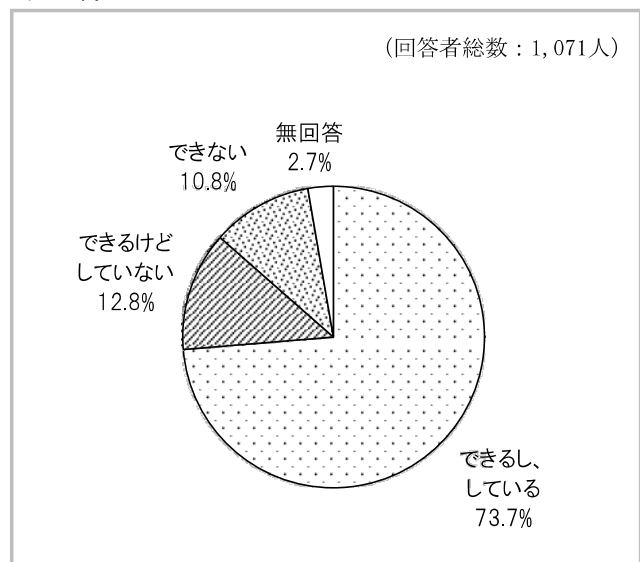


表 椅子から立ち上がること 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
できるし、している	789 (73.7)
できるけどしていない	137 (12.8)
できない	116 (10.8)
無回答	29 (2.7)

問13 15分位続けて歩いていますか。[1つに○]

「できるし、している」が75.1%

15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」が75.1%となっています。

一方、「できない」が8.1%となっています。

図 15分位続けて歩くこと

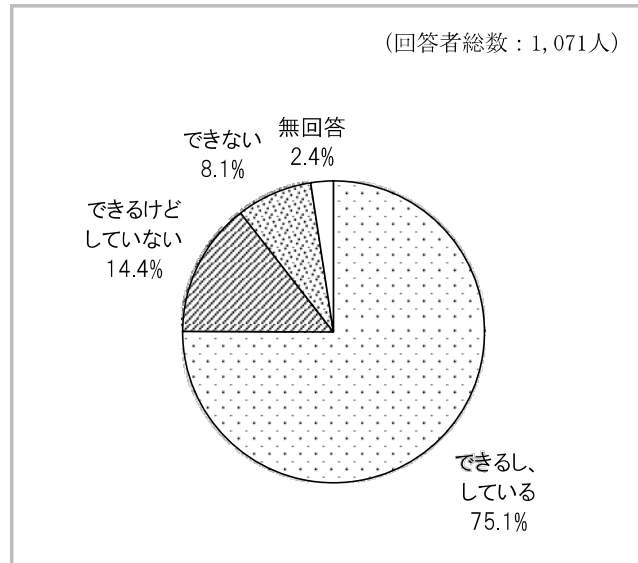


表 15分位続けて歩くこと

単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
できるし、している	804 (75.1)
できるけどしていない	154 (14.4)
できない	87 (8.1)
無回答	26 (2.4)

問14 過去1年間に転んだ経験がありますか。[1つに○]

転倒リスクのある高齢者は30.3%

過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」が67.5%となっています。

一方、「何度もある」は8.4%、「1度ある」は21.9%で、これらを合わせると転倒リスクのある高齢者は30.3%となっています。

図 過去1年間に転んだこと

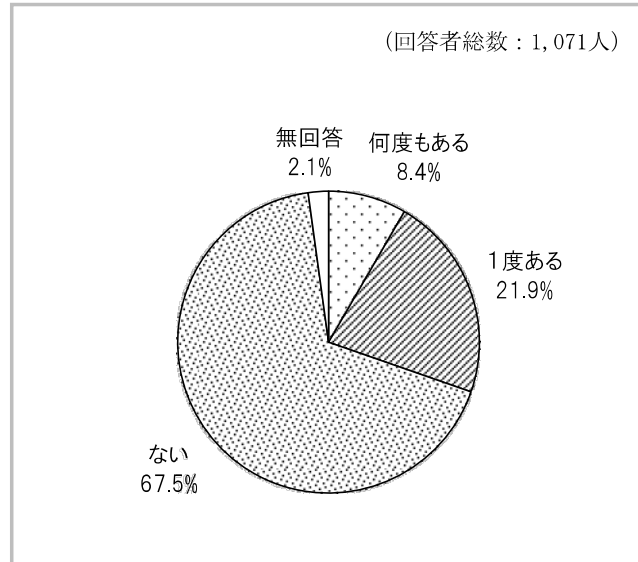


表 過去1年間に転んだこと

単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
何度もある	90 (8.4)
1度ある	235 (21.9)
ない	723 (67.5)
無回答	23 (2.1)

問15 転倒に対する不安は大きいですか。[1つに○]

不安がある人は53.8%

転倒に対する不安については、「とても不安である」が14.9%、「やや不安である」が38.9%で、これらを合わせると53.8%となっています。

一方、「あまり不安でない」は24.3%、「不安でない」は19.9%で、これらを合わせると44.2%となっています。

図 転倒への不安感

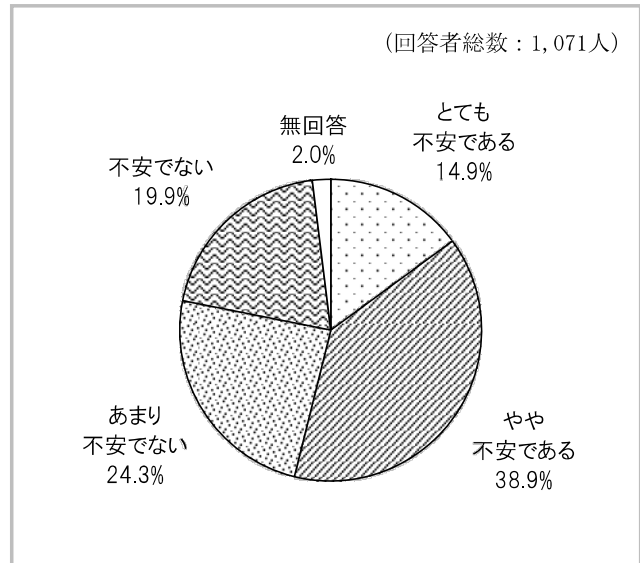


表 転倒への不安感 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
とても不安である	160 (14.9)
やや不安である	417 (38.9)
あまり不安でない	260 (24.3)
不安でない	213 (19.9)
無回答	21 (2.0)

【運動器の機能低下について】

下表の方法により、運動器の機能低下者の抽出を行いました。その結果、運動器の機能が低下している人は156人おり、全体の14.6%となっています。

表 運動器の機能低下者の抽出方法

問	設問	選択肢
問11	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
問12	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
問13	15分位続けて歩いていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
問14	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1 何度もある 2 1度ある 3 ない
問15	転倒に対する不安は大きいですか。	1 とても不安である 2 やや不安である 3 あまり不安でない 4 不安でない

問11～問15の設問で、該当する選択肢（網掛け）が3問以上選択されている



運動器の機能が低下している高齢者

(2) 外出と閉じこもり

問16 週に1回以上は外出していますか。[1つに○]

閉じこもり傾向のある人は17.5%

週に1回以上の外出については、「ほとんど外出しない」が6.3%、「週1回」が11.2%で、これらを合わせると閉じこもり傾向のある人は17.5%となっています。

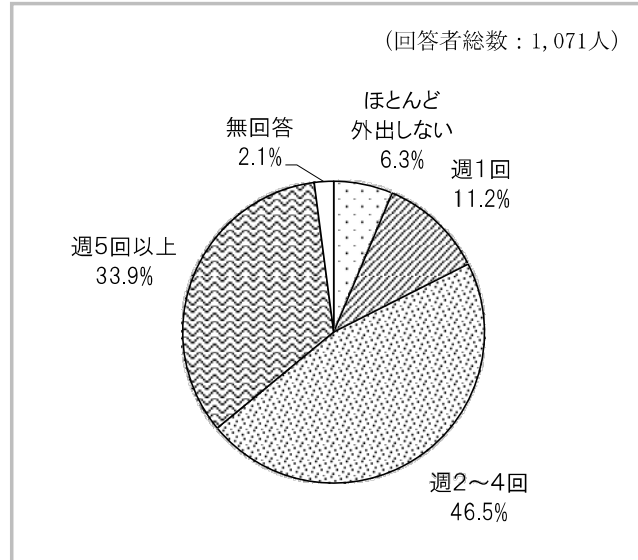
一方、「週2～4回」は46.5%、「週5回以上」は33.9%となっています。

表 週1回以上の外出

単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
ほとんど外出しない	68 (6.3)
週1回	120 (11.2)
週2～4回	498 (46.5)
週5回以上	363 (33.9)
無回答	22 (2.1)

図 週1回以上の外出



問17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。[1つに○]

回数が減っている人が34.1%

外出の回数が昨年と比べて減っているかについては、「とても減っている」が5.2%、「減っている」が28.9%でこれらを合わせると34.1%となっています。

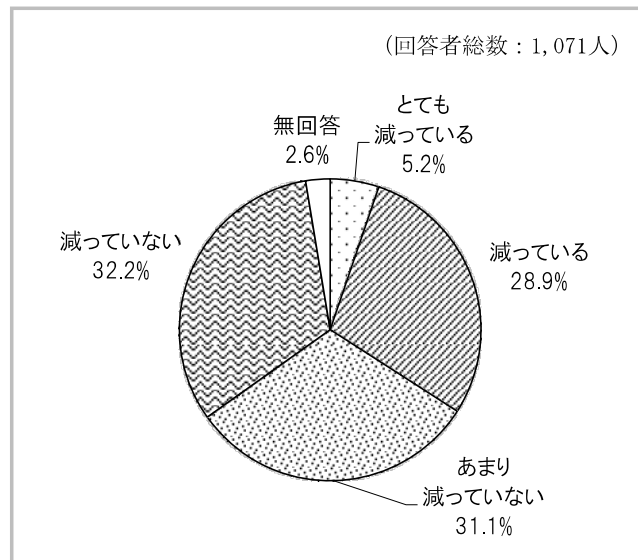
一方、「あまり減っていない」は31.1%、「減っていない」は32.2%となっています。

表 昨年からの外出回数の減少

単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
とても減っている	56 (5.2)
減っている	309 (28.9)
あまり減っていない	333 (31.1)
減っていない	345 (32.2)
無回答	28 (2.6)

図 昨年からの外出回数の減少



(3) 外出を控えているか

問18 外出を控えていますか。[1つに〇]

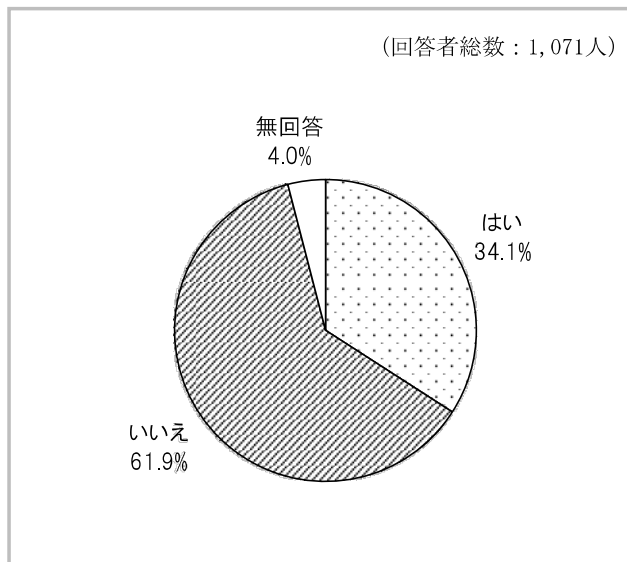
外出を控えている人が34.1%

外出を控えているかについては、「はい」が34.1%で、「いいえ」が61.9%となっています。

表 外出を控えているか 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
はい	365 (34.1)
いいえ	663 (61.9)
無回答	43 (4.0)

図 外出を控えているか



問19 [問18で「はい」と回答した方]

外出を控えている理由は、次のどれですか。[あてはまるものすべてに○]

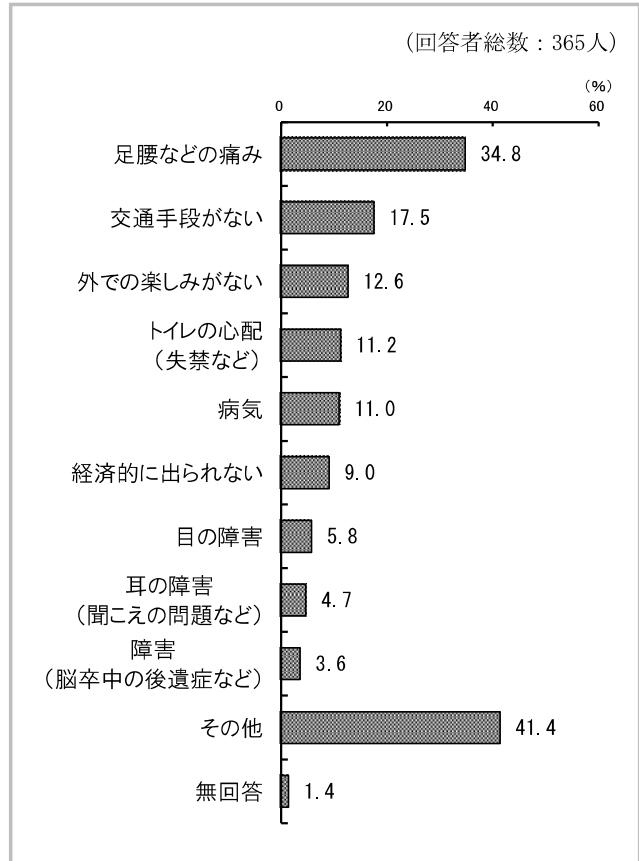
「足腰などの痛み」が34.8%

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が34.8%で、次いで「交通手段がない」が17.5%、「外での楽しみがない」が12.6%となっています

表 外出を控えている理由 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	365
項目	回答数 (構成比)
足腰などの痛み	127 (34.8)
交通手段がない	64 (17.5)
外での楽しみがない	46 (12.6)
トイレの心配 (失禁など)	41 (11.2)
病気	40 (11.0)
経済的に出られない	33 (9.0)
目の障害	21 (5.8)
耳の障害 (聞こえの問題など)	17 (4.7)
障害 (脳卒中の後遺症など)	13 (3.6)
その他	151 (41.4)
無回答	5 (1.4)

図 外出を控えている理由



(4) 外出する際の移動手段

問20 外出する際の移動手段は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

「徒歩」が58.4%

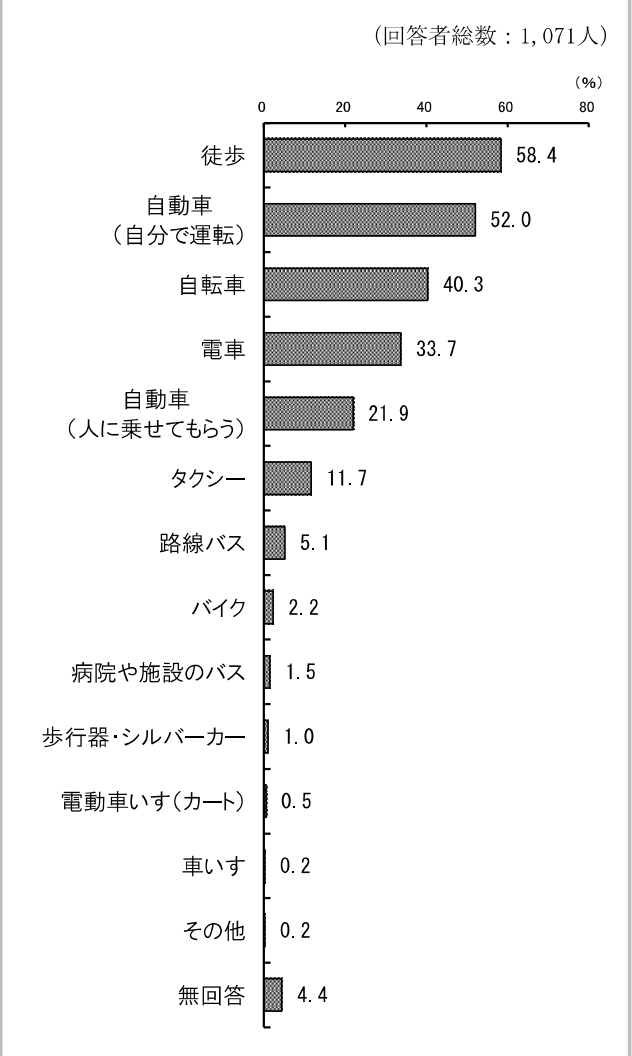
外出する際の移動手段については、「徒歩」が58.4%で、次いで「自動車（自分で運転）」が52.0%、「自転車」が40.3%となっています。

また、「電車」は33.7%、「自動車（人に乗せてもらう）」は21.9%となっています。

表 外出する際の移動手段 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
徒歩	625 (58.4)
自動車 (自分で運転)	557 (52.0)
自転車	432 (40.3)
電車	361 (33.7)
自動車 (人に乗せてもらう)	235 (21.9)
タクシー	125 (11.7)
路線バス	55 (5.1)
バイク	24 (2.2)
病院や施設のバス	16 (1.5)
歩行器・シルバーカー	11 (1.0)
電動車いす (カート)	5 (0.5)
車いす	2 (0.2)
その他	2 (0.2)
無回答	47 (4.4)

図 外出する際の移動手段



【 性別、前期・後期高齢者別 】

外出する際の移動手段を、性別、前期・後期高齢者別にみると、男性の前期高齢者では「自動車（自分で運転）」が最も多く、男性の後期高齢者では「徒歩」と「自動車（自分で運転）」が多くなっています。女性では前期高齢者、後期高齢者ともに「徒歩」が最も多くなっています。

表 性別、前期・後期高齢者別にみた外出する際の移動手段 単位：人（％）

項目	全体	男性		女性	
		前期高齢者	後期高齢者	前期高齢者	後期高齢者
回答者総数（人）	1,071	251	243	262	295
徒歩	625 (58.4)	155 (61.8)	145 (59.7)	166 (63.4)	152 (51.5)
自動車（自分で運転）	557 (52.0)	202 (80.5)	143 (58.8)	134 (51.1)	70 (23.7)
自転車	432 (40.3)	87 (34.7)	106 (43.6)	118 (45.0)	112 (38.0)
電車	361 (33.7)	88 (35.1)	76 (31.3)	116 (44.3)	80 (27.1)
自動車（人に乗せてもらう）	235 (21.9)	12 (4.8)	38 (15.6)	87 (33.2)	93 (31.5)
タクシー	125 (11.7)	8 (3.2)	25 (10.3)	21 (8.0)	69 (23.4)
路線バス	55 (5.1)	9 (3.6)	12 (4.9)	19 (7.3)	15 (5.1)
バイク	24 (2.2)	12 (4.8)	6 (2.5)	5 (1.9)	1 (0.3)
病院や施設のバス	16 (1.5)	1 (0.4)	3 (1.2)	1 (0.4)	9 (3.1)
歩行器・シルバーカー	11 (1.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.1)	8 (2.7)
電動車いす（カート）	5 (0.5)	1 (0.4)	2 (0.8)	1 (0.4)	1 (0.3)
車いす	2 (0.2)	1 (0.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)
その他	2 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.4)	1 (0.3)
無回答	47 (4.4)	13 (5.2)	11 (4.5)	8 (3.1)	12 (4.1)

※性別及び年齢の無回答者 20人を除いている。

4 食事・食べることについて

(1) BMI

問21 身長・体重を教えてください。

低栄養が疑われる人は 7.3%

身長と体重をたずねて、BMI^{*}を算出しました。その結果、「やせ・低体重」が7.3%で、低栄養が疑われます。

一方、「ふつう」は66.9%、「肥満」は22.5%となっています。

図 BMIによる区分

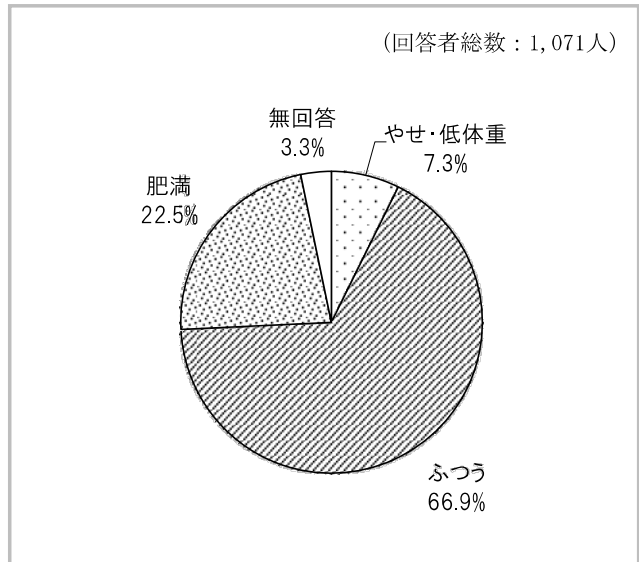


表 BMIによる区分 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
やせ・低体重	78 (7.3)
ふつう	717 (66.9)
肥満	241 (22.5)
無回答	35 (3.3)

^{*}BMI：体重kg÷身長m÷身長m

18.5未満→やせ・低体重、18.5~25.0未満→ふつう、25.0以上→肥満

(2) 咀嚼機能

問22 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。[1つに○]

咀嚼機能の低下が疑われる人が 30.3%

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が30.3%で、咀嚼機能の低下が疑われます。

一方、「いいえ」が64.6%となっています。

図 半年前より固いものが食べにくいこと

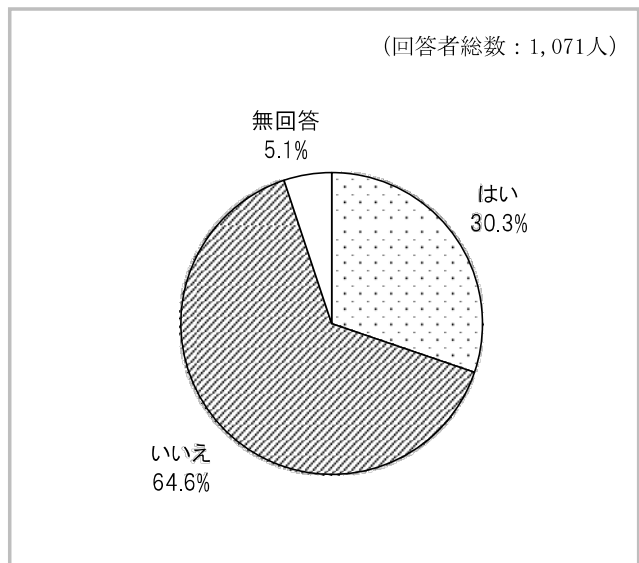


表 半年前より固いものが食べにくいこと

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
はい	324 (30.3)
いいえ	692 (64.6)
無回答	55 (5.1)

(3) 歯の状況

問23 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) [1つに〇]

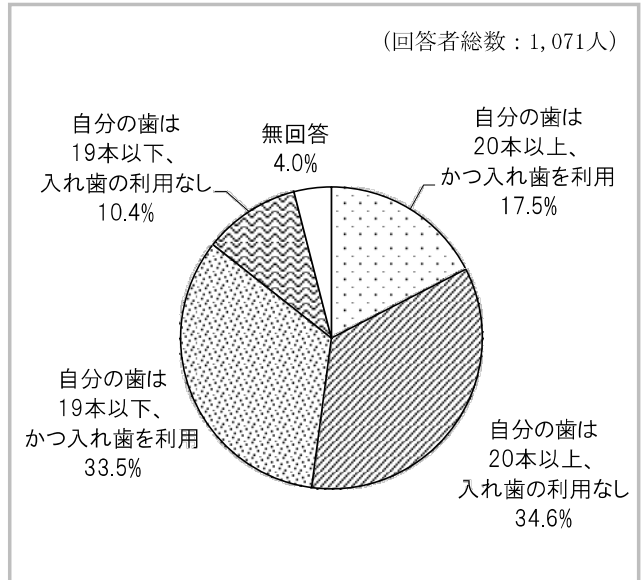
「歯は20本以上で入れ歯の利用なし」が34.6%

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.5%、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が34.6%となっています。また、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」は33.5%となっています。

表 歯の状況 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	187 (17.5)
自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	371 (34.6)
自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	359 (33.5)
自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	111 (10.4)
無回答	43 (4.0)

図 歯の状況



(4) 共食・孤食の状況

問24 どなたかと食事をとる機会がありますか。 [1つに〇]

「毎日ある」が59.0%

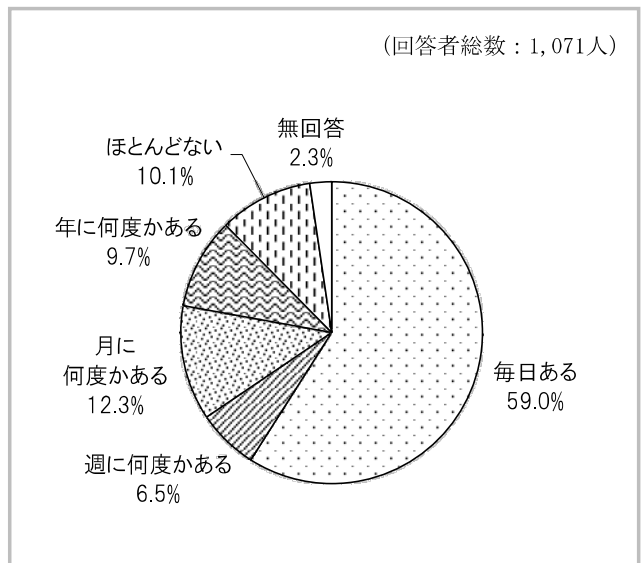
どなたかと食事をとる機会については、「毎日ある」が59.0%、「月に何度かある」が12.3%となっています。

一方、「ほとんどない」は10.1%となっています。

表 共食・孤食の状況 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
毎日ある	632 (59.0)
週に何度かある	70 (6.5)
月に何度かある	132 (12.3)
年に何度かある	104 (9.7)
ほとんどない	108 (10.1)
無回答	25 (2.3)

図 共食・孤食の状況



5 毎日の生活状況について

(1) 認知機能

問25 物忘れが多いと感じますか。[1つに○]

認知機能の低下が疑われる人が44.1%

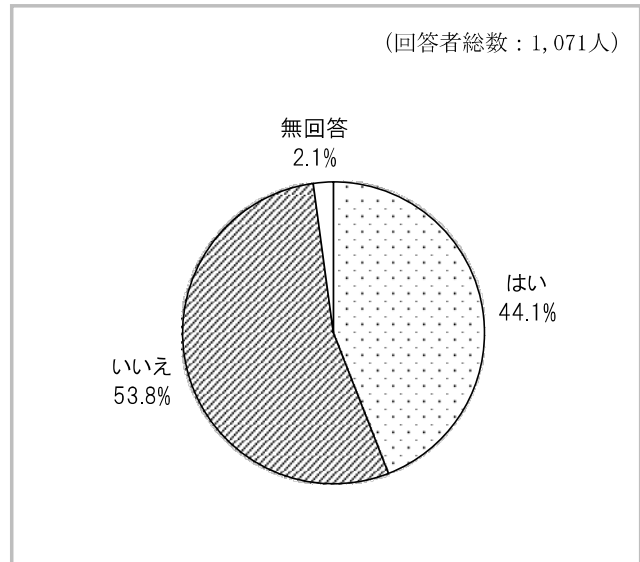
物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が44.1%で、認知機能の低下が疑われます。

一方、「いいえ」は53.8%となっています。

表 物忘れ 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
はい	472 (44.1)
いいえ	576 (53.8)
無回答	23 (2.1)

図 物忘れ



(2) 日常生活での活動状況

問26 バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)。[1つに○]

「できるし、している」が73.8%

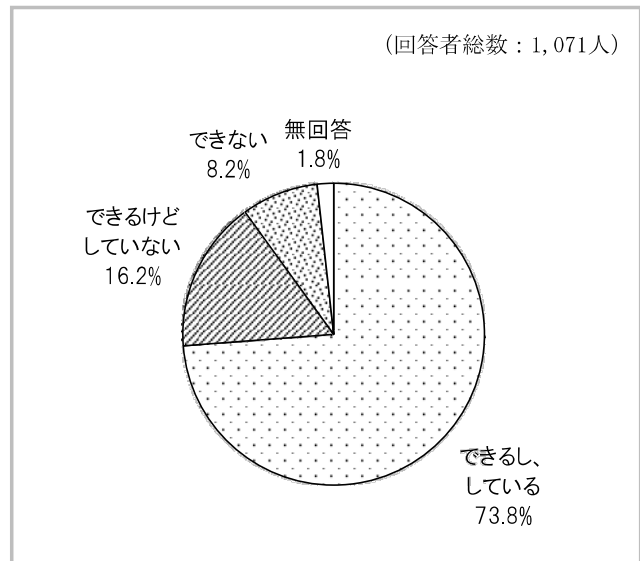
バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」が73.8%となっています。

一方、「できない」は8.2%となっています。

表 1人での外出 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
できるし、している	790 (73.8)
できるけどしていない	174 (16.2)
できない	88 (8.2)
無回答	19 (1.8)

図 1人での外出



問27 自分で食品・日用品の買物をしていますか。[1つに〇]

「できるし、している」が82.4%

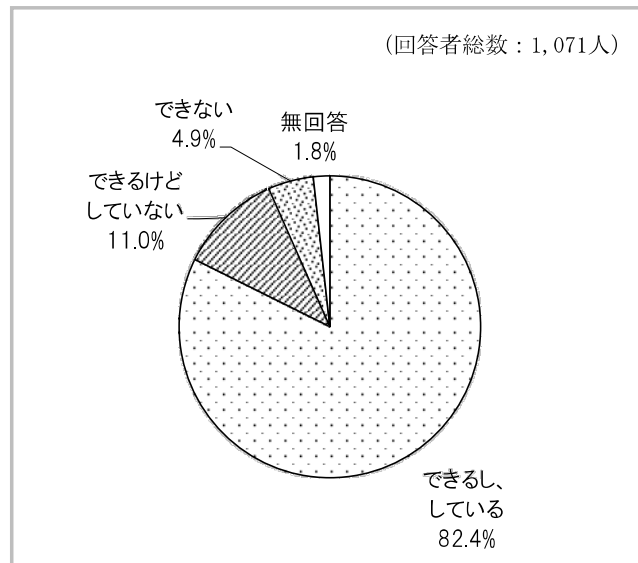
自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が82.4%となっています。

一方、「できない」は4.9%となっています。

表 食品・日用品の買物 単位：人（%）

回答者総数（人）	1,071
項目	回答数（構成比）
できるし、している	882（82.4）
できるけどしていない	118（11.0）
できない	52（4.9）
無回答	19（1.8）

図 食品・日用品の買物



問28 自分で食事の用意をしていますか。[1つに〇]

「できるし、している」が69.3%

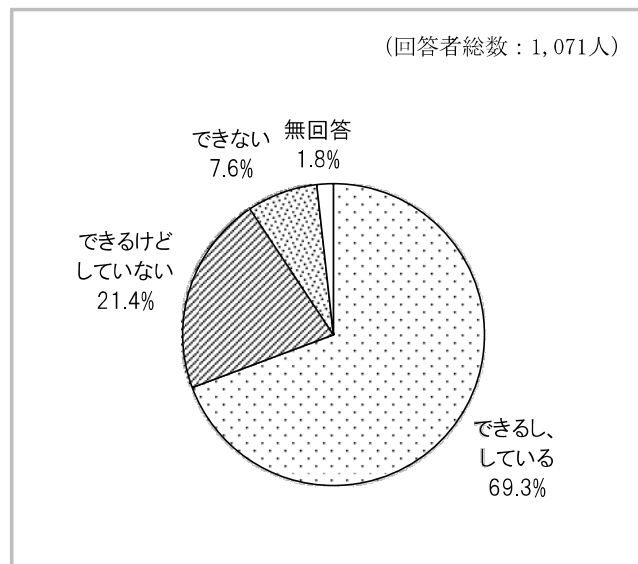
自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が69.3%となっています。

一方、「できない」は7.6%となっています。

表 食事の用意 単位：人（%）

回答者総数（人）	1,071
項目	回答数（構成比）
できるし、している	742（69.3）
できるけどしていない	229（21.4）
できない	81（7.6）
無回答	19（1.8）

図 食事の用意



問29 自分で請求書の支払いをしていますか。[1つに○]

「できるし、している」が81.0%

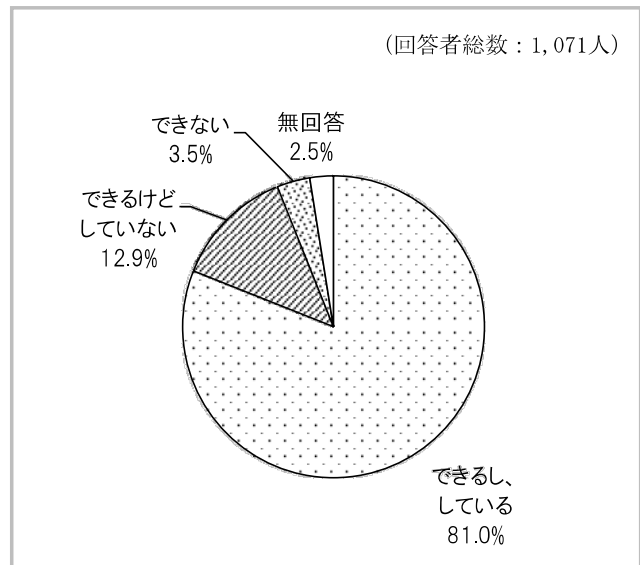
自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が81.0%となっています。

一方、「できない」は3.5%となっています。

表 請求書の支払い 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
できるし、している	868 (81.0)
できるけどしていない	138 (12.9)
できない	38 (3.5)
無回答	27 (2.5)

図 請求書の支払い



問30 自分で預貯金の出し入れをしていますか。[1つに○]

「できるし、している」が79.7%

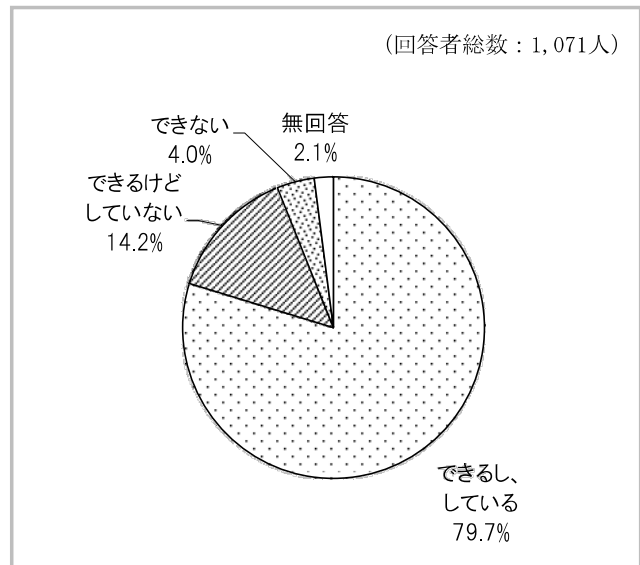
自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が79.7%となっています。

一方、「できない」は4.0%となっています。

表 預貯金の出し入れ 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
できるし、している	854 (79.7)
できるけどしていない	152 (14.2)
できない	43 (4.0)
無回答	22 (2.1)

図 預貯金の出し入れ



6 地域での活動について

(1) 社会参加の状況

問31 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。①～⑧それぞれに回答してください。[1つずつ〇]

①ボランティアのグループ

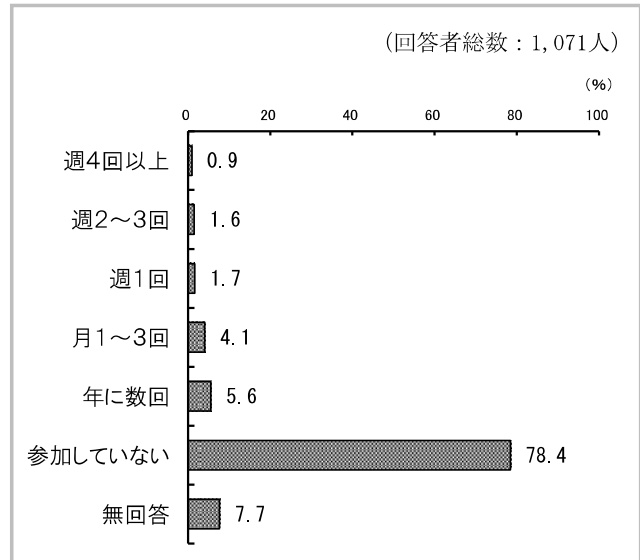
「年に数回」が 5.6%

ボランティアのグループへの参加状況は、「年に数回」が 5.6%となっています。一方、「参加していない」は78.4%となっています。

表 社会参加の状況
ボランティアのグループ 単位：人（%）

回答者総数（人）	1,071
項目	回答数（構成比）
週4回以上	10（0.9）
週2～3回	17（1.6）
週1回	18（1.7）
月1～3回	44（4.1）
年に数回	60（5.6）
参加していない	840（78.4）
無回答	82（7.7）

図 社会参加の状況 ボランティアのグループ



②スポーツ関係のグループやクラブ

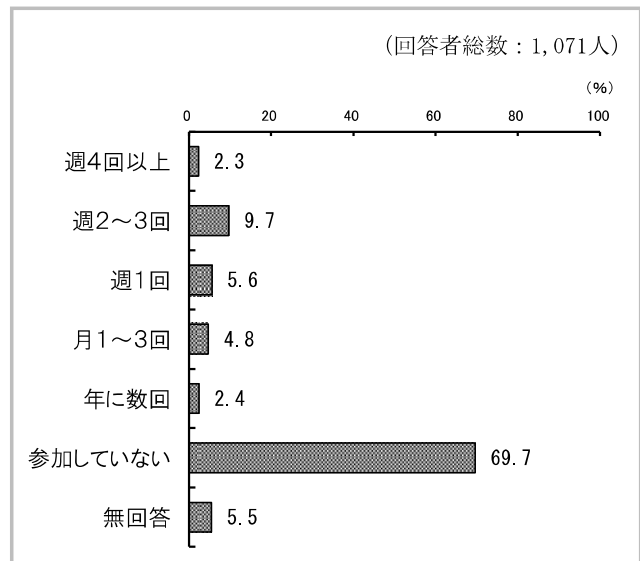
「週2～3回」が 9.7%

スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況は、「週2～3回」が 9.7%となっています。一方、「参加していない」は 69.7%となっています。

表 社会参加の状況
スポーツ関係のグループやクラブ 単位：人（%）

回答者総数（人）	1,071
項目	回答数（構成比）
週4回以上	25（2.3）
週2～3回	104（9.7）
週1回	60（5.6）
月1～3回	51（4.8）
年に数回	26（2.4）
参加していない	746（69.7）
無回答	59（5.5）

図 社会参加の状況 スポーツ関係のグループやクラブ



③趣味関係のグループ

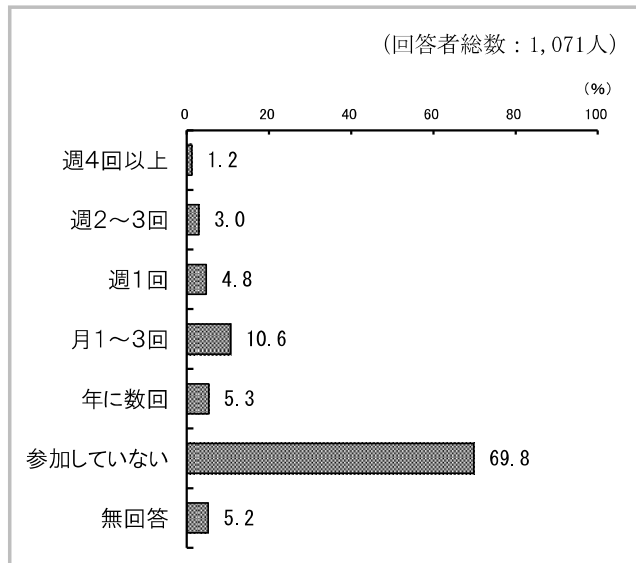
「月1～3回」が10.6%

趣味関係のグループへの参加状況は、「月1～3回」が10.6%となっています。一方、「参加していない」は69.8%となっています。

表 社会参加の状況
趣味関係のグループ

回答者総数(人)		1,071
項目	回答数(構成比)	
週4回以上	13(1.2)	
週2～3回	32(3.0)	
週1回	51(4.8)	
月1～3回	114(10.6)	
年に数回	57(5.3)	
参加していない	748(69.8)	
無回答	56(5.2)	

図 社会参加の状況 趣味関係のグループ



④学習・教養サークル

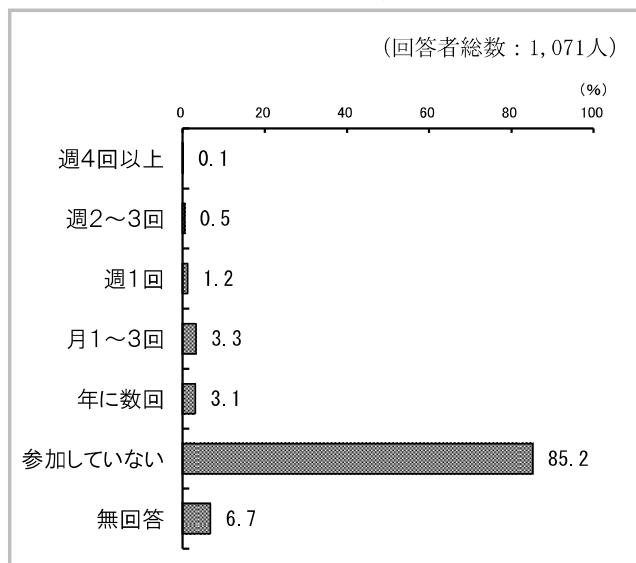
「月1～3回」が3.3%

学習・教養サークルへの参加状況は、「月1～3回」が3.3%となっています。一方、「参加していない」は85.2%となっています。

表 社会参加の状況
学習・教養サークル

回答者総数(人)		1,071
項目	回答数(構成比)	
週4回以上	1(0.1)	
週2～3回	5(0.5)	
週1回	13(1.2)	
月1～3回	35(3.3)	
年に数回	33(3.1)	
参加していない	912(85.2)	
無回答	72(6.7)	

図 社会参加の状況 学習・教養サークル



⑤介護予防のための通いの場（筋トレや体操、お茶のみ会など）

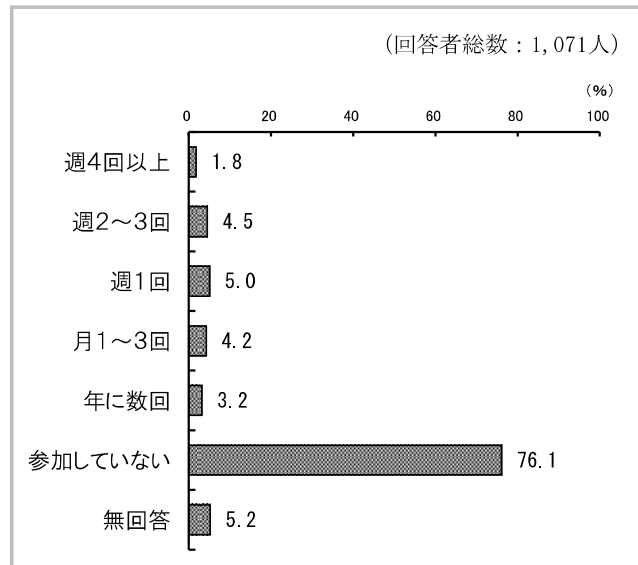
「週1回」が5.0%

介護予防のための通いの場（筋トレや体操、お茶のみ会など）への参加状況は、「週1回」が5.0%となっています。一方、「参加していない」が76.1%となっています。

表 社会参加の状況
介護予防のための通いの場 単位：人（%）

項目	回答数（構成比）
回答者総数（人）	1,071
週4回以上	19（1.8）
週2～3回	48（4.5）
週1回	54（5.0）
月1～3回	45（4.2）
年に数回	34（3.2）
参加していない	815（76.1）
無回答	56（5.2）

図 社会参加の状況 介護予防のための通いの場



⑥老人クラブ

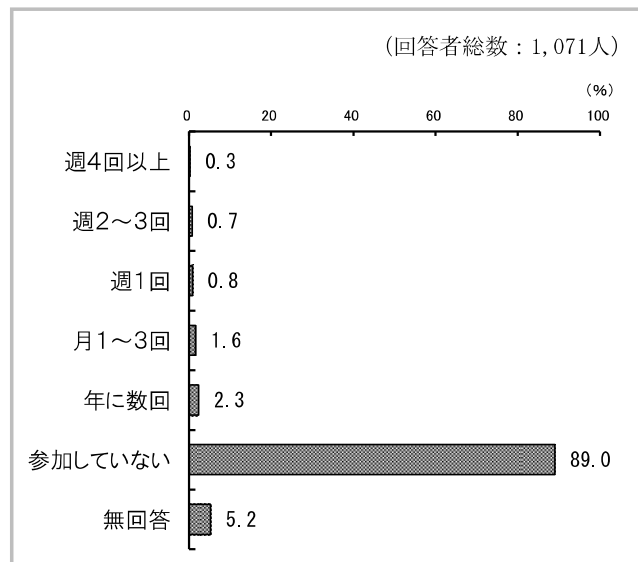
「年に数回」が2.3%

老人クラブへの参加状況は、「年に数回」が2.3%となっています。一方、「参加していない」が89.0%となっています。

表 社会参加の状況
老人クラブ 単位：人（%）

項目	回答数（構成比）
回答者総数（人）	1,071
週4回以上	3（0.3）
週2～3回	8（0.7）
週1回	9（0.8）
月1～3回	17（1.6）
年に数回	25（2.3）
参加していない	953（89.0）
無回答	56（5.2）

図 社会参加の状況 老人クラブ



⑦行政区・町内会・自治会

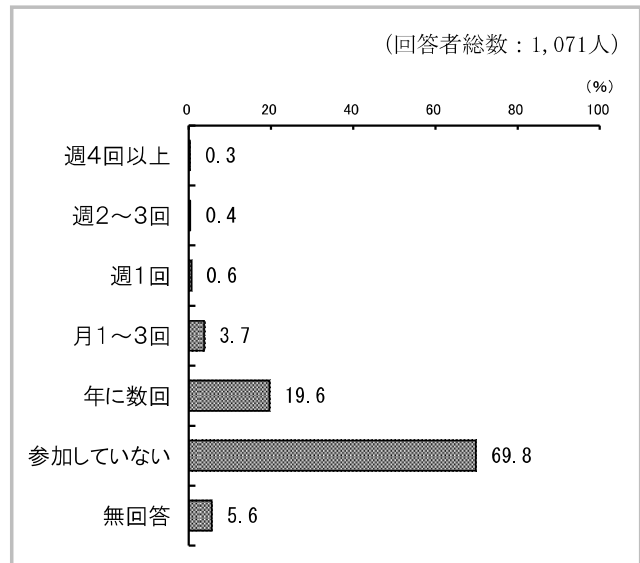
「年に数回」が19.6%

行政区・町内会・自治会への参加状況は、「年に数回」が19.6%となっています。一方、「参加していない」は69.8%となっています。

表 社会参加の状況
行政区・町内会・自治会 単位：人（%）

回答者総数（人）	1,071
項目	回答数（構成比）
週4回以上	3（0.3）
週2～3回	4（0.4）
週1回	6（0.6）
月1～3回	40（3.7）
年に数回	210（19.6）
参加していない	748（69.8）
無回答	60（5.6）

図 社会参加の状況 行政区・町内会・自治会



⑧収入のある仕事

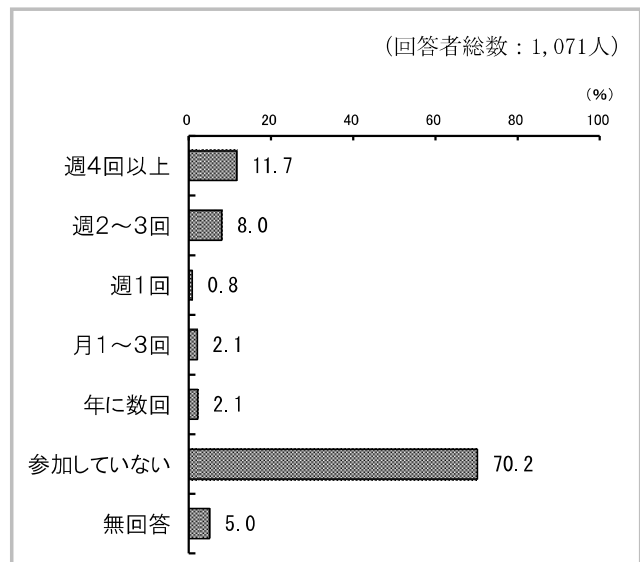
「週4回以上」が11.7%

収入のある仕事への参加状況は、「週4回以上」が11.7%となっています。一方、「参加していない」は70.2%となっています。

表 社会参加の状況
収入のある仕事 単位：人（%）

回答者総数（人）	1,071
項目	回答数（構成比）
週4回以上	125（11.7）
週2～3回	86（8.0）
週1回	9（0.8）
月1～3回	22（2.1）
年に数回	23（2.1）
参加していない	752（70.2）
無回答	54（5.0）

図 社会参加の状況 収入のある仕事



(2) 地域づくりの参加意向

問32 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。
[1つに○]

「参加してもよい」が53.3%

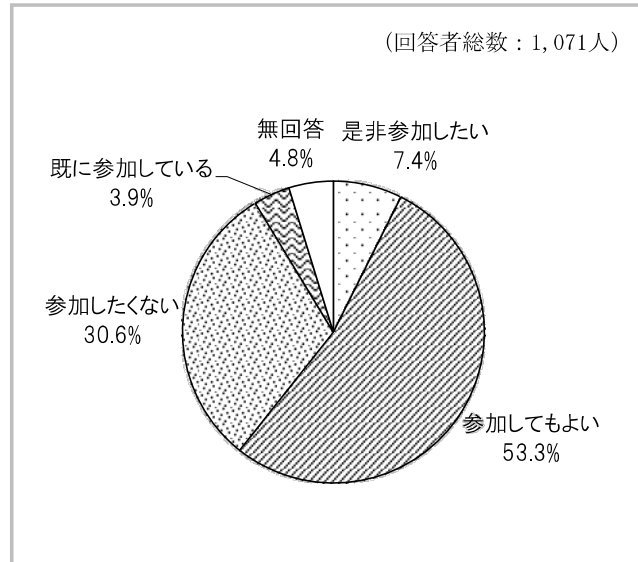
地域づくりの活動への参加意向については、「是非参加したい」が7.4%、「参加してもよい」が53.3%となっています。

一方、「参加したくない」は30.6%となっています。

表 地域づくりの活動への参加意向

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
是非参加したい	79 (7.4)
参加してもよい	571 (53.3)
参加したくない	328 (30.6)
既に参加している	42 (3.9)
無回答	51 (4.8)

図 地域づくりの活動への参加意向



問33 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。[1つに○]

「参加してもよい」が33.8%

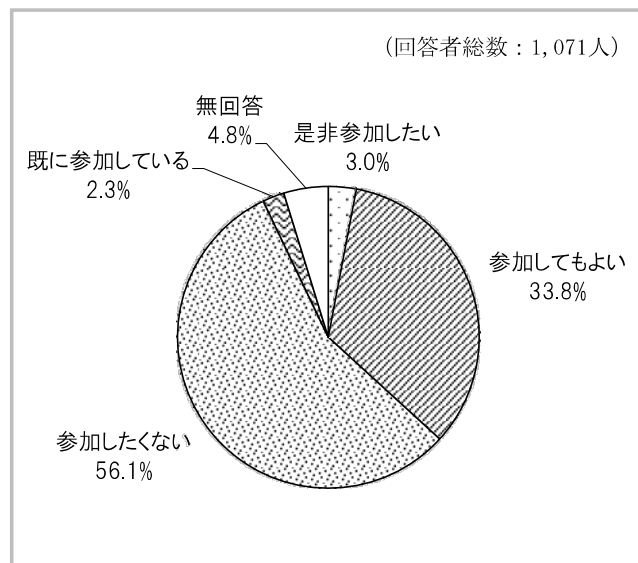
地域づくりの企画・運営（お世話役）の参加意向については、「是非参加したい」が3.0%、「参加してもよい」が33.8%となっています。

一方、「参加したくない」は56.1%となっています。

表 地域づくりの企画・運営の参加意向

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
是非参加したい	32 (3.0)
参加してもよい	362 (33.8)
参加したくない	601 (56.1)
既に参加している	25 (2.3)
無回答	51 (4.8)

図 地域づくりの企画・運営の参加意向



7 たすけあいについて

(1) たすけあいについて

問34 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 [あてはまるものすべてに○]

「配偶者」が61.6%

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が61.6%で、次いで「友人」が41.0%、「別居の子ども」が34.5%となっています。

一方、「そのような人はいない」は 4.5%となっています。

図 心配事や愚痴を聞いてくれる人

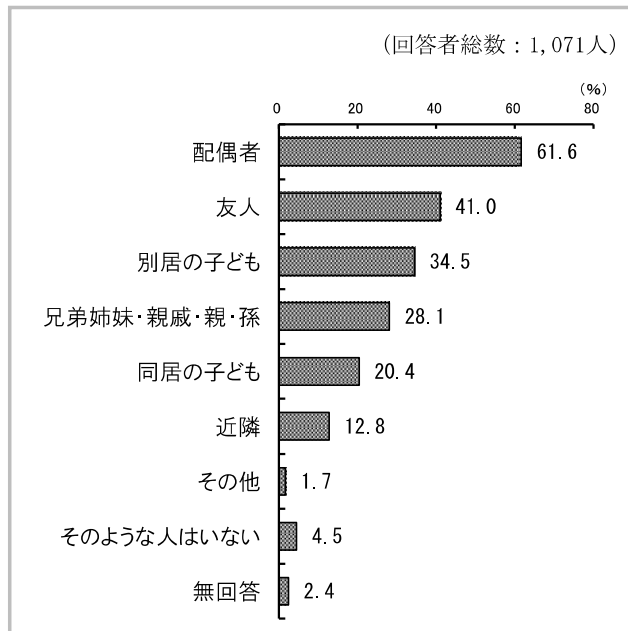


表 心配事や愚痴を聞いてくれる人

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
配偶者	660 (61.6)
友人	439 (41.0)
別居の子ども	369 (34.5)
兄弟姉妹・親戚・親・孫	301 (28.1)
同居の子ども	218 (20.4)
近隣	137 (12.8)
その他	18 (1.7)
そのような人はいない	48 (4.5)
無回答	26 (2.4)

問35 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 [あてはまるものすべてに○]

「配偶者」が57.8%

心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が57.8%で、次いで「友人」が39.9%、「別居の子ども」が31.5%となっています。

一方、「そのような人はいない」は 5.8%となっています。

図 心配事や愚痴を聞いてあげる人

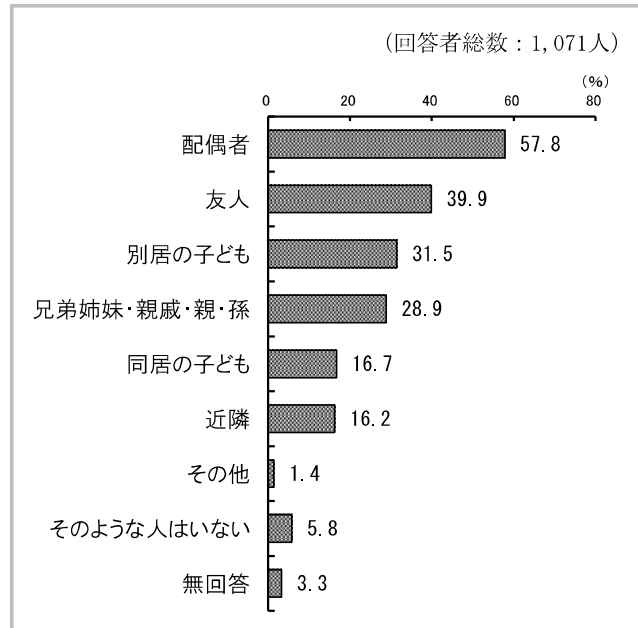


表 心配事や愚痴を聞いてあげる人

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
配偶者	619 (57.8)
友人	427 (39.9)
別居の子ども	337 (31.5)
兄弟姉妹・親戚・親・孫	309 (28.9)
同居の子ども	179 (16.7)
近隣	174 (16.2)
その他	15 (1.4)
そのような人はいない	62 (5.8)
無回答	35 (3.3)

問36 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 [あてはまるものすべてに○]

「配偶者」が66.9%

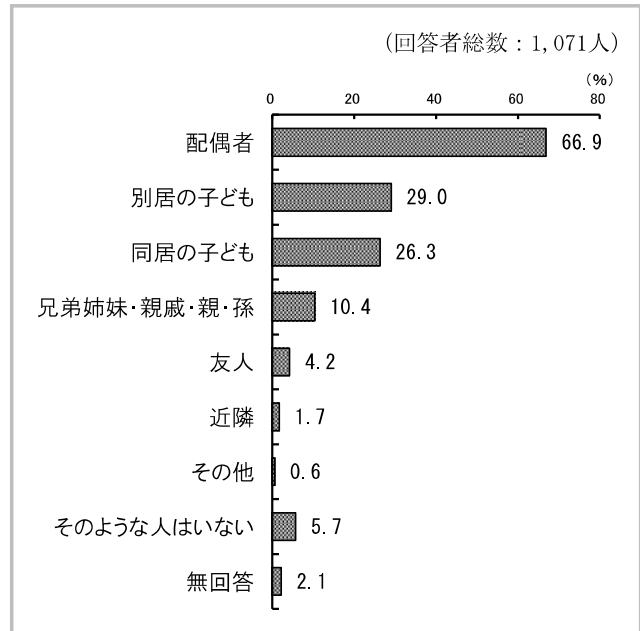
看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が66.9%で、次いで「別居の子ども」が29.0%、「同居の子ども」が26.3%となっています。

一方、「そのような人はいない」は5.7%となっています。

表 看病や世話をしてくれる人 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
配偶者	716 (66.9)
別居の子ども	311 (29.0)
同居の子ども	282 (26.3)
兄弟姉妹・親戚・親・孫	111 (10.4)
友人	45 (4.2)
近隣	18 (1.7)
その他	6 (0.6)
そのような人はいない	61 (5.7)
無回答	23 (2.1)

図 看病や世話をしてくれる人



問37 反対に、看病や世話をしてあげる人 [あてはまるものすべてに○]

「配偶者」が67.4%

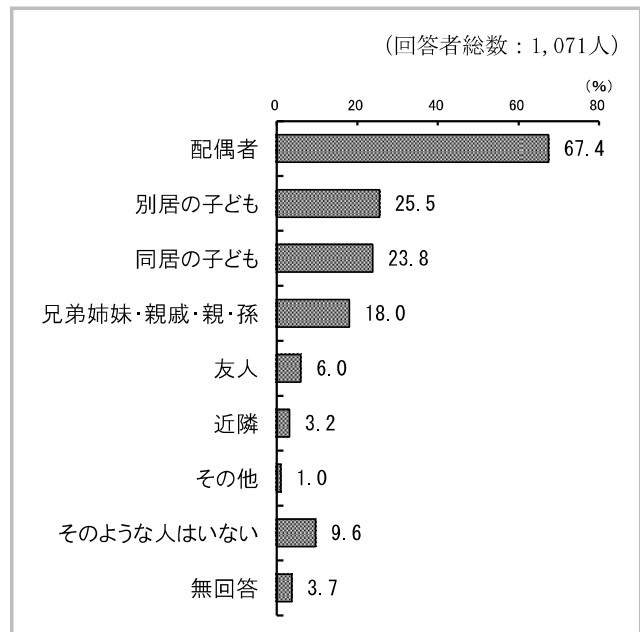
看病や世話をしてあげる人については、「配偶者」が67.4%で、次いで「別居の子ども」が25.5%、「同居の子ども」が23.8%となっています。

一方、「そのような人はいない」は9.6%となっています。

表 看病や世話をしてあげる人 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
配偶者	722 (67.4)
別居の子ども	273 (25.5)
同居の子ども	255 (23.8)
兄弟姉妹・親戚・親・孫	193 (18.0)
友人	64 (6.0)
近隣	34 (3.2)
その他	11 (1.0)
そのような人はいない	103 (9.6)
無回答	40 (3.7)

図 看病や世話をしてあげる人



(2) 家族・友人・知人以外の相談相手

問38 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
 [あてはまるものすべてに○]

「医師・歯科医師・看護師」が24.4%

家族・友人・知人以外の相談相手については、「医師・歯科医師・看護師」が24.4%で、次いで「地域包括支援センター・市役所」が12.2%、「社会福祉協議会・民生委員」が8.9%となっています。

一方、「そのような人はいない」は48.8%となっています。

図 家族や友人以外の相談相手

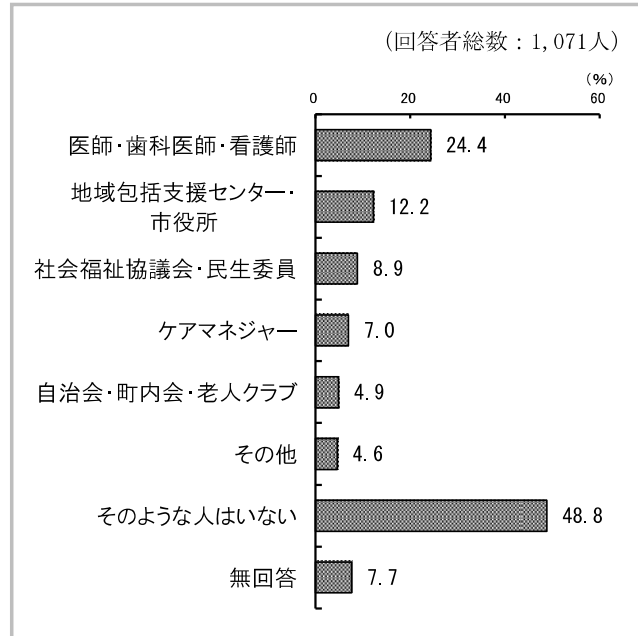


表 家族や友人以外の相談相手 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
医師・歯科医師・看護師	261 (24.4)
地域包括支援センター・市役所	131 (12.2)
社会福祉協議会・民生委員	95 (8.9)
ケアマネジャー	75 (7.0)
自治会・町内会・老人クラブ	52 (4.9)
その他	49 (4.6)
そのような人はいない	523 (48.8)
無回答	82 (7.7)

(3) 友人・知人とのおつきあい

問39 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。[1つに○]

「週に何度かある」が25.8%

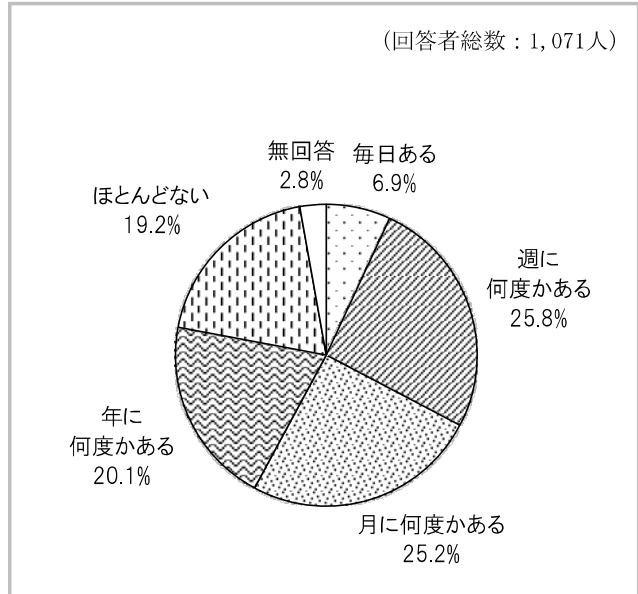
友人・知人と会う頻度については、「週に何度かある」が25.8%で、次いで「月に何度かある」が25.2%、「年に何度かある」が20.1%となっています。

一方、「ほとんどない」は19.2%となっています。

表 友人・知人と会う頻度 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
毎日ある	74 (6.9)
週に何度かある	276 (25.8)
月に何度かある	270 (25.2)
年に何度かある	215 (20.1)
ほとんどない	206 (19.2)
無回答	30 (2.8)

図 友人・知人と会う頻度



問40 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。[1つに○]

「3～5人」が27.5%

この1か月間、何人の友人・知人に会ったかについては、「3～5人」が27.5%で、次いで「1～2人」が21.3%となっています。

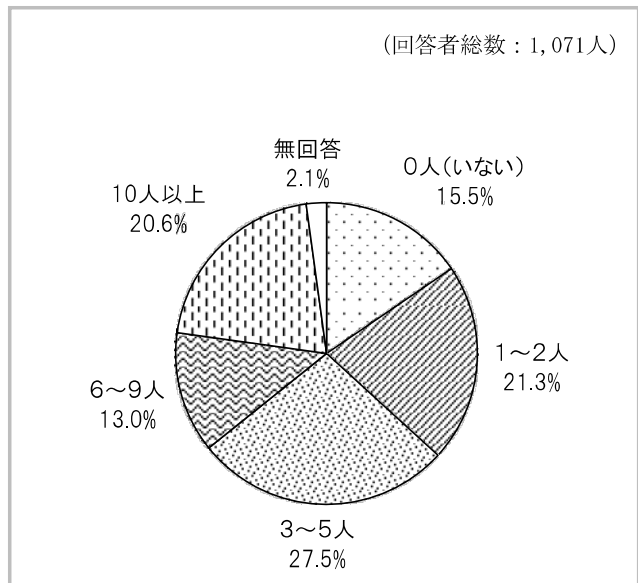
一方、「0人 (いない)」は15.5%となっています。

表 1か月間に会った友人・知人の人数

単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
0人 (いない)	166 (15.5)
1～2人	228 (21.3)
3～5人	294 (27.5)
6～9人	139 (13.0)
10人以上	221 (20.6)
無回答	23 (2.1)

図 1か月間に会った友人・知人の人数



問41 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。[あてはまるものすべてに○]

「近所・同じ地域の人」が47.3%

よく会う友人・知人の関係については、「近所・同じ地域の人」が47.3%で、次いで「趣味や関心が同じ友人」が32.2%、「仕事での同僚・元同僚」が29.9%となっています。

一方、「いない」は12.5%となっています。

図 よく会う友人・知人の関係

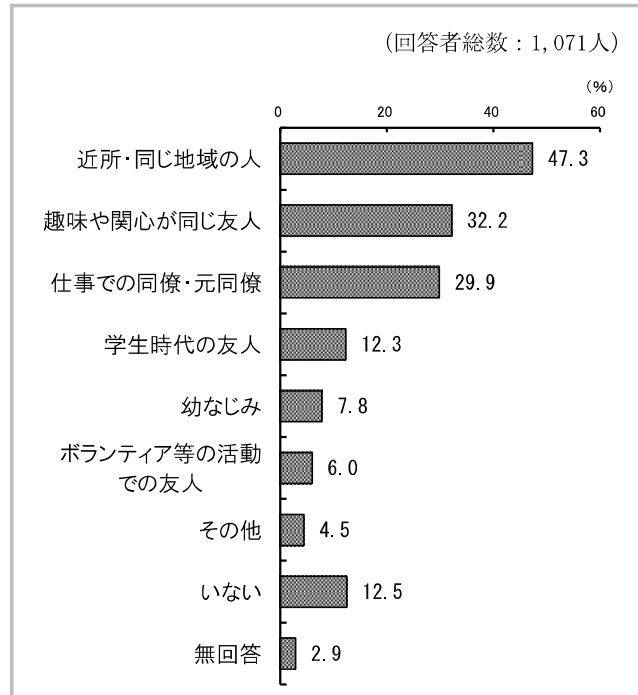


表 よく会う友人・知人の関係 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
近所・同じ地域の人	507 (47.3)
趣味や関心が同じ友人	345 (32.2)
仕事での同僚・元同僚	320 (29.9)
学生時代の友人	132 (12.3)
幼なじみ	84 (7.8)
ボランティア等の活動での友人	64 (6.0)
その他	48 (4.5)
いない	134 (12.5)
無回答	31 (2.9)

8 健康について

(1) 主観的健康感

問42 現在のあなたの健康状態はいかがですか。[1つに○]

健康状態がよいと感じている人は77.3%

主観的健康感については、「とてもよい」が13.2%、「まあよい」が64.1%で、これらを合わせると77.3%となっています。

一方、「あまりよくない」は16.7%、「よくない」は3.8%で、これらを合わせると20.5%となっています。

図 主観的健康感

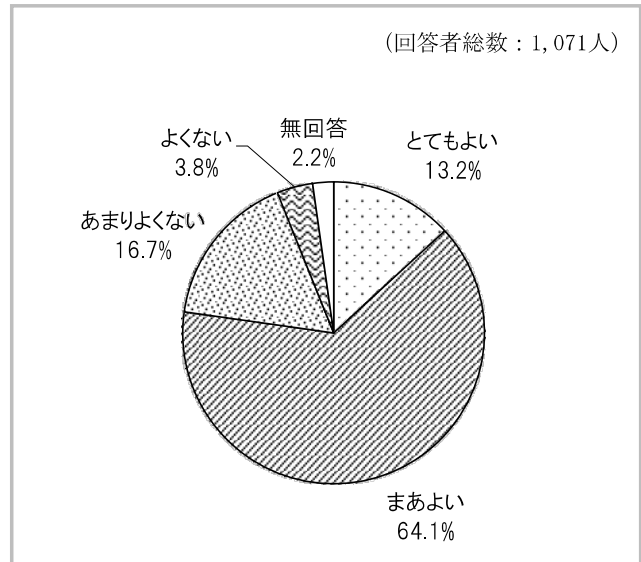


表 主観的健康感 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
とてもよい	141 (13.2)
まあよい	686 (64.1)
あまりよくない	179 (16.7)
よくない	41 (3.8)
無回答	24 (2.2)

(2) 主観的幸福感

問43 あなたは、現在どの程度幸せですか。[1つに○]
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。)

「8点」が22.8%

主観的幸福感については、10点満点中「8点」が22.8%、「5点」が20.3%、「7点」が16.9%となっています。

また、平均点を算出したところ 6.9点となっています。

図 主観的幸福感

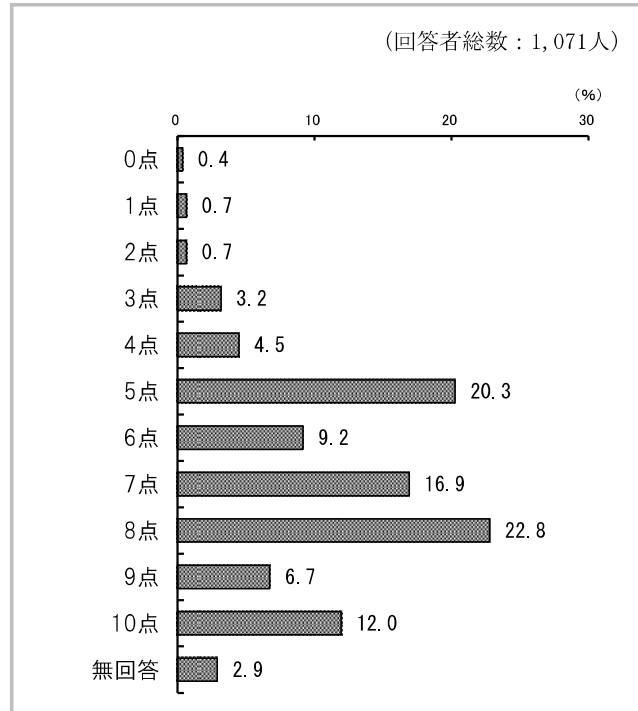


表 主観的幸福感 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
0点	4 (0.4)
1点	7 (0.7)
2点	7 (0.7)
3点	34 (3.2)
4点	48 (4.5)
5点	217 (20.3)
6点	98 (9.2)
7点	181 (16.9)
8点	244 (22.8)
9点	72 (6.7)
10点	128 (12.0)
無回答	31 (2.9)

(3) うつ傾向

問44 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
[1つに〇]

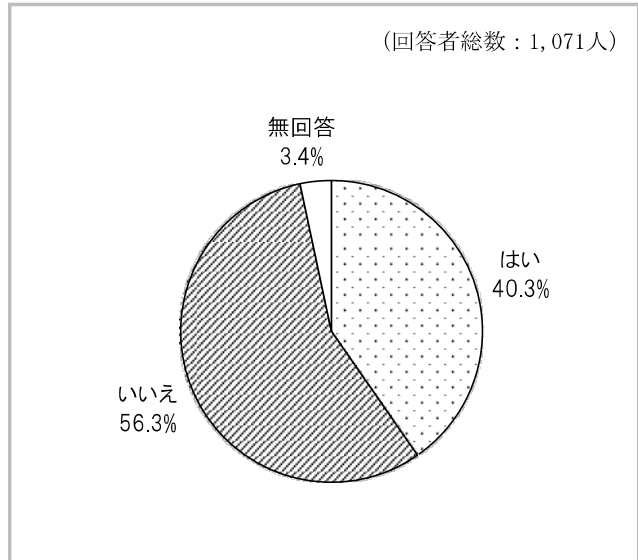
「はい」が40.3%

気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が40.3%、「いいえ」が56.3%となっています。

表 1か月間に気分が沈んだこと

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
はい	432 (40.3)
いいえ	603 (56.3)
無回答	36 (3.4)

図 1か月間に気分が沈んだこと



問45 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。[1つに〇]

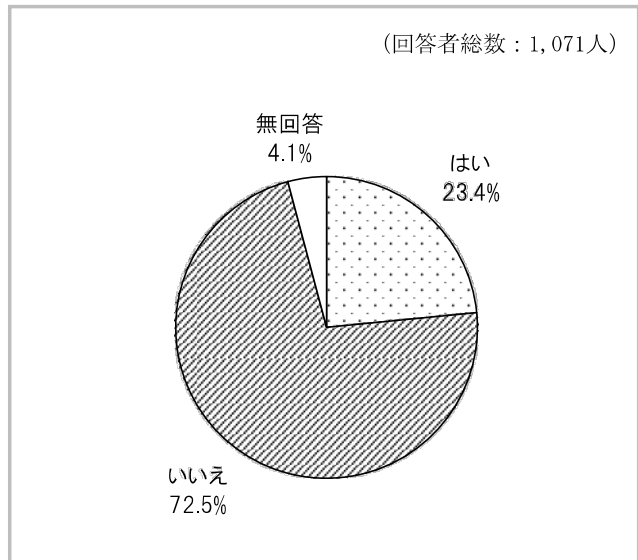
「はい」が23.4%

どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、「はい」が23.4%、「いいえ」が72.5%となっています。

表 1か月間に物事に興味がわかないこと

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
はい	251 (23.4)
いいえ	776 (72.5)
無回答	44 (4.1)

図 1か月間に物事に興味がわかないこと



【うつ傾向について】

問44、問45で、どちらかでも「はい」を選択した場合は、うつ傾向の高齢者となります。抽出を行った結果、うつ傾向は465人が該当し、回答者全体の43.4%となっています。

(4) 喫煙習慣

問46 タバコは吸っていますか。[1つに○]

喫煙習慣のある人は 9.7%

喫煙については、「ほぼ毎日吸っている」が 8.3%、「時々吸っている」が 1.4%で、これらを合わせると 9.7%となっています。

また、「吸っていたがやめた」は32.5%、「もともと吸っていない」は55.6%となっています。

図 喫煙習慣

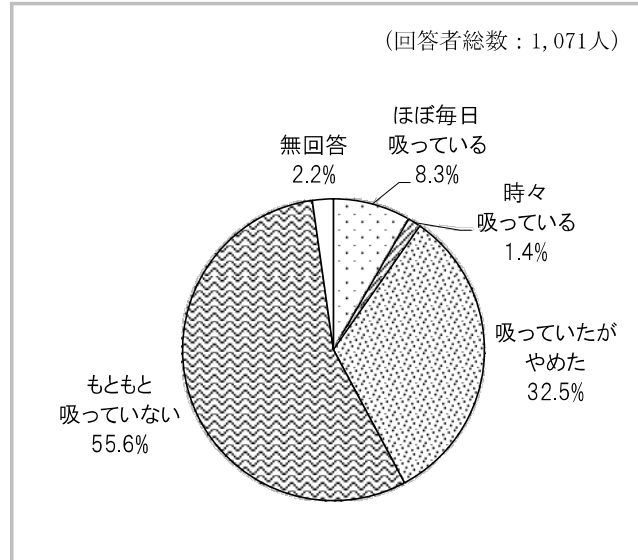


表 喫煙習慣 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
ほぼ毎日吸っている	89 (8.3)
時々吸っている	15 (1.4)
吸っていたがやめた	348 (32.5)
もともと吸っていない	595 (55.6)
無回答	24 (2.2)

(5) 治療中・後遺症のある病気

問47 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。[あてはまるものすべてに○]

「高血圧」が41.0%

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が41.0%で、次いで「目の病気」が17.0%、「高脂血症（脂質異常）」が14.3%となっています。

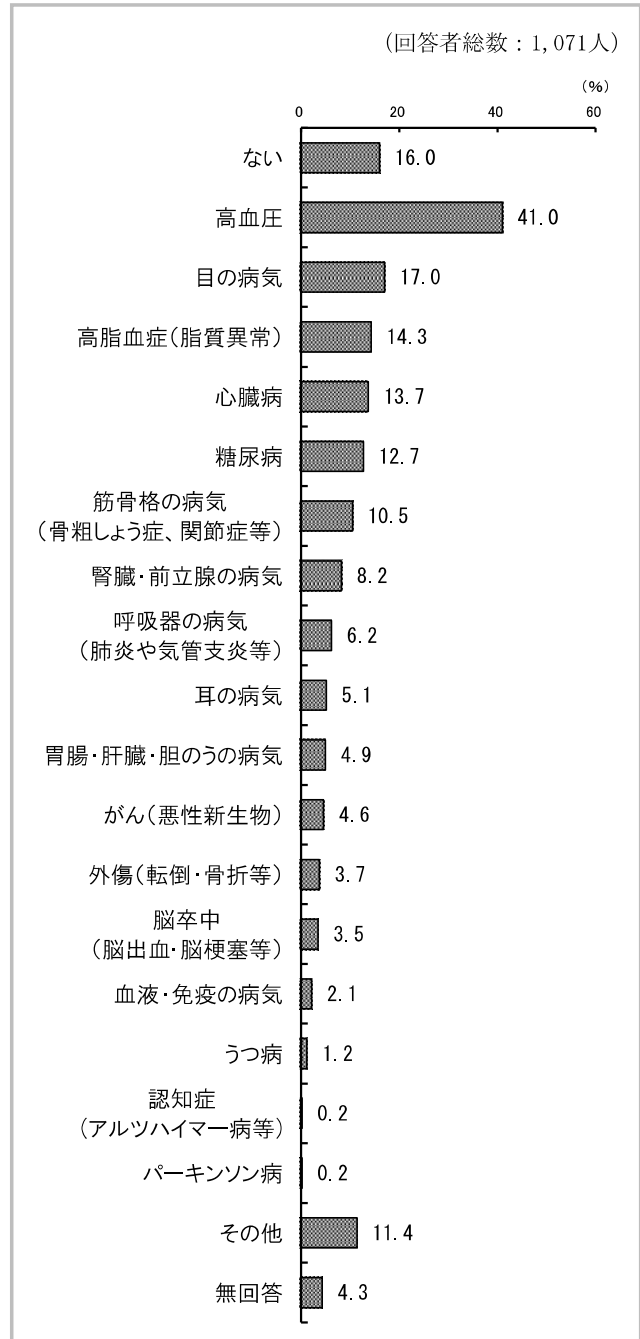
また、「心臓病」が13.7%、「糖尿病」が12.7%となっています。

一方、「ない」は16.0%となっています。

表 治療中・後遺症のある病気 単位：人（%）

回答者総数（人）	1,071
項目	回答数（構成比）
ない	171（16.0）
高血圧	439（41.0）
目の病気	182（17.0）
高脂血症（脂質異常）	153（14.3）
心臓病	147（13.7）
糖尿病	136（12.7）
筋骨格の病気 （骨粗しょう症、関節症等）	112（10.5）
腎臓・前立腺の病気	88（8.2）
呼吸器の病気 （肺炎や気管支炎等）	66（6.2）
耳の病気	55（5.1）
胃腸・肝臓・胆のうの病気	53（4.9）
がん（悪性新生物）	49（4.6）
外傷（転倒・骨折等）	40（3.7）
脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	37（3.5）
血液・免疫の病気	23（2.1）
うつ病	13（1.2）
認知症（アルツハイマー病等）	2（0.2）
パーキンソン病	2（0.2）
その他	122（11.4）
無回答	46（4.3）

図 治療中・後遺症のある病気



【 性別、前期・後期高齢者別 】

治療中や後遺症のある病気を、性別、前期・後期高齢者別にみると、男女ともに「高血圧」が多く、後期高齢者ではさらに割合が多くなっています。

また、男性の後期高齢者では「腎臓・前立腺の病気」が21.0%、女性の後期高齢者では、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が21.7%で、2番目に多くなっています。

表 性別、前期・後期高齢者別にみた治療中・後遺症のある病気

単位：人（％）

項目	全体	男性		女性	
		前期高齢者	後期高齢者	前期高齢者	後期高齢者
回答者総数（人）	1,071	251	243	262	295
ない	171 (16.0)	52 (20.7)	39 (16.0)	48 (18.3)	30 (10.2)
高血圧	439 (41.0)	102 (40.6)	108 (44.4)	93 (35.5)	129 (43.7)
目の病気	182 (17.0)	34 (13.5)	50 (20.6)	33 (12.6)	63 (21.4)
高脂血症（脂質異常）	153 (14.3)	31 (12.4)	24 (9.9)	52 (19.8)	45 (15.3)
心臓病	147 (13.7)	31 (12.4)	44 (18.1)	21 (8.0)	47 (15.9)
糖尿病	136 (12.7)	40 (15.9)	45 (18.5)	23 (8.8)	23 (7.8)
筋骨格の病気 （骨粗しょう症、関節症等）	112 (10.5)	10 (4.0)	10 (4.1)	26 (9.9)	64 (21.7)
腎臓・前立腺の病気	88 (8.2)	25 (10.0)	51 (21.0)	3 (1.1)	6 (2.0)
呼吸器の病気 （肺炎や気管支炎等）	66 (6.2)	10 (4.0)	18 (7.4)	13 (5.0)	25 (8.5)
耳の病気	55 (5.1)	6 (2.4)	19 (7.8)	5 (1.9)	23 (7.8)
胃腸・肝臓・胆のうの病気	53 (4.9)	15 (6.0)	9 (3.7)	8 (3.1)	21 (7.1)
がん（悪性新生物）	49 (4.6)	15 (6.0)	15 (6.2)	10 (3.8)	9 (3.1)
外傷（転倒・骨折等）	40 (3.7)	2 (0.8)	11 (4.5)	3 (1.1)	24 (8.1)
脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	37 (3.5)	4 (1.6)	17 (7.0)	2 (0.8)	10 (3.4)
血液・免疫の病気	23 (2.1)	4 (1.6)	6 (2.5)	8 (3.1)	5 (1.7)
うつ病	13 (1.2)	5 (2.0)	4 (1.6)	1 (0.4)	3 (1.0)
認知症（アルツハイマー病等）	2 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.7)
パーキンソン病	2 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他	122 (11.4)	24 (9.6)	24 (9.9)	37 (14.1)	36 (12.2)
無回答	46 (4.3)	11 (4.4)	6 (2.5)	16 (6.1)	13 (4.4)

※性別及び年齢の無回答者 20人を除いている。

(6) 耳の聞こえ

問48 あなたの耳の聞こえはどうか。[1つに○]

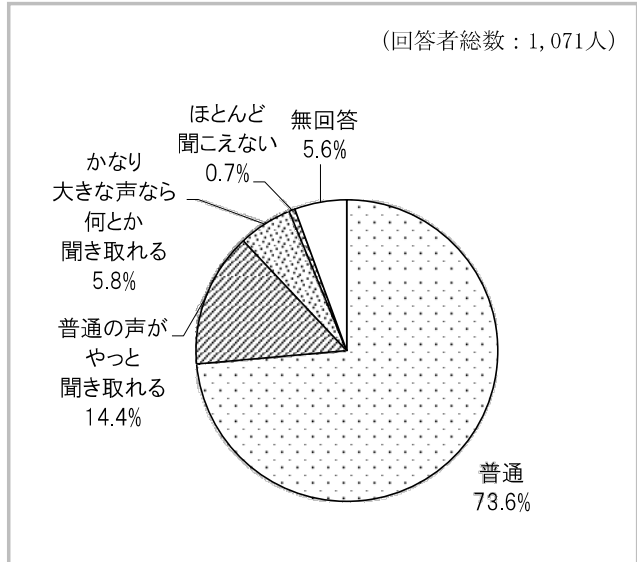
「普通」が73.6%

耳の聞こえについては、「普通」が73.6%となっています。また、「普通の声がやっと聞き取れる」が14.4%、「かなり大きな声なら何とか聞き取れる」が5.8%、「ほとんど聞こえない」が0.7%となっています。

表 耳の聞こえの状況 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
普通	788 (73.6)
普通の声がやっと聞き取れる	154 (14.4)
かなり大きな声なら何とか聞き取れる	62 (5.8)
ほとんど聞こえない	7 (0.7)
無回答	60 (5.6)

図 耳の聞こえの状況



(7) 補聴器の使用

問49 [問48で「普通の声がやっと聞き取れる」、「かなり大きな声なら何とか聞き取れる」、「ほとんど聞こえない」と回答した方] 補聴器を使用していますか。[1つに○]

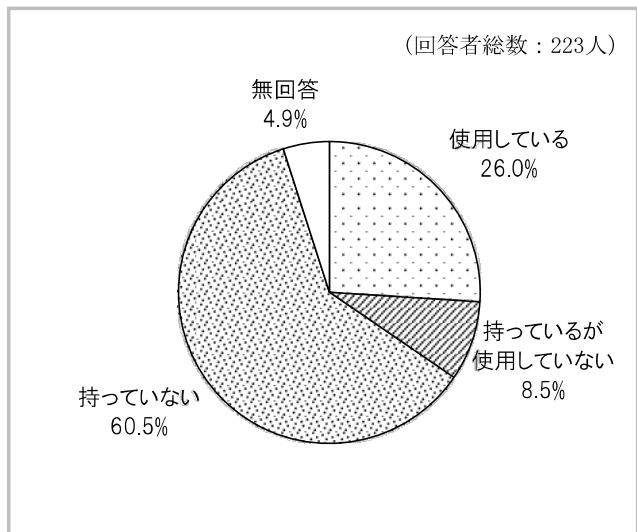
「使用している」が26.0%

補聴器を使用しているかについては、「使用している」が26.0%、「持っているが使用していない」が8.5%となっています。一方、「持っていない」は60.5%となっています。

表 補聴器の使用状況 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	223
使用している	58 (26.0)
持っているが使用していない	19 (8.5)
持っていない	135 (60.5)
無回答	11 (4.9)

図 補聴器の使用状況



問50 「問49で「持っていない」と回答した方]
補聴器を持っていない理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

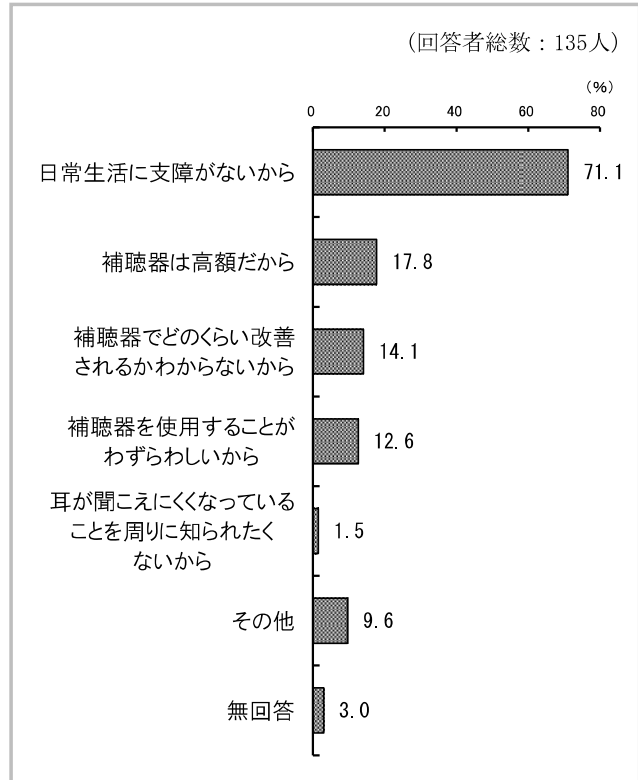
「日常生活に支障がないから」が71.1%

補聴器を持っていない理由については、「日常生活に支障がないから」が71.1%で、次いで「補聴器は高額だから」が17.8%、「補聴器でどのくらい改善されるかわからないから」が14.1%となっています。

表 補聴器を持っていない理由 単位：人（%）

回答者総数（人）	135
項目	回答数（構成比）
日常生活に支障がないから	96（71.1）
補聴器は高額だから	24（17.8）
補聴器でどのくらい改善されるかわからないから	19（14.1）
補聴器を使用することがわずらわしいから	17（12.6）
耳が聞こえにくくなっていることを周りに知られたくないから	2（1.5）
その他	13（9.6）
無回答	4（3.0）

図 補聴器を持っていない理由



9 認知症の相談窓口について

(1) 本人または家族の認知症の有無

問51 認知症の症状がある、または、家族に認知症の症状のある人がいますか。[1つに○]

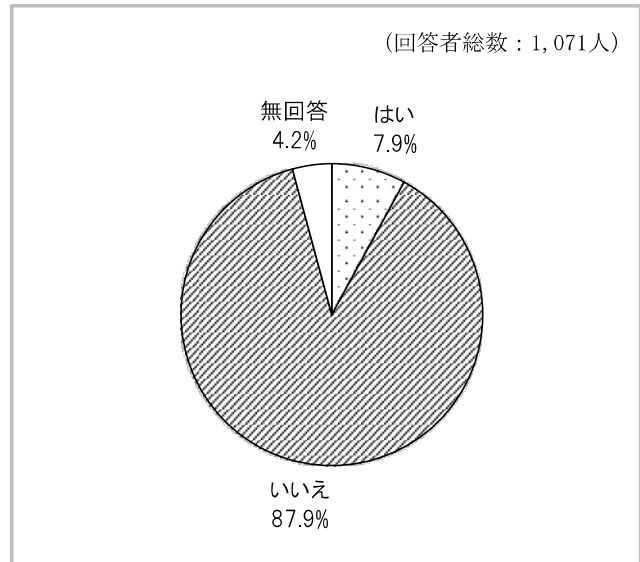
「はい」が7.9%

本人または家族の認知症の有無については、「はい」が7.9%、「いいえ」が87.9%となっています。

表 本人または家族の認知症の有無

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
はい	85 (7.9)
いいえ	941 (87.9)
無回答	45 (4.2)

図 本人または家族の認知症の有無



(2) 認知症の相談窓口の認知状況

問52 認知症に関する相談窓口を知っていますか。[1つに○]

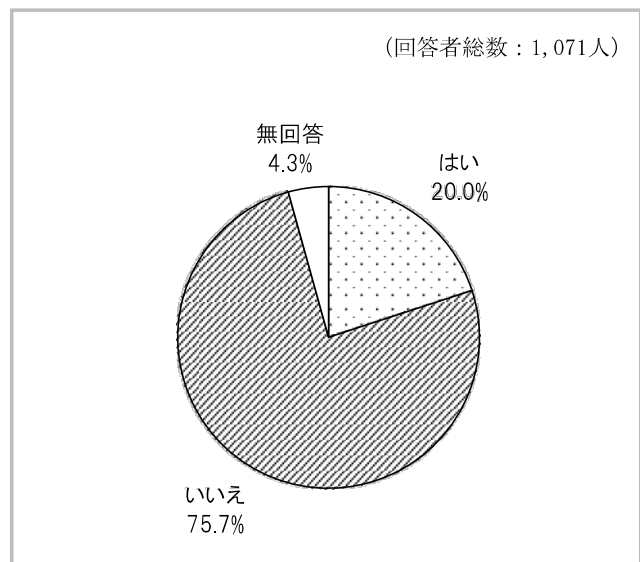
「はい」が20.0%

認知症の相談窓口の認知度については、「はい」が20.0%、「いいえ」が75.7%となっています。

表 認知症の相談窓口の認知度

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
はい	214 (20.0)
いいえ	811 (75.7)
無回答	46 (4.3)

図 認知症の相談窓口の認知度



(3) 認知症について関心があること

問53 認知症についてどんなことに関心がありますか。[主なものを2つ以内で〇]

「認知症の予防に効果的な方法」が51.8%

認知症について関心があることについては、「認知症の予防に効果的な方法」が51.8%で、次いで「認知症の兆候を早期に発見する方法」が44.4%となっています。

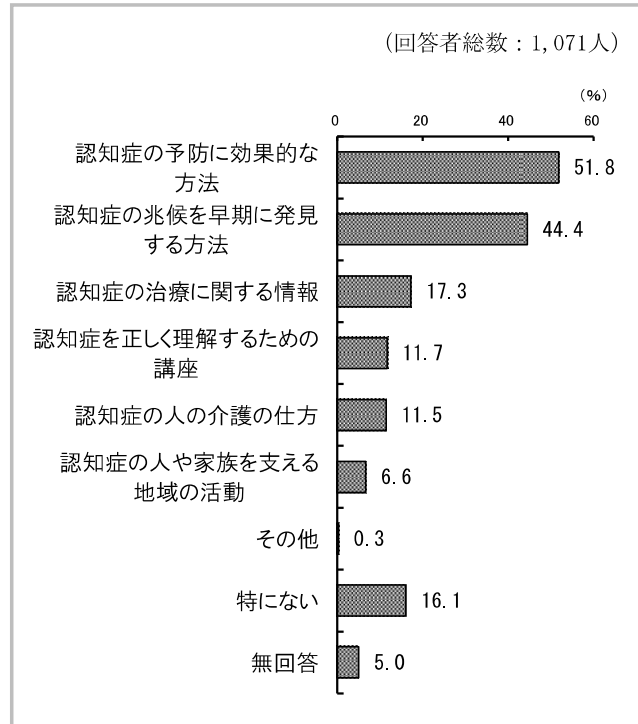
一方、「特にない」は16.1%となっています。

表 認知症について関心があること

単位：人（%）

回答者総数（人）	1,071
項目	回答数（構成比）
認知症の予防に効果的な方法	555 (51.8)
認知症の兆候を早期に発見する方法	476 (44.4)
認知症の治療に関する情報	185 (17.3)
認知症を正しく理解するための講座	125 (11.7)
認知症の人の介護の仕方	123 (11.5)
認知症の人や家族を支える地域の活動	71 (6.6)
その他	3 (0.3)
特にない	172 (16.1)
無回答	54 (5.0)

図 認知症について関心があること



(4) 成年後見制度の認知度

問54 あなたは、成年後見制度（判断力が低下した方への法的な支援制度）を知っていますか。
[1つに〇]

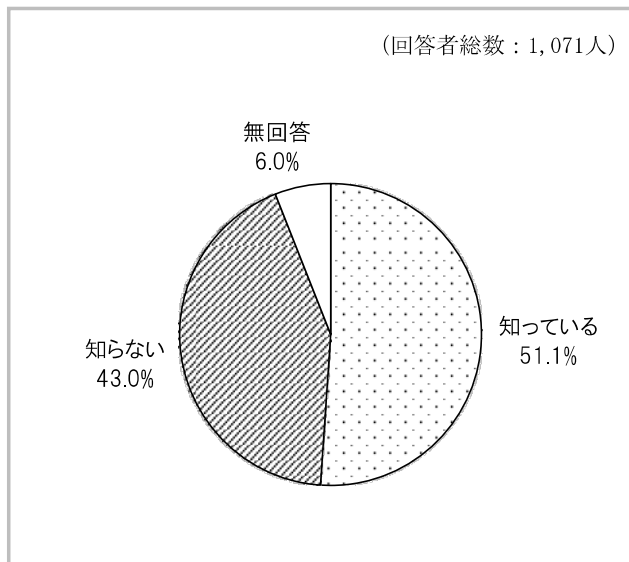
「知っている」が51.1%

成年後見制度の認知度については、「知っている」が51.1%、「知らない」が43.0%となっています。

表 成年後見制度の認知度 単位：人（%）

項目	回答数（構成比）
知っている	547 (51.1)
知らない	460 (43.0)
無回答	64 (6.0)

図 成年後見制度の認知度



10 高齢者福祉や介護保険等について

(1) 生きがいや楽しみ

問55 あなたの生活の中で、生きがいや楽しみは何ですか。[主なものを3つ以内で○]

「テレビやラジオ」が39.8%

生きがいや楽しみについては、「テレビやラジオ」が39.8%で、次いで「食べたり飲んだりすること」が35.3%、「散歩や買い物などの外出」が28.9%となっています。

また、「友人・仲間との交流」は26.7%、「旅行(日帰りの小旅行を含む)」は25.7%となっています。

図 生きがいや楽しみ

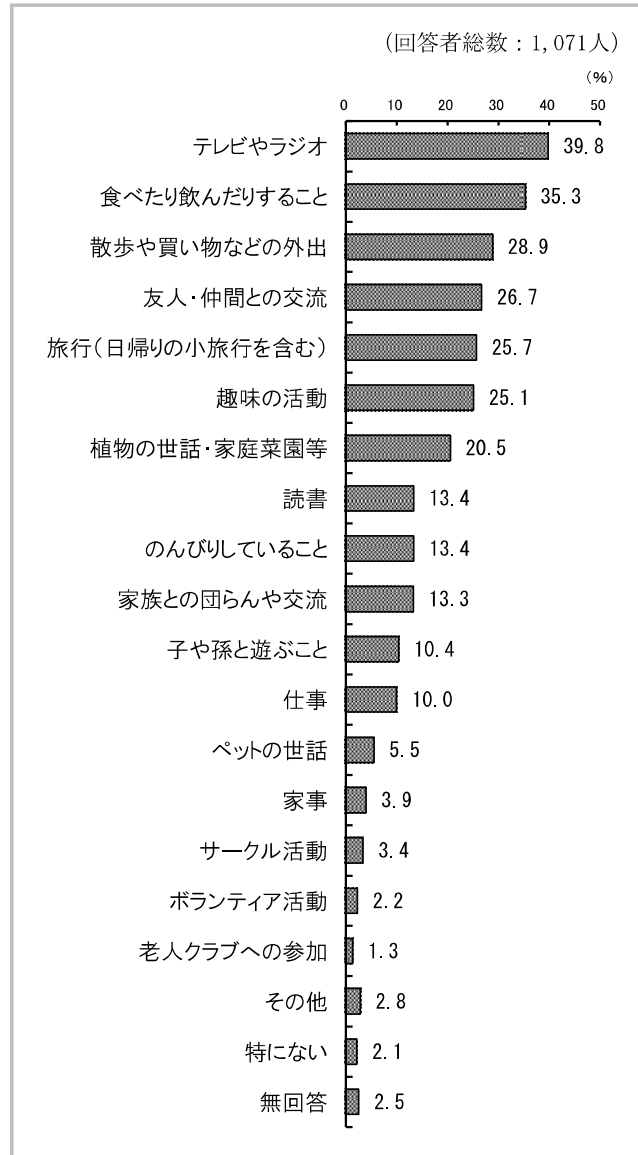


表 生きがいや楽しみ 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
テレビやラジオ	426 (39.8)
食べたり飲んだりすること	378 (35.3)
散歩や買い物などの外出	309 (28.9)
友人・仲間との交流	286 (26.7)
旅行(日帰りの小旅行を含む)	275 (25.7)
趣味の活動	269 (25.1)
植物の世話・家庭菜園等	220 (20.5)
読書	143 (13.4)
のんびりしていること	143 (13.4)
家族との団らんや交流	142 (13.3)
子や孫と遊ぶこと	111 (10.4)
仕事	107 (10.0)
ペットの世話	59 (5.5)
家事	42 (3.9)
サークル活動	36 (3.4)
ボランティア活動	24 (2.2)
老人クラブへの参加	14 (1.3)
その他	30 (2.8)
特にない	23 (2.1)
無回答	27 (2.5)

【 性別、前期・後期高齢者別 】

生きがいや楽しみを性別、前期・後期高齢者別にみると、男性の前期高齢者は「食べたり飲んだりすること」が最も多く、男性の後期高齢者、女性の前期高齢者と後期高齢者では「テレビやラジオ」が最も多くなっています。

表 性別、前期・後期高齢者別にみた生きがいや楽しみ 単位：人（％）

項目	全体	男性		女性	
		前期高齢者	後期高齢者	前期高齢者	後期高齢者
回答者総数（人）	1,071	251	243	262	295
テレビやラジオ	426 (39.8)	92 (36.7)	113 (46.5)	90 (34.4)	121 (41.0)
食べたり飲んだりすること	378 (35.3)	109 (43.4)	92 (37.9)	87 (33.2)	83 (28.1)
散歩や買い物などの外出	309 (28.9)	56 (22.3)	60 (24.7)	78 (29.8)	109 (36.9)
友人・仲間との交流	286 (26.7)	46 (18.3)	54 (22.2)	86 (32.8)	97 (32.9)
旅行（日帰りの小旅行を含む）	275 (25.7)	71 (28.3)	60 (24.7)	76 (29.0)	64 (21.7)
趣味の活動	269 (25.1)	81 (32.3)	62 (25.5)	66 (25.2)	54 (18.3)
植物の世話・家庭菜園等	220 (20.5)	36 (14.3)	54 (22.2)	56 (21.4)	70 (23.7)
読書	143 (13.4)	30 (12.0)	34 (14.0)	35 (13.4)	43 (14.6)
のんびりしていること	143 (13.4)	26 (10.4)	29 (11.9)	49 (18.7)	38 (12.9)
家族との団らんや交流	142 (13.3)	36 (14.3)	22 (9.1)	46 (17.6)	38 (12.9)
子や孫と遊ぶこと	111 (10.4)	43 (17.1)	9 (3.7)	41 (15.6)	17 (5.8)
仕事	107 (10.0)	41 (16.3)	26 (10.7)	28 (10.7)	11 (3.7)
ペットの世話	59 (5.5)	16 (6.4)	8 (3.3)	22 (8.4)	11 (3.7)
家事	42 (3.9)	6 (2.4)	6 (2.5)	8 (3.1)	22 (7.5)
サークル活動	36 (3.4)	8 (3.2)	7 (2.9)	11 (4.2)	10 (3.4)
ボランティア活動	24 (2.2)	6 (2.4)	6 (2.5)	6 (2.3)	6 (2.0)
老人クラブへの参加	14 (1.3)	1 (0.4)	3 (1.2)	1 (0.4)	9 (3.1)
その他	30 (2.8)	7 (2.8)	10 (4.1)	5 (1.9)	7 (2.4)
特にない	23 (2.1)	4 (1.6)	11 (4.5)	1 (0.4)	7 (2.4)
無回答	27 (2.5)	4 (1.6)	8 (3.3)	3 (1.1)	9 (3.1)

※性別及び年齢の無回答者 20人を除いている。

(2) 介護予防のために参加したい講座

問56 介護予防や健康づくりのために参加してみたい講座や教室はどのようなものですか。
 [主なものを2つ以内で○]

「健康管理」が21.8%

介護予防や健康づくりのために参加してみたい講座や教室については、「健康管理」が21.8%で、次いで「体操・運動」が21.5%となっています。

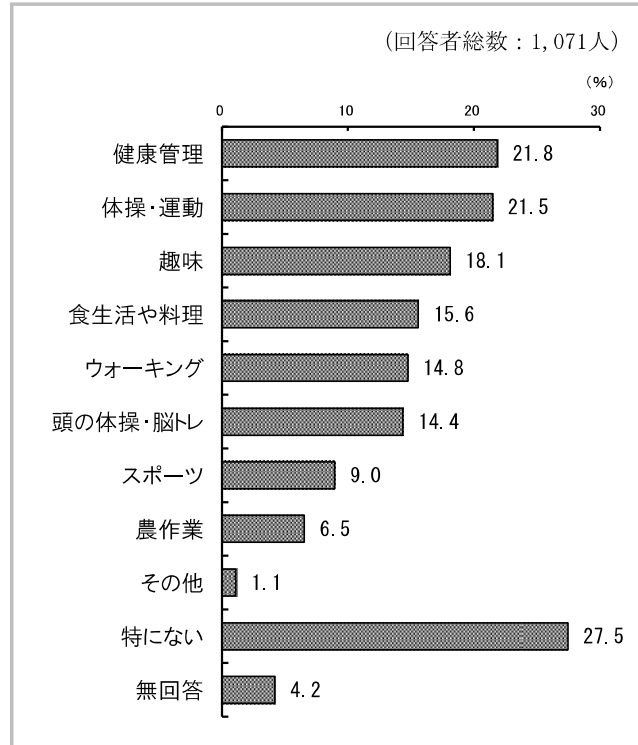
また、「趣味」は18.1%、「食生活や料理」は15.6%となっています。

一方、「特にない」は27.5%となっています。

表 介護予防のために参加したい講座

単位：人（%）	
回答者総数（人）	1,071
項目	回答数（構成比）
健康管理	234 (21.8)
体操・運動	230 (21.5)
趣味	194 (18.1)
食生活や料理	167 (15.6)
ウォーキング	158 (14.8)
頭の体操・脳トレ	154 (14.4)
スポーツ	96 (9.0)
農作業	70 (6.5)
その他	12 (1.1)
特にない	294 (27.5)
無回答	45 (4.2)

図 介護予防のために参加したい講座



(3) 地域包括支援センターの認知度

問57 高齢者介護や介護予防などについて総合的に対応し、さまざまな相談に応じる窓口として、「地域包括支援センター」が設置されています。あなたは、地域包括支援センターをご存知ですか。
[1つに〇]

「名前くらいは聞いたことはある」が37.4%

地域包括支援センターの認知度については、「どんな仕事をしている所かは、だいたい知っている」が28.1%、「名前くらいは聞いたことはある」が37.4%で、これらを合わせると65.5%となっています。

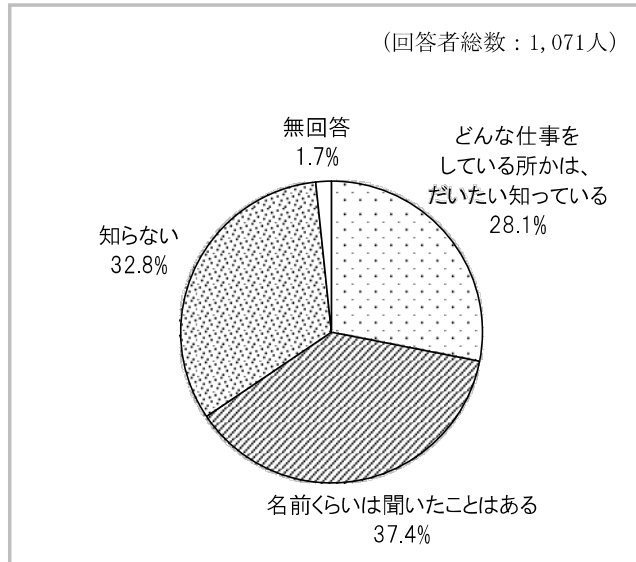
一方、「知らない」は32.8%となっています。

表 地域包括支援センターの認知度

単位：人（%）

回答者総数（人）	1,071
項目	回答数（構成比）
どんな仕事をしている所かは、だいたい知っている	301 (28.1)
名前くらいは聞いたことはある	401 (37.4)
知らない	351 (32.8)
無回答	18 (1.7)

図 地域包括支援センターの認知度



(4) 介護の意向

問58 今後仮に、あなたに介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。[1つに〇]

「自宅で介護を受けたい」が40.5%

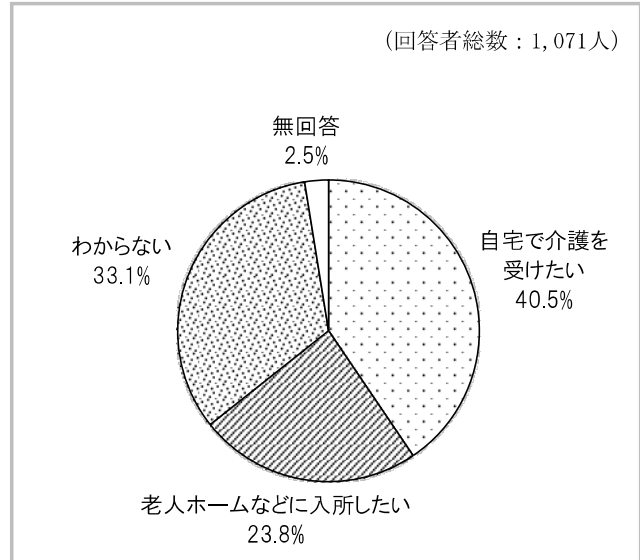
介護が必要となった場合にどのようにしたいかについては、「自宅で介護を受けたい」が40.5%となっています。

一方、「老人ホームなどに入所したい」は23.8%、「わからない」は33.1%となっています。

表 介護の意向 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	1,071
自宅で介護を受けたい	434 (40.5)
老人ホームなどに入所したい	255 (23.8)
わからない	355 (33.1)
無回答	27 (2.5)

図 介護の意向



(5) 行政に期待すること

問59 高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待しますか。
 [主なものを3つ以内で〇]

「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が55.4%

高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待することについては、「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が55.4%で、次いで「在宅で介護する家族に対する支援の充実」が37.1%、「病院や診療所などの医療機関の充実」が33.4%となっています。

また、「施設に入所して受ける介護保険サービスの充実」が29.2%、「デイサービスなど通所サービスの充実」は21.9%となっています。

図 行政に期待すること

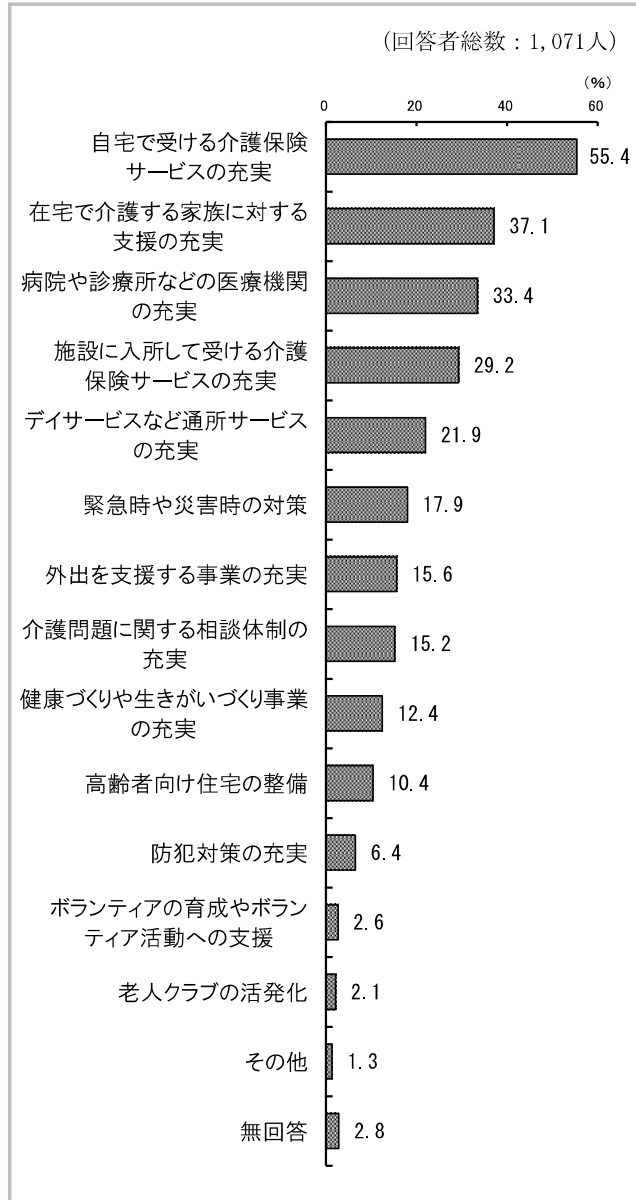


表 行政に期待すること 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	1,071
項目	回答数 (構成比)
自宅で受ける介護保険サービスの充実	593 (55.4)
在宅で介護する家族に対する支援の充実	397 (37.1)
病院や診療所などの医療機関の充実	358 (33.4)
施設に入所して受ける介護保険サービスの充実	313 (29.2)
デイサービスなど通所サービスの充実	235 (21.9)
緊急時や災害時の対策	192 (17.9)
外出を支援する事業の充実	167 (15.6)
介護問題に関する相談体制の充実	163 (15.2)
健康づくりや生きがいがづくり事業の充実	133 (12.4)
高齢者向け住宅の整備	111 (10.4)
防犯対策の充実	69 (6.4)
ボランティアの育成やボランティア活動への支援	28 (2.6)
老人クラブの活発化	22 (2.1)
その他	14 (1.3)
無回答	30 (2.8)

11 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査のまとめ

①回答者の属性

この調査の回答者の性別については、「男性」が46.8%、「女性」が52.7%となっており、女性の方が多くなっています。

年齢構成をみると、「65～69歳」が19.0%、「70～74歳」が28.9%で、前期高齢者の割合は47.9%となっています。また、「75～79歳」は23.0%、「80～84歳」は15.8%、「85～89歳」は8.7%、「90歳以上」は2.8%で、後期高齢者の割合は50.2%で、後期高齢者のほうが多くなっています。

居住地域を日常生活圏域でみると、「日勝圏域」が42.5%、「篠津・大山圏域」が56.7%となっています。

介護保険制度の「要支援」認定を受けているかについては、「要支援1」が4.3%、「要支援2」が2.6%、「要支援者を除く総合事業対象者」が0.7%となっています。利用しているサービスでは「訪問介護」が0.9%、「通所介護」が1.9%、訪問介護や通所介護以外の「その他のサービス」が2.8%となっています。

また、介護保険制度の「要支援」の「認定を受けていない」は90.6%となっています。

本市の人口構成をみると後期高齢者数が増加し、今後も増加していくことが推計されています。後期高齢者になると身体機能の低下などで、要介護認定を受けていなくても何らかの手助けが必要とされる場合も多くなります。こうした高齢者へのきめ細かい支援が重要となっています。

②家族や生活状況について

家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が42.9%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が5.1%で、これらを合わせると夫婦2人の世帯が約半数となっています。また、「1人暮らし」は13.4%で、前回の調査結果より1.1ポイント増加しています。1人暮らしや高齢夫婦のみの世帯が多くなっており、こうした世帯が安心して暮らせるよう、地域での支え合いを促進していくことが重要です。

普段の生活で介護・介助が必要かについては、「介護・介助は必要ない」が86.5%となっています。一方、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は7.9%、「現在、何らかの介護を受けている」は4.0%で、約1割が介護・介助が必要と回答しています。

現在の暮らしの経済状況については、「ふつう」が60.8%となっていますが、「大変苦しい」が7.2%、「やや苦しい」が20.9%で、これらを合わせると苦しいと感じている割合は28.1%となっています。

世帯全体の年収(年金含む)については、「200～300万円未満」が24.7%で、次いで「300～400万円未満」が18.6%、「150～200万円未満」が12.5%となっています。

住まいについては、「持家(一戸建て)」が88.2%となっています。

③からだを動かすことについて

運動機能と転倒リスクについて、各項目の「できない」という割合をみると、『階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか』では17.7%、『椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか』では10.8%、『15分位続けて歩いているか』では8.1%となっています。

過去1年間に転んだ経験があるかについては、「何度もある」は8.4%、「1度ある」は21.9%で、これらを合わせると転倒リスクのある高齢者は30.3%となっています。転倒に対する不安については、「とても不安である」が14.9%、「やや不安である」が38.9%で、これらを合わせると53.8%となっており、半数以上が転倒について不安を持っています。

このような運動機能と転倒リスクに関する項目の回答内容から、国が示す方法を用いて運動器の機能低下者の抽出を行いました。その結果、運動器の機能が低下している人は回答者全体の14.6%となっています。

外出については、「週2～4回」は46.5%、「週5回以上」は33.9%となっています。また、「ほとんど外出しない」は6.3%、「週1回」は11.2%で、これらを合わせると閉じこもり傾向のある人は17.5%となっています。

また、外出の回数が昨年と比べて減っているかについては、「とても減っている」が5.2%、「減っている」が28.9%で、これらを合わせると外出の回数が減っている人が34.1%となっています。

外出を控えているかについては、「はい」が34.1%で、外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が34.8%で、次いで「交通手段がない」が17.5%、「外での楽しみがない」が12.6%となっています。

外出する際の移動手段については、「徒歩」が58.4%で、次いで「自動車(自分で運転)」が52.0%、「自転車」が40.3%となっています。これを、性別・前期・後期高齢者別にみると、男性の前期高齢者では「自動車(自分で運転)」が最も多く、男性の後期高齢者では「徒歩」と「自動車(自分で運転)」が多くなっています。女性では前期高齢者、後期高齢者ともに「徒歩」が最も多くなっています。

高齢者の運動機能の低下は、日常生活の活動の減少や、閉じこもりがちになるなど、日常生活の質の低下を招くおそれがあります。近年の新型コロナウイルス感染症の対策として、外出や地域での活動などに多くの制限があり、こうした影響で高齢者も日常生活における活動が大きく減少していることがうかがえます。運動機能の低下を防ぐため、日ごろの運動や体操、筋トレなど、運動機能の向上のための情報やプログラムを提供していくことが必要です。

④食事・食べることについて

身長と体重の回答結果から、BMIを算出しました。その結果、「ふつう」は66.9%、「肥満」は22.5%となっています。また、「やせ・低体重」は7.3%で、1割近くに低栄養が疑われる結果となっています。

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が30.3%で、約3割に咀嚼機能の低下が疑われます。

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が34.6%となっていますが、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」も33.5%となっています。

誰かと食事をとにする機会については、「毎日ある」が59.0%、「月に何度かある」が12.3%となっています。一方、「ほとんどない」は10.1%となっており、前回の調査結果より3.1ポイント増加しています。

新型コロナウイルス感染症の対策で会食がなくなり、共食の機会が減少したことがうかがえる調査結果となっています。誰かと食事をとにする共食は、バランスのとれた健康的な食生活や、人との交流によるこころの健康づくりにつながります。今後は、感染症対策に配慮しながら、共食の機会を増やしていくことも重要となっています。

⑤毎日の生活状況について

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が44.1%で、認知機能の低下が疑われる人は4割以上となっています。

日常生活での活動状況について、各項目の「できない」という割合をみると、『バスや電車を使って1人で外出しているか』では8.2%、『自分で食品・日用品の買物をしているか』では4.9%、『自分で食事の用意をしているか』では7.6%、『自分で請求書の支払いをしているか』では3.5%、『自分で預貯金の出し入れをしているか』では4.0%となっています。「できない」という割合は、各項目1割以下となっています。

日常生活の活動について、「できない」という割合は少なくなっていますが、認知機能の低下が疑われる人は4割以上となっていることから、認知症予防の取組が重要です。

⑥地域での活動について

社会参加の状況については、『ボランティアのグループ』、『スポーツ関係のグループやクラブ』、『趣味関係のグループ』、『学習・教養サークル』、『介護予防のための通いの場（筋トレや体操、お茶のみ会など）』、『老人クラブ』、『行政区・町内会・自治会』、『収入のある仕事』といった各項目で、「参加していない」という割合が約7割から9割となっており、多くなっています。また、『スポーツ関係のグループやクラブ』は「週2～3回」が9.7%、『収入のある仕事』は「週4回以上」が11.7%となっています。

地域づくりの活動への参加意向については、「是非参加したい」が7.4%、「参加してもよい」が53.3%となっていますが、「参加したくない」は30.6%となっています。

また、地域づくりの企画・運営（お世話役）の参加意向については、「是非参加したい」が3.0%、「参加してもよい」が33.8%となっています。一方、「参加したくない」は56.1%となっています。

高齢者のいきがづくりや孤立化防止のために、社会参加は重要なものです。社会参加状況をみると、こうした活動に参加していない人が多い状況が見受けられます。しかし、地域づくり活動に対する参加意向は少なくないことから、きっかけづくりや地域での声かけなどを通じて、参加を促進していくことが求められます。

⑦たすけあいについて

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が61.6%で、次いで「友人」が41.0%、「別居の子ども」が34.5%となっています。反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が57.8%で、次いで「友人」が39.9%、「別居の子ども」が31.5%となっています。

看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が66.9%で、次いで「別居の子ども」が29.0%、「同居の子ども」が26.3%となっています。反対に、看病や世話をしてあげる人については、「配偶者」が67.4%で、次いで「別居の子ども」が25.5%、「同居の子ども」が23.8%となっています。

家族・友人・知人以外の相談相手については、「医師・歯科医師・看護師」が24.4%で、次いで「地域包括支援センター・市役所」が12.2%、「社会福祉協議会・民生委員」が8.9%となっています。一方、「そのような人はいない」は48.8%となっています。

約半数の人が、家族・友人・知人以外の相談相手がいないと回答していることから、地域の相談窓口の周知と、たすけあいの促進により、何かあったときの地域の相談相手を確保することが必要です。

友人・知人と会う頻度については、「週に何度かある」が25.8%で、次いで「月に何度かある」が25.2%、「年に何度かある」が20.1%となっています。一方、「ほとんどない」は19.2%で、前回の調査結果から5.9ポイント増加しています。

この1か月間、何人の友人・知人に会ったかについては、「3～5人」が27.5%で、次いで「1～2人」が21.3%となっています。一方、「0人（いない）」は15.5%となっています。また、「10人以上」は20.6%で、前回の調査結果から6.3ポイント減少しています。

よく会う友人・知人の関係については、「近所・同じ地域の人」が47.3%で、次いで「趣味や関心が同じ友人」が32.2%、「仕事での同僚・元同僚」が29.9%となっています。

友人・知人と会う頻度は減少し、会う人の数も減少傾向となっており、新型コロナウイルス感染症対策の影響があると考えられます。人との交流はたすけあいにつながることから、再び、友人・知人との交流が持てるよう、地域における交流の機会を徐々に創出していくことが求められています。

⑧健康について

健康状態（主観的健康感）については、「とてもよい」が13.2%、「まあよい」が64.1%で、これらを合わせると77.3%で、健康と感じている人が多くなっています。

また、現在どの程度幸せか（主観的幸福感）については、10点満点中「8点」が22.8%、「5点」が20.3%、「7点」が16.9%となっています。平均は6.9点となっています。

『気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか』については、「はい」が40.3%、『どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか』については、「はい」が23.4%となっています。この2問のうち、どちらかでも「はい」を選択した人は回答者全体の43.4%となっており、うつ傾向のある高齢者とみられます。

喫煙については、「ほぼ毎日吸っている」が8.3%、「時々吸っている」が1.4%で、こ

れらを合わせると 9.7%となっています。

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が41.0%で、次いで「目の病気」が17.0%、「高脂血症（脂質異常）」が14.3%となっています。性別・前期・後期高齢者別にみると、男女ともに「高血圧」が多く、後期高齢者ではさらにその割合が多くなっています。また、男性の後期高齢者では「腎臓・前立腺の病気」が21.0%、女性の後期高齢者では、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が21.7%で、2番目に多くなっています。

高血圧などの症状や病気などがありつつも、健康と感じている人は多くなっています。今後も、健診の受診により疾病の早期発見、早期治療につなげるとともに、健康づくりや介護予防への取組を促していくことが重要となっています。

耳の聞こえについては、「普通」が73.6%となっています。次いで、「普通の声がやっと聞き取れる」が14.4%、「かなり大きな声なら何とか聞き取れる」が 5.8%、「ほとんど聞こえない」が 0.7%となっています。これらの回答をした人のうち、補聴器を「使用している」は26.0%、「持っているが使用していない」は 8.5%、「持っていない」は60.5%となっています。補聴器を持っていないとした人の理由については、「日常生活に支障がないから」が71.1%で、次いで「補聴器は高額だから」が17.8%、「補聴器でどのくらい改善されるかわからないから」が14.1%となっています。

⑨認知症の相談窓口について

本人または家族の認知症の有無については、「はい」が 7.9%、「いいえ」が87.9%となっています。

認知症の相談窓口を知っているかについては、「はい」が20.0%、「いいえ」が75.7%となっています。

認知症について関心があることについては、「認知症の予防に効果的な方法」が51.8%で、次いで「認知症の兆候を早期に発見する方法」が44.4%となっています。一方、「特にない」は16.1%となっています。

成年後見制度の認知度については、「知っている」が51.1%、「知らない」が43.0%となっています。認知状況については、前回の調査結果と同様な割合となっています。

高齢者の増加に伴い、認知症者も増加していくとみられます。こうした状況に対応していくためには、本人、家族、地域で認知症に関する正しい理解を深めるとともに、さまざまな支援に関する認識を持つことも重要です。認知症の予防に関することなど、高齢者にとって関心の高いテーマを切り口にして、認知症に関する情報を発信し、理解を深めていくことが必要です。

⑩高齢者福祉や介護保険等について

生きがいや楽しみについては、「テレビやラジオ」が39.8%で、次いで「食べたり飲んだりすること」が35.3%、「散歩や買い物などの外出」が28.9%となっています。また、「友人・仲間との交流」は26.7%、「旅行（日帰りの小旅行を含む）」は25.7%となっています。性別・前期・後期高齢者別にみると、男性の前期高齢者は「食べたり飲んだりすること」が最も多く、男性の後期高齢者、女性の前期高齢者と後期高齢者では「テレビやラ

ジオ」が最も多くなっています。

介護予防や健康づくりのために参加してみたい講座や教室については、「健康管理」が21.8%で、次いで「体操・運動」が21.5%、「趣味」は18.1%、「食生活や料理」は15.6%となっています。

地域包括支援センターの認知度については、「どんな仕事をしている所かは、だいたい知っている」が28.1%、「名前くらいは聞いたことはある」が37.4%で、これらを合わせると65.5%となっています。地域包括支援センターがどんな役割を担っているかについて多くの高齢者に認知してもらえるよう、広報活動を進めていくことが必要です。

介護が必要となった場合にどのようにしたいかについては、「自宅で介護を受けたい」が40.5%、「老人ホームなどに入所したい」は23.8%、「わからない」は33.1%となっています。

高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待することについては、「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が55.4%で、次いで「在宅で介護する家族に対する支援の充実」が37.1%、「病院や診療所などの医療機関の充実」が33.4%となっています。

また、「施設に入所して受ける介護保険サービスの充実」が29.2%、「デイサービスなど通所サービスの充実」は21.9%となっています。

自宅での介護を希望する人が多く、在宅サービスの充実や介護する家族への支援を期待する声が多くなっています。住み慣れたところで安心して介護が受けられるよう、在宅サービスの充実が求められています。

第2章 在宅介護実態調査

第2章 在宅介護実態調査

1 回答者の属性

(1) 性別

問1 性別を教えてください。[1つに〇]

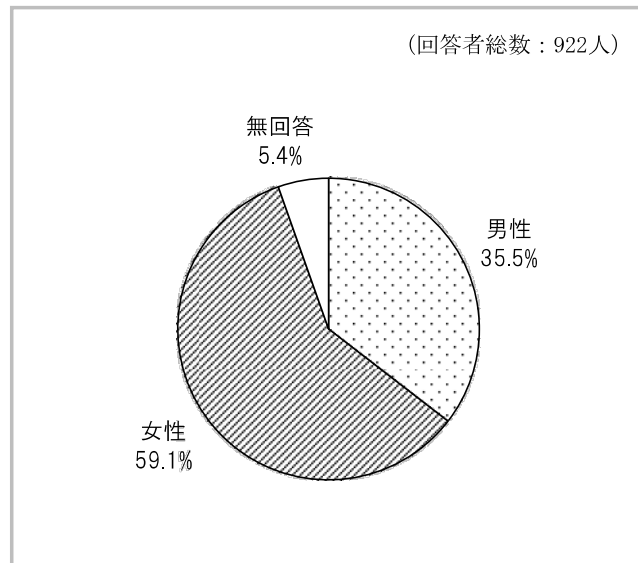
「男性」が35.5%、「女性」が59.1%

性別については、「男性」が35.5%、「女性」が59.1%となっており、女性のほうが多くなっています。

表 性別 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	922
男性	327 (35.5)
女性	545 (59.1)
無回答	50 (5.4)

図 性別



(2) 年齢

問2 12月1日現在、何歳ですか。[1つに○]

前期高齢者は11.0%、後期高齢者は82.4%

年齢構成をみると、「40～64歳」が4.0%となっています。

また、「65～69歳」が2.4%、「70～74歳」が8.6%で、前期高齢者の割合は11.0%となっています。

さらに、「75～79歳」が14.5%、「80～84歳」が22.8%、「85～89歳」が25.5%、「90歳以上」が19.6%で、後期高齢者の割合は82.4%となっています。

表 年齢 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	922
項目	回答数 (構成比)
40～64歳	37 (4.0)
前期高齢者	101 (11.0)
65～69歳	22 (2.4)
70～74歳	79 (8.6)
後期高齢者	760 (82.4)
75～79歳	134 (14.5)
80～84歳	210 (22.8)
85～89歳	235 (25.5)
90歳以上	181 (19.6)
無回答	24 (2.6)

図 年齢

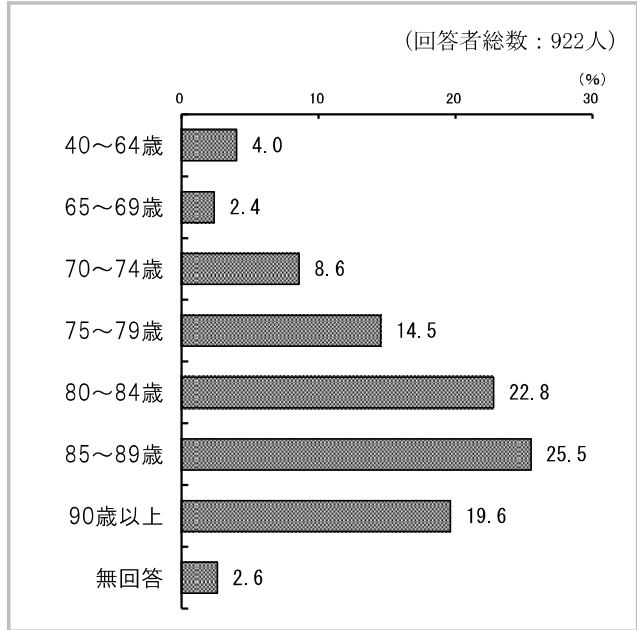
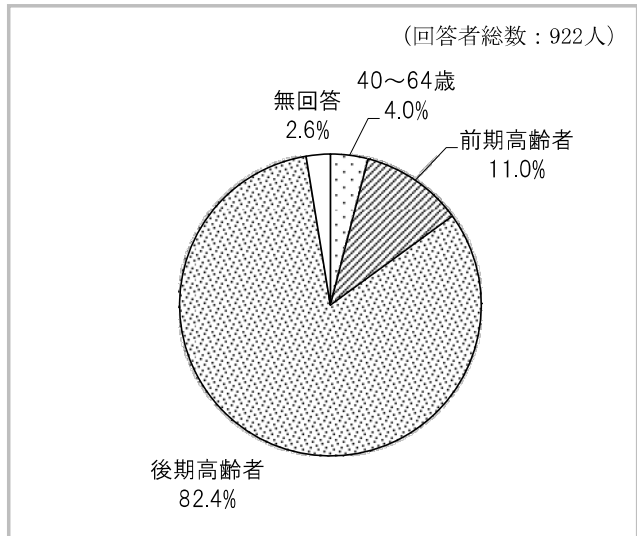


図 前期高齢者・後期高齢者別



(3) 居住地区

問3 お住まいの地区はどちらですか。[1つに〇]

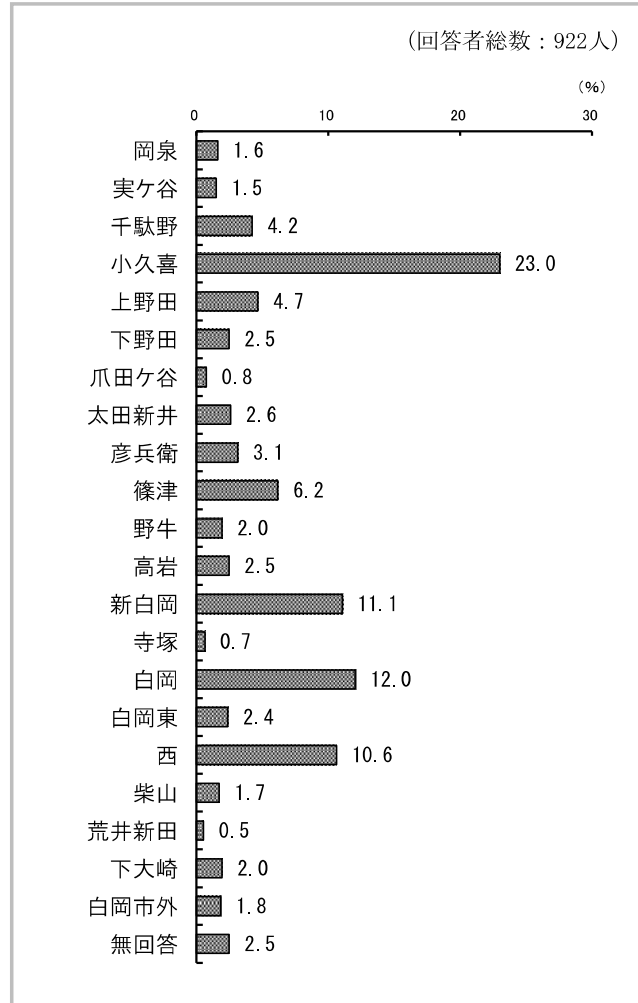
日勝圏域が44.0%、篠津・大山圏域が51.6%

地区別をみると、「小久喜」が23.0%、「白岡」が12.0%、「新白岡」が11.1%となっています。

表 居住地区 単位：人（%）

回答者総数（人）	922
項目	回答数（構成比）
日勝圏域	406 (44.0)
日勝地域	406 (44.0)
岡泉	15 (1.6)
実ヶ谷	14 (1.5)
千駄野	39 (4.2)
小久喜	212 (23.0)
上野田	43 (4.7)
下野田	23 (2.5)
爪田ヶ谷	7 (0.8)
太田新井	24 (2.6)
彦兵衛	29 (3.1)
篠津・大山圏域	476 (51.6)
篠津地域	437 (47.4)
篠津	57 (6.2)
野牛	18 (2.0)
高岩	23 (2.5)
新白岡	102 (11.1)
寺塚	6 (0.7)
白岡	111 (12.0)
白岡東	22 (2.4)
西	98 (10.6)
大山地域	39 (4.2)
柴山	16 (1.7)
荒井新田	5 (0.5)
下大崎	18 (2.0)
白岡市外	17 (1.8)
無回答	23 (2.5)

図 居住地区



地区を地域別にまとめると、「日勝地域」が44.0%、「篠津地域」が47.4%、「大山地域」が4.2%となっています。

さらに日常生活圏域でみると、「日勝圏域」が44.0%、「篠津・大山圏域」が51.6%となっています。

図 地域

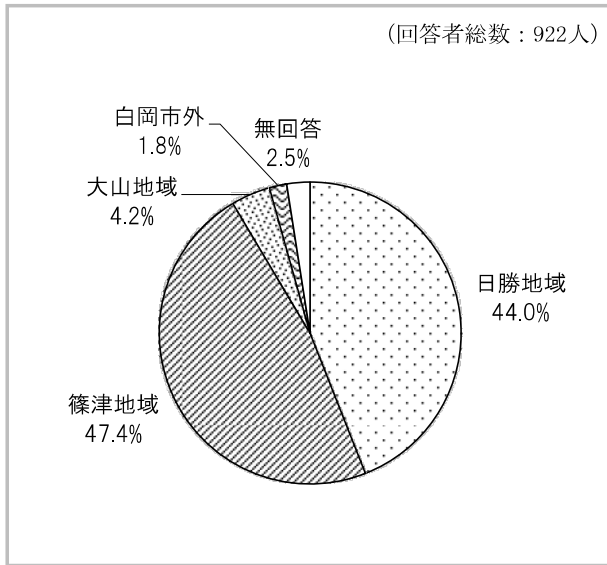
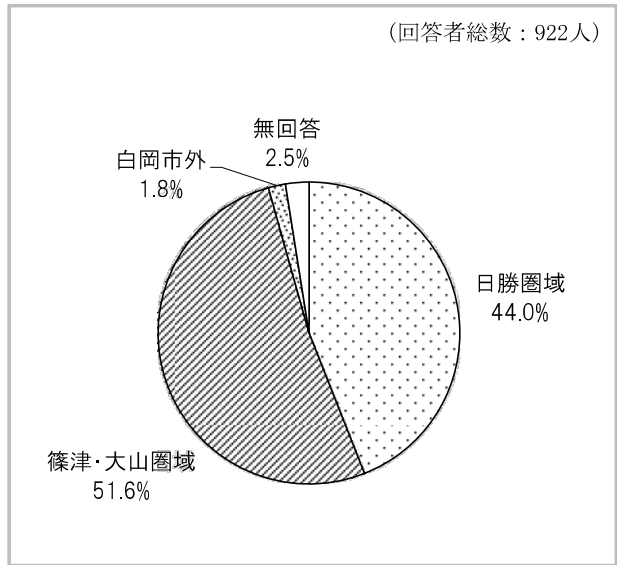


図 日常生活圏域



(4) 家族構成

問4 家族構成を教えてください。[1つに○]

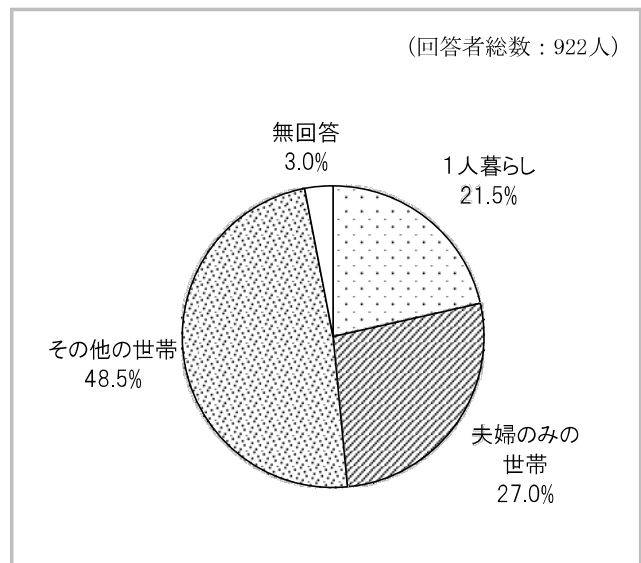
1人暮らしが21.5%、夫婦のみの世帯が27.0%

家族構成については、「1人暮らし」が21.5%、「夫婦のみの世帯」が27.0%、「その他の世帯」が48.5%となっています。

表 家族構成 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	922
1人暮らし	198 (21.5)
夫婦のみの世帯	249 (27.0)
その他の世帯	447 (48.5)
無回答	28 (3.0)

図 家族構成



(5) 世帯全体の年収

問5 あなたを含めた世帯全体の年収（年金含む）はどれにあてはまりますか。[1つに○]

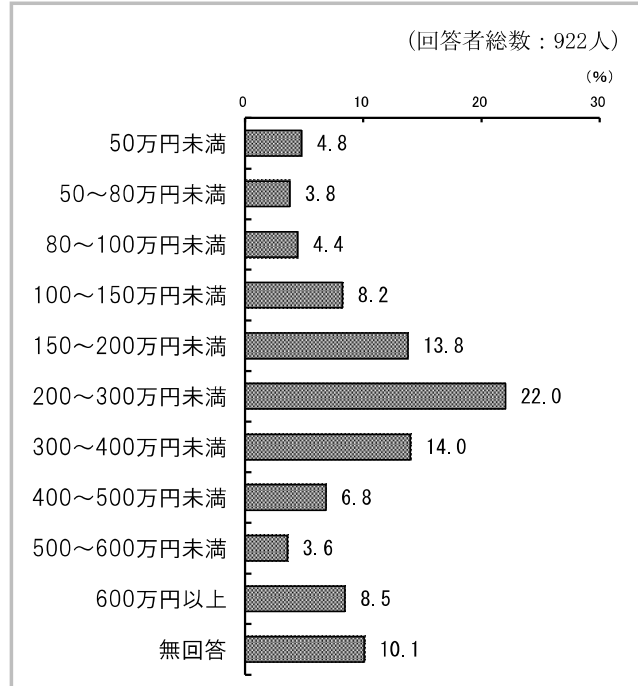
「200～300万円未満」が22.0%

世帯全体の年収（年金含む）については、「200～300万円未満」が22.0%、「300～400万円未満」が14.0%、「150～200万円未満」が13.8%となっています。

表 世帯全体の年収 単位：人（%）

回答者総数（人）	922
項目	回答数（構成比）
50万円未満	44（4.8）
50～80万円未満	35（3.8）
80～100万円未満	41（4.4）
100～150万円未満	76（8.2）
150～200万円未満	127（13.8）
200～300万円未満	203（22.0）
300～400万円未満	129（14.0）
400～500万円未満	63（6.8）
500～600万円未満	33（3.6）
600万円以上	78（8.5）
無回答	93（10.1）

図 世帯全体の年収



2 身体状況などについて

(1) 介護度

問6 現在の介護度はいくつですか。[1つに○]

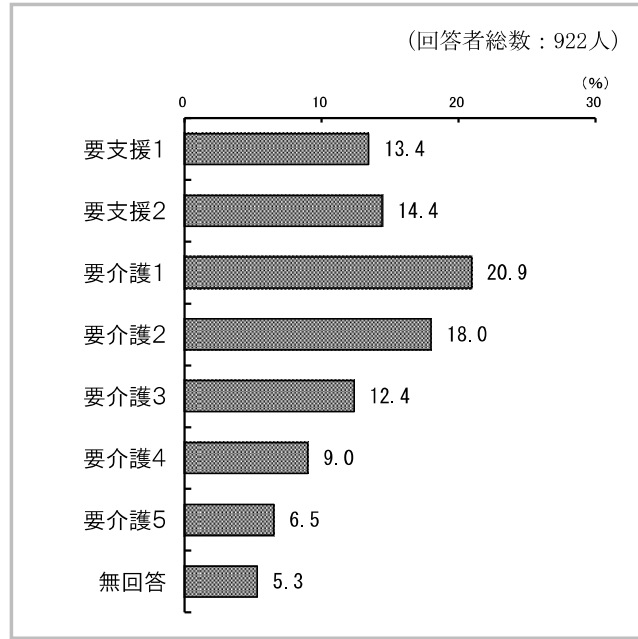
要介護1が20.9%、要介護2が18.0%

介護度については、「要介護1」が20.9%、「要介護2」が18.0%となっています。

表 介護度 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	922
要支援1	124 (13.4)
要支援2	133 (14.4)
要介護1	193 (20.9)
要介護2	166 (18.0)
要介護3	114 (12.4)
要介護4	83 (9.0)
要介護5	60 (6.5)
無回答	49 (5.3)

図 介護度



(2) 認知症の診断

問7 医師に「認知症」と診断されていますか。[1つに○]

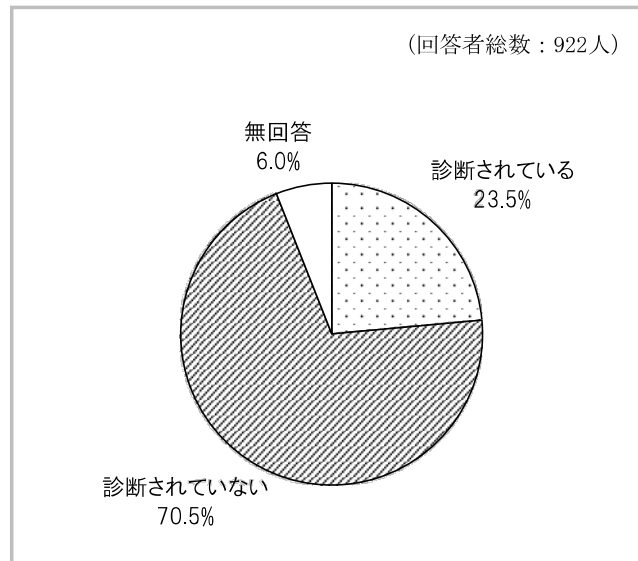
認知症と診断されている人は23.5%

医師に「認知症」と診断されているかについては、「診断されている」が23.5%、「診断されていない」が70.5%となっています。

表 認知症の診断 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	922
診断されている	217 (23.5)
診断されていない	650 (70.5)
無回答	55 (6.0)

図 認知症の診断



(3) 現在抱えている傷病

問8 あなたが現在抱えている傷病について教えてください。[あてはまるものすべてに○]

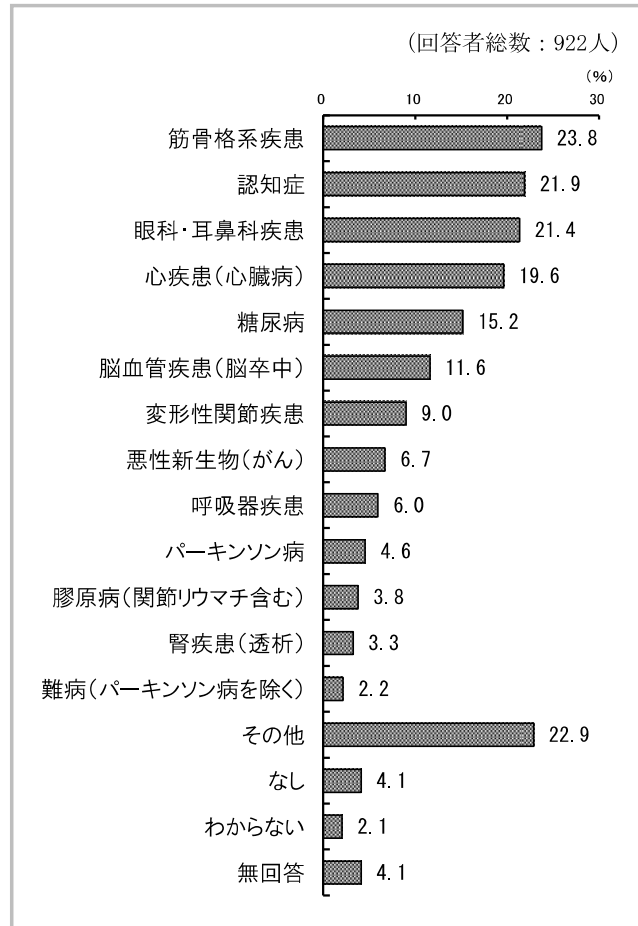
「筋骨格系疾患」が23.8%

現在抱えている傷病については、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が23.8%で、次いで「認知症」が21.9%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」が21.4%となっています。

表 現在抱えている傷病 単位：人（%）

回答者総数（人）	922
項目	回答数（構成比）
筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	219（23.8）
認知症	202（21.9）
眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）	197（21.4）
心疾患（心臓病）	181（19.6）
糖尿病	140（15.2）
脳血管疾患（脳卒中）	107（11.6）
変形性関節疾患	83（9.0）
悪性新生物（がん）	62（6.7）
呼吸器疾患	55（6.0）
パーキンソン病	42（4.6）
膠原病（関節リウマチ含む）	35（3.8）
腎疾患（透析）	30（3.3）
難病（パーキンソン病を除く）	20（2.2）
その他	211（22.9）
なし	38（4.1）
わからない	19（2.1）
無回答	38（4.1）

図 現在抱えている傷病



(4) 訪問診療の利用状況

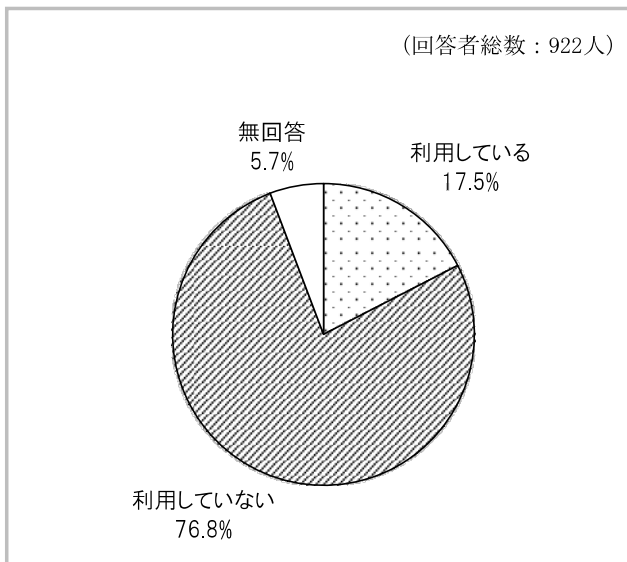
問9 現在、訪問診療を利用していますか。[1つに○]
 ※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

「利用している」が17.5%

現在、訪問診療を利用しているかについては、「利用している」が17.5%、「利用していない」が76.8%となっています。

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	922
利用している	161 (17.5)
利用していない	708 (76.8)
無回答	53 (5.7)

図 訪問診療の利用状況



(5) 医療と介護の連携の考え

問10 医療と介護の連携についてどのように考えますか。[あてはまるものすべてに○]

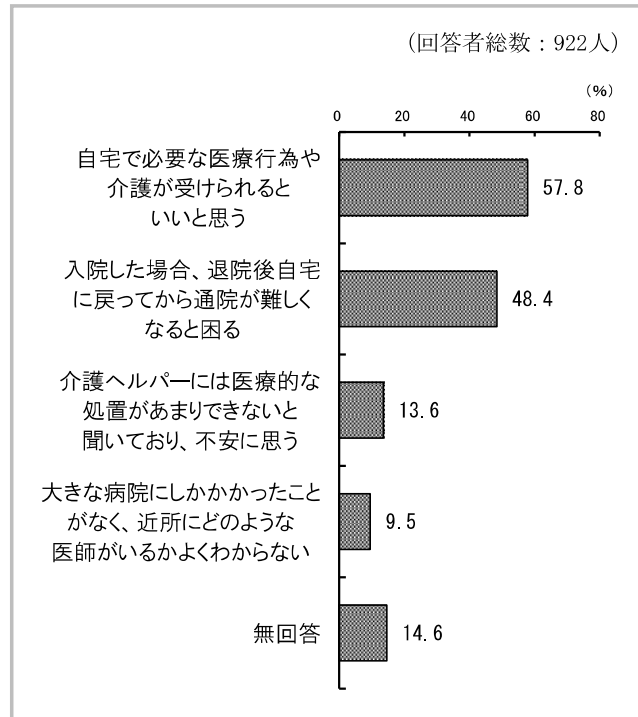
「自宅で医療や介護が受けられるといい」が57.8%

医療と介護の連携についてどのように考えるかについては、「自宅で必要な医療行為や介護が受けられるといいと思う」が57.8%、「入院した場合、退院後自宅に戻ってから通院が難しくなると困る」が48.4%となっています。

表 医療と介護の連携の考え 単位：人（%）

回答者総数（人）	922
項目	回答数（構成比）
自宅で必要な医療行為や介護が受けられるといいと思う	533 (57.8)
入院した場合、退院後自宅に戻ってから通院が難しくなると困る	446 (48.4)
介護ヘルパーには医療的な処置があまりできないと聞いており、不安に思う	125 (13.6)
大きな病院にしかかかったことがなく、近所にどのような医師がいるかよくわからない	88 (9.5)
無回答	135 (14.6)

図 医療と介護の連携の考え



3 介護保険サービス利用の有無について

(1) 介護保険サービスの利用状況

問11 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険のサービスを利用していますか。
[1つに○]

「利用している」が63.7%

現在、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険のサービスを利用しているかについては、「利用している」が63.7%、「利用していない」が29.4%となっています。

図 介護保険サービスの利用状況

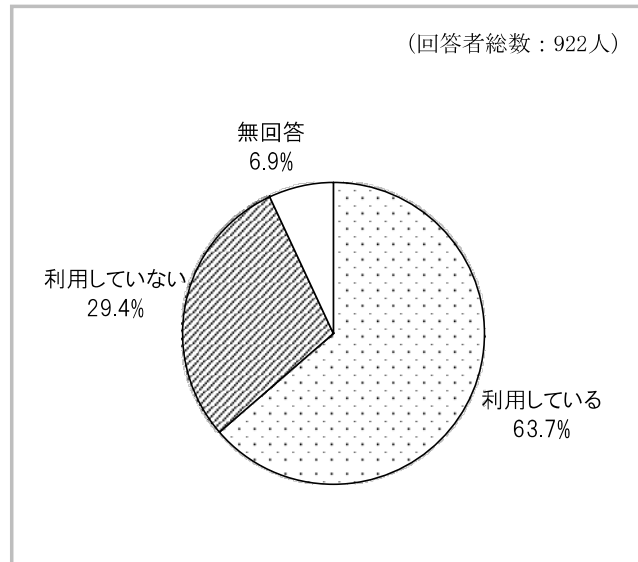


表 介護保険サービスの利用状況

単位：人 (%)

回答者総数 (人)	922
項目	回答数 (構成比)
利用している	587 (63.7)
利用していない	271 (29.4)
無回答	64 (6.9)

【介護度別】

住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況を介護度別にみると、要介護3と要介護4では、利用している割合が約8割となっています。一方、最も介護度が高い要介護5では利用している割合は60.0%となっています。

表 介護度別にみた介護保険サービスの利用状況

単位：人 (%)

項目	全体	介護度別						
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
回答者総数 (人)	922	124	133	193	166	114	83	60
利用している	587 (63.7)	58 (46.8)	77 (57.9)	128 (66.3)	115 (69.3)	89 (78.1)	64 (77.1)	36 (60.0)
利用していない	271 (29.4)	58 (46.8)	46 (34.6)	58 (30.1)	39 (23.5)	19 (16.7)	14 (16.9)	18 (30.0)
無回答	64 (6.9)	8 (6.5)	10 (7.5)	7 (3.6)	12 (7.2)	6 (5.3)	5 (6.0)	6 (10.0)

※ 介護度の無回答者数 49人を除いている。

(2) サービスを利用していない理由

問12 [問11で「利用していない」と回答した方]

現在、介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

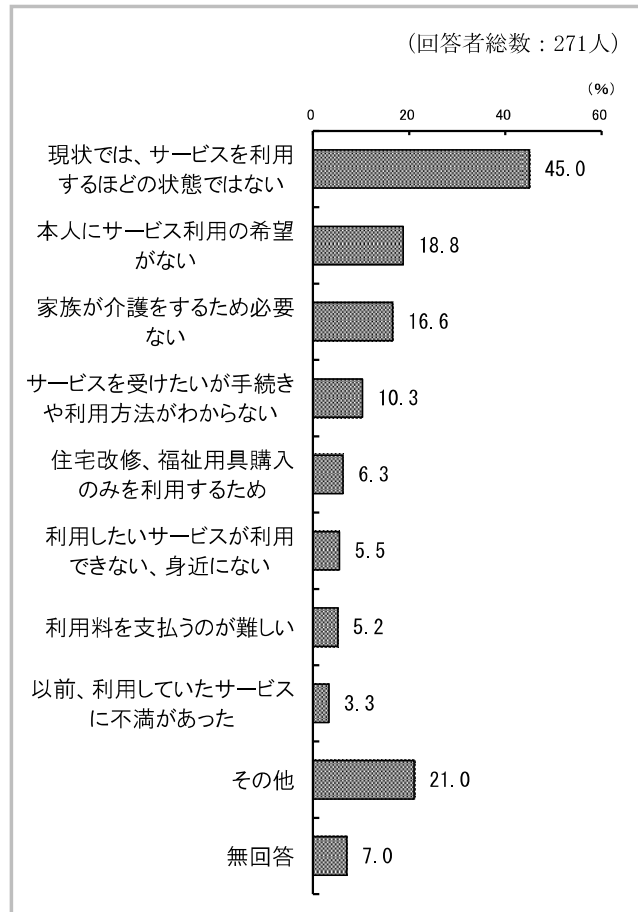
「利用するほどの状態ではない」が45.0%

現在、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していない人にその理由をたずねたところ、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が45.0%、「本人にサービス利用の希望がない」が18.8%となっています。

表 サービスを利用していない理由

単位：人（%）	
回答者総数（人）	271
項目	回答数（構成比）
現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	122 (45.0)
本人にサービス利用の希望がない	51 (18.8)
家族が介護をするため必要ない	45 (16.6)
サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない	28 (10.3)
住宅改修、福祉用具購入のみを利用するため	17 (6.3)
利用したいサービスが利用できない、身近にない	15 (5.5)
利用料を支払うのが難しい	14 (5.2)
以前、利用していたサービスに不満があった	9 (3.3)
その他	57 (21.0)
無回答	19 (7.0)

図 サービスを利用していない理由



4 介護保険サービスの利用と評価について

(1) 介護保険サービスの利用と評価等

問13 介護保険サービスの利用状況と満足度について伺います。
 次のサービスについての利用状況と、サービスの量に対する評価をお答えください。
 (利用内容については、サービス利用票をご覧ください。)

①利用状況

「福祉用具の貸与」が42.8%

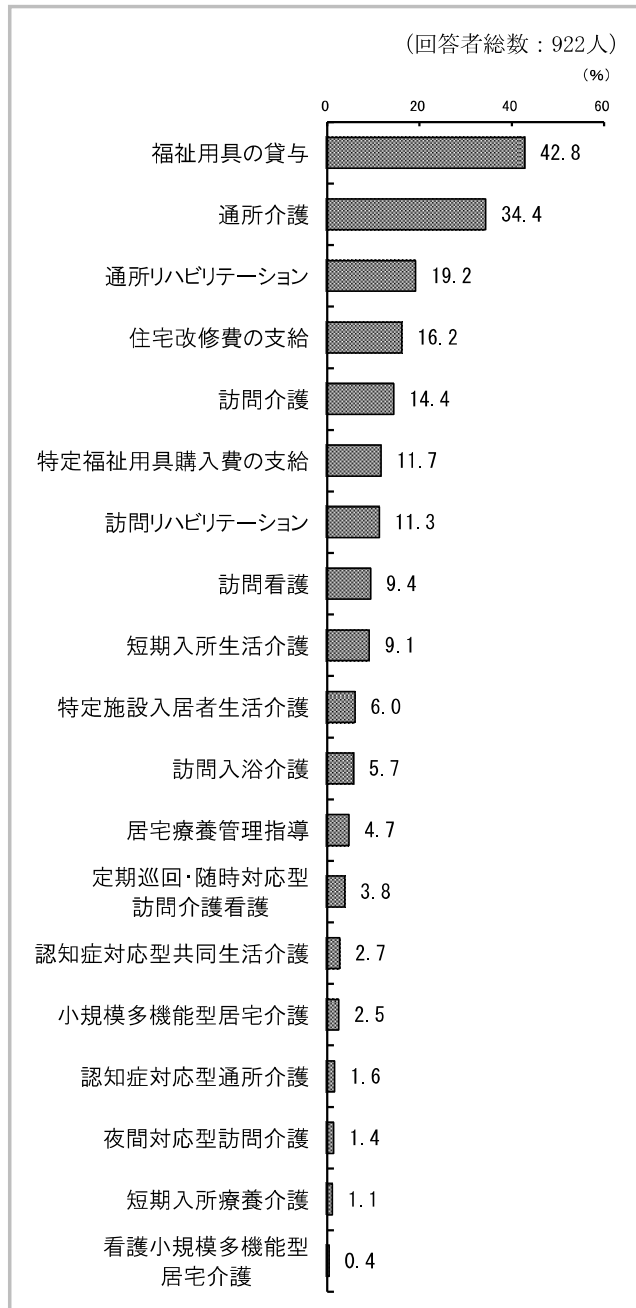
現在利用しているサービスについては、「福祉用具の貸与」が42.8%で、次いで、「通所介護」が34.4%、「通所リハビリテーション」が19.2%となっています。

表 介護保険サービスの利用状況

単位：人（%）	
回答者総数（人）	922
項目	回答数（構成比）
福祉用具の貸与	395 (42.8)
通所介護	317 (34.4)
通所リハビリテーション	177 (19.2)
住宅改修費の支給	149 (16.2)
訪問介護	133 (14.4)
特定福祉用具購入費の支給	108 (11.7)
訪問リハビリテーション	104 (11.3)
訪問看護	87 (9.4)
短期入所生活介護	84 (9.1)
特定施設入居者生活介護	55 (6.0)
訪問入浴介護	53 (5.7)
居宅療養管理指導	43 (4.7)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	35 (3.8)
認知症対応型共同生活介護	25 (2.7)
小規模多機能型居宅介護	23 (2.5)
認知症対応型通所介護	15 (1.6)
夜間対応型訪問介護	13 (1.4)
短期入所療養介護	10 (1.1)
看護小規模多機能型居宅介護	4 (0.4)

※サービスには、介護予防サービスも含まれます。

図 介護保険サービスの利用状況



【 介護度別 】

サービスの利用状況を介護度別にみると、「訪問介護」や「訪問看護」は要介護5でそれぞれ33.3%と多くなっています。また、「通所介護」は、要介護2で41.0%、要介護3で42.1%と多くなっています。また、「福祉用具の貸与」は介護度が高いほうが利用している割合が多い傾向がみられ、要介護4では最も多く67.5%となっています。

表 介護度別にみたサービスの利用状況

単位：人（%）

項目	全体	介護度別						
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
回答者総数（人）	922	124	133	193	166	114	83	60
訪問介護	133 (14.4)	9 (7.3)	15 (11.3)	29 (15.0)	29 (17.5)	13 (11.4)	15 (18.1)	20 (33.3)
訪問入浴介護	53 (5.7)	2 (1.6)	2 (1.5)	10 (5.2)	9 (5.4)	6 (5.3)	9 (10.8)	14 (23.3)
訪問看護	87 (9.4)	5 (4.0)	10 (7.5)	13 (6.7)	9 (5.4)	15 (13.2)	10 (12.0)	20 (33.3)
訪問リハビリテーション	104 (11.3)	5 (4.0)	13 (9.8)	20 (10.4)	26 (15.7)	6 (5.3)	17 (20.5)	14 (23.3)
居宅療養管理指導	43 (4.7)	2 (1.6)	3 (2.3)	7 (3.6)	6 (3.6)	8 (7.0)	8 (9.6)	7 (11.7)
通所介護	317 (34.4)	22 (17.7)	48 (36.1)	74 (38.3)	68 (41.0)	48 (42.1)	32 (38.6)	12 (20.0)
通所リハビリテーション	177 (19.2)	9 (7.3)	30 (22.6)	44 (22.8)	36 (21.7)	26 (22.8)	13 (15.7)	8 (13.3)
短期入所生活介護	84 (9.1)	2 (1.6)	3 (2.3)	12 (6.2)	17 (10.2)	19 (16.7)	19 (22.9)	8 (13.3)
短期入所療養介護	10 (1.1)	0 (0.0)	1 (0.8)	1 (0.5)	2 (1.2)	2 (1.8)	2 (2.4)	2 (3.3)
特定施設入居者生活介護	55 (6.0)	2 (1.6)	2 (1.5)	10 (5.2)	8 (4.8)	12 (10.5)	11 (13.3)	8 (13.3)
福祉用具の貸与	395 (42.8)	34 (27.4)	51 (38.3)	79 (40.9)	70 (42.2)	61 (53.5)	56 (67.5)	32 (53.3)
特定福祉用具購入費の支給	108 (11.7)	4 (3.2)	12 (9.0)	20 (10.4)	22 (13.3)	20 (17.5)	18 (21.7)	8 (13.3)
住宅改修費の支給	149 (16.2)	16 (12.9)	22 (16.5)	29 (15.0)	31 (18.7)	23 (20.2)	14 (16.9)	9 (15.0)
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	35 (3.8)	4 (3.2)	5 (3.8)	4 (2.1)	4 (2.4)	5 (4.4)	4 (4.8)	6 (10.0)
夜間対応型訪問介護	13 (1.4)	3 (2.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.2)	1 (0.9)	4 (4.8)	2 (3.3)
認知症対応型通所介護	15 (1.6)	2 (1.6)	0 (0.0)	2 (1.0)	5 (3.0)	3 (2.6)	1 (1.2)	1 (1.7)
小規模多機能型居宅介護	23 (2.5)	3 (2.4)	2 (1.5)	3 (1.6)	5 (3.0)	5 (4.4)	2 (2.4)	2 (3.3)
認知症対応型共同生活介護	25 (2.7)	3 (2.4)	0 (0.0)	7 (3.6)	6 (3.6)	5 (4.4)	2 (2.4)	1 (1.7)
看護小規模多機能型 居宅介護	4 (0.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.9)	2 (2.4)	1 (1.7)

※ 介護度の無回答者数 49人を除いている。

問13 介護保険サービスの利用状況と満足度について伺います。
 次のサービスについての利用状況と、サービスの量に対する評価をお答えください。
 (利用内容については、サービス利用票をご覧ください。)

②サービス量の評価

「満足」が、『訪問入浴介護』では75.5%、『訪問看護』では72.4%

サービスの量の評価を、そのサービスの利用者になぞねました。「満足」と回答した割合が多いものをみると、『訪問入浴介護』で75.5%、『訪問看護』で72.4%、『看護小規模多機能型居宅介護』で75.0%となっています。

図 サービス量の評価

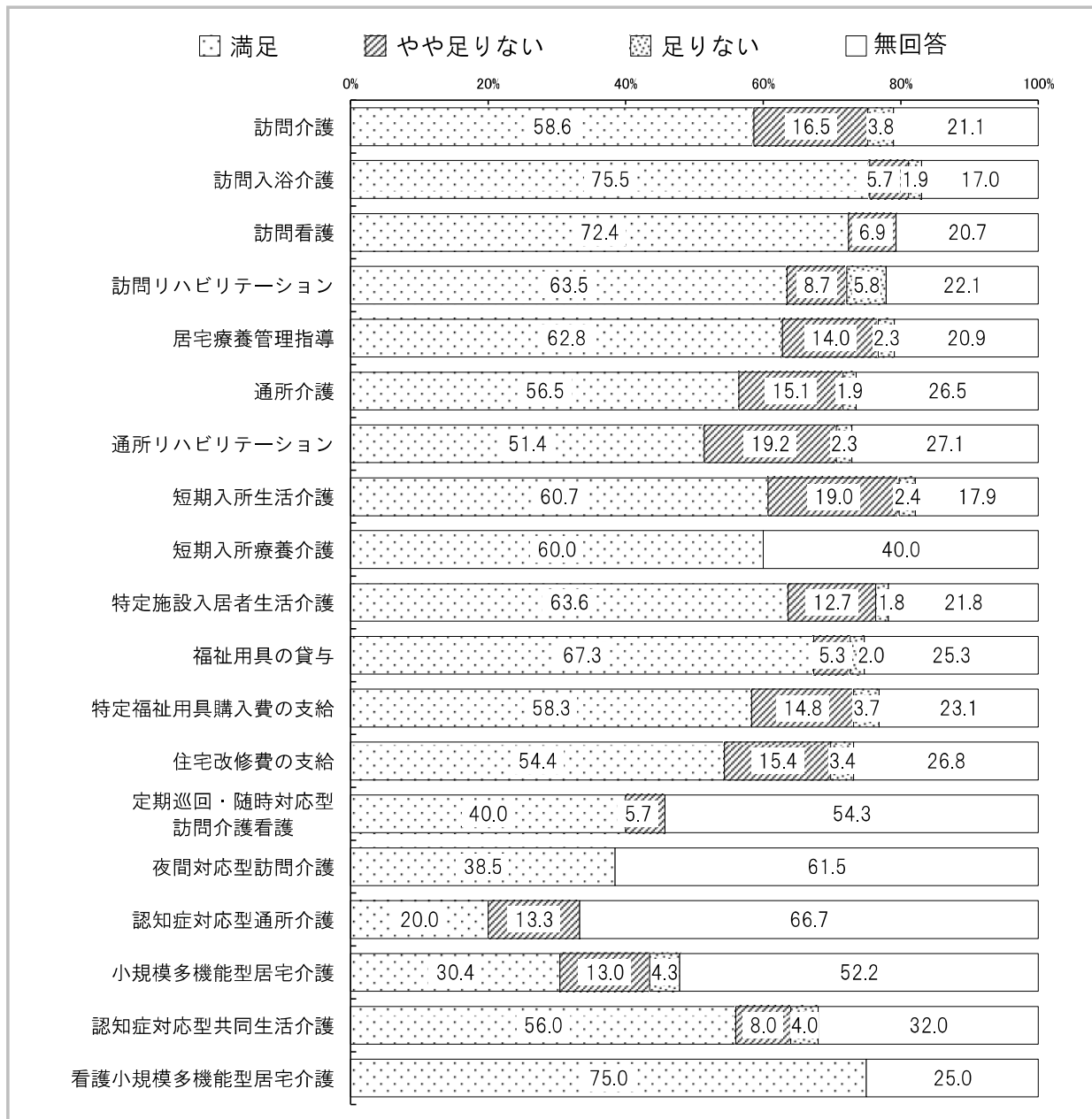


表 サービス量の評価

単位：人（％）

項目	回答者総数 (人)	満足	やや足りない	足りない	無回答
訪問介護	133	78 (58.6)	22 (16.5)	5 (3.8)	28 (21.1)
訪問入浴介護	53	40 (75.5)	3 (5.7)	1 (1.9)	9 (17.0)
訪問看護	87	63 (72.4)	6 (6.9)	0 (0.0)	18 (20.7)
訪問リハビリテーション	104	66 (63.5)	9 (8.7)	6 (5.8)	23 (22.1)
居宅療養管理指導	43	27 (62.8)	6 (14.0)	1 (2.3)	9 (20.9)
通所介護	317	179 (56.5)	48 (15.1)	6 (1.9)	84 (26.5)
通所リハビリテーション	177	91 (51.4)	34 (19.2)	4 (2.3)	48 (27.1)
短期入所生活介護	84	51 (60.7)	16 (19.0)	2 (2.4)	15 (17.9)
短期入所療養介護	10	6 (60.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (40.0)
特定施設入居者生活介護	55	35 (63.6)	7 (12.7)	1 (1.8)	12 (21.8)
福祉用具の貸与	395	266 (67.3)	21 (5.3)	8 (2.0)	100 (25.3)
特定福祉用具購入費の支給	108	63 (58.3)	16 (14.8)	4 (3.7)	25 (23.1)
住宅改修費の支給	149	81 (54.4)	23 (15.4)	5 (3.4)	40 (26.8)
定期巡回・随時対応型訪問 介護看護	35	14 (40.0)	2 (5.7)	0 (0.0)	19 (54.3)
夜間対応型訪問介護	13	5 (38.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (61.5)
認知症対応型通所介護	15	3 (20.0)	2 (13.3)	0 (0.0)	10 (66.7)
小規模多機能型居宅介護	23	7 (30.4)	3 (13.0)	1 (4.3)	12 (52.2)
認知症対応型共同生活介護	25	14 (56.0)	2 (8.0)	1 (4.0)	8 (32.0)
看護小規模多機能型居宅 介護	4	3 (75.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (25.0)

(2) 介護保険サービスの総合評価

問14 総合的にみて、介護保険サービスを利用してどのように感じていますか。[1つに○]

満足と感じている人が46.8%

介護保険サービスの総合的な評価については、「大変満足している」が5.3%、「満足している」が41.5%で、これらを合わせると満足と感じている人が46.8%となっています。

図 介護保険サービスの総合評価

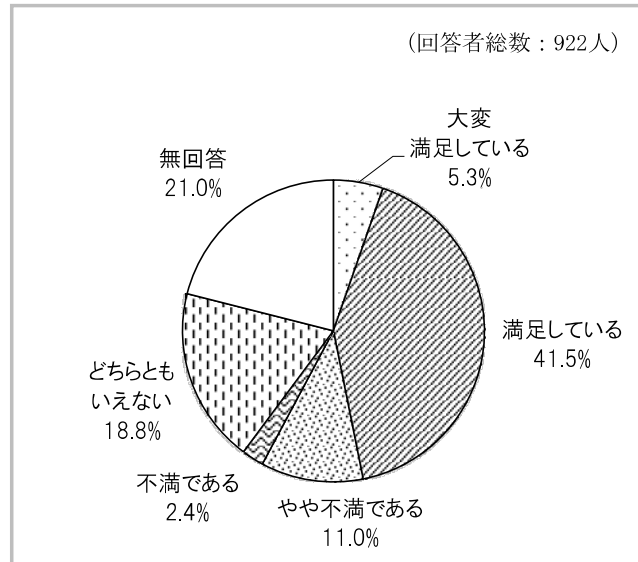


表 介護保険サービスの総合評価 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	922
大変満足している	49 (5.3)
満足している	383 (41.5)
やや不満である	101 (11.0)
不満である	22 (2.4)
どちらともいえない	173 (18.8)
無回答	194 (21.0)

【介護度別】

介護保険サービスの総合的な評価を介護度別にみると、要支援1以外では、満足と感じている割合が約5割となっています。一方、「やや不満である」は、要介護3で16.7%、要介護4では15.7%、要介護5では18.3%となっています。

表 介護度別にみた介護保険サービスの総合評価

単位：人 (%)

項目	全体	介護度別						
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
回答者総数 (人)	922	124	133	193	166	114	83	60
大変満足している	49 (5.3)	6 (4.8)	7 (5.3)	13 (6.7)	3 (1.8)	12 (10.5)	0 (0.0)	6 (10.0)
満足している	383 (41.5)	35 (28.2)	61 (45.9)	78 (40.4)	83 (50.0)	45 (39.5)	41 (49.4)	23 (38.3)
やや不満である	101 (11.0)	9 (7.3)	10 (7.5)	22 (11.4)	14 (8.4)	19 (16.7)	13 (15.7)	11 (18.3)
不満である	22 (2.4)	5 (4.0)	6 (4.5)	3 (1.6)	2 (1.2)	4 (3.5)	2 (2.4)	0 (0.0)
どちらともいえない	173 (18.8)	27 (21.8)	30 (22.6)	29 (15.0)	36 (21.7)	18 (15.8)	15 (18.1)	8 (13.3)
無回答	194 (21.0)	42 (33.9)	19 (14.3)	48 (24.9)	28 (16.9)	16 (14.0)	12 (14.5)	12 (20.0)

※ 介護度の無回答者数 49人を除いている。

(3) 介護保険サービスがもたらす効果

問15 介護保険サービスを利用したことにより、高齢者ご本人の身体や生活の状況は良くなりましたか。[各項目ごとに1つずつ〇]

「良くなった」という割合は、『生活の張りあい』で29.4%、『健康状態』で25.8%

介護保険サービスを利用したことにより、高齢者ご本人の身体や生活の状況は良くなったかどうか、サービスの効果について項目別にたずねました。その結果、「良くなった」という割合は、『生活の張りあい』で29.4%、『健康状態』で25.8%となっています。

また、「変わらない」という割合は、すべての項目で最も多い割合となっています。

図 介護保険サービスがもたらす効果

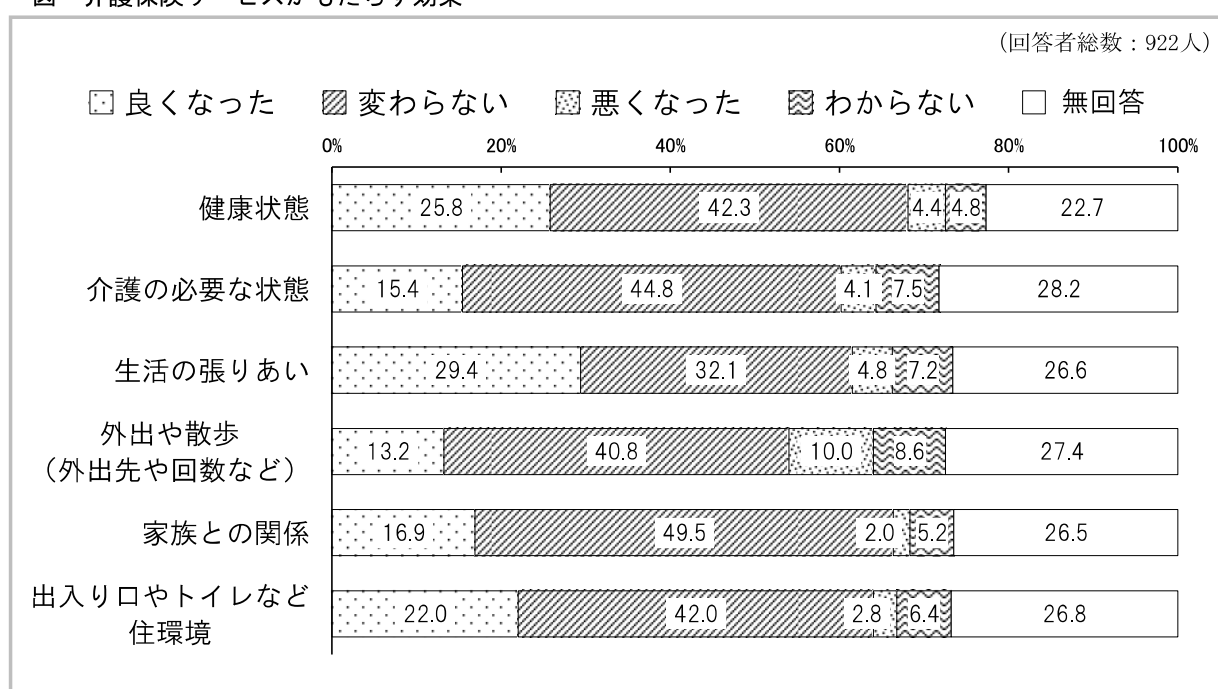


表 介護保険サービスがもたらす効果

回答者総数：922人 単位：人(%)

項目	良くなった	変わらない	悪くなった	わからない	無回答
ア) 健康状態	238 (25.8)	390 (42.3)	41 (4.4)	44 (4.8)	209 (22.7)
イ) 介護の必要な状態	142 (15.4)	413 (44.8)	38 (4.1)	69 (7.5)	260 (28.2)
ウ) 生活の張りあい	271 (29.4)	296 (32.1)	44 (4.8)	66 (7.2)	245 (26.6)
エ) 外出や散歩(外出先や回数など)	122 (13.2)	376 (40.8)	92 (10.0)	79 (8.6)	253 (27.4)
オ) 家族との関係	156 (16.9)	456 (49.5)	18 (2.0)	48 (5.2)	244 (26.5)
カ) 出入り口やトイレなど住環境	203 (22.0)	387 (42.0)	26 (2.8)	59 (6.4)	247 (26.8)

(4) 現在利用している支援・サービス

問16 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは何ですか。
 [あてはまるものすべてに○]
 ※総合事業に基づく支援・サービスは「介護保険サービス」に含めます。

「配食」と「移送サービス」がそれぞれ
6.0%

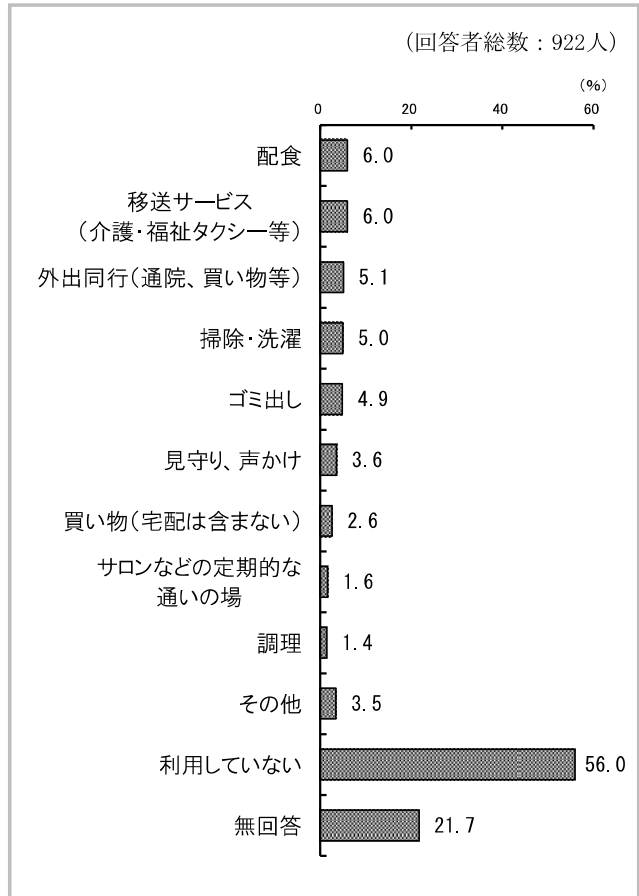
現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについては、「配食」と「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がそれぞれ 6.0%、次いで「外出同行（通院、買い物等）」が 5.1%となっています。

一方、「利用していない」は56.0%となっています。

表 現在利用している支援・サービス

単位：人（%）	
回答者総数（人）	922
項目	回答数（構成比）
配食	55（6.0）
移送サービス （介護・福祉タクシー等）	55（6.0）
外出同行（通院、買い物等）	47（5.1）
掃除・洗濯	46（5.0）
ゴミ出し	45（4.9）
見守り、声かけ	33（3.6）
買い物（宅配は含まない）	24（2.6）
サロンなどの定期的な通いの場	15（1.6）
調理	13（1.4）
その他	32（3.5）
利用していない	516（56.0）
無回答	200（21.7）

図 現在利用している支援・サービス



(5) 今後必要な支援・サービス

問17 今後の在宅生活の継続に必要、または、さらなる充実が必要と感じるサービスは何ですか。
 [あてはまるものすべてに○]
 ※介護保険サービス、介護保険サービス以外の支援・サービスともに含めます。

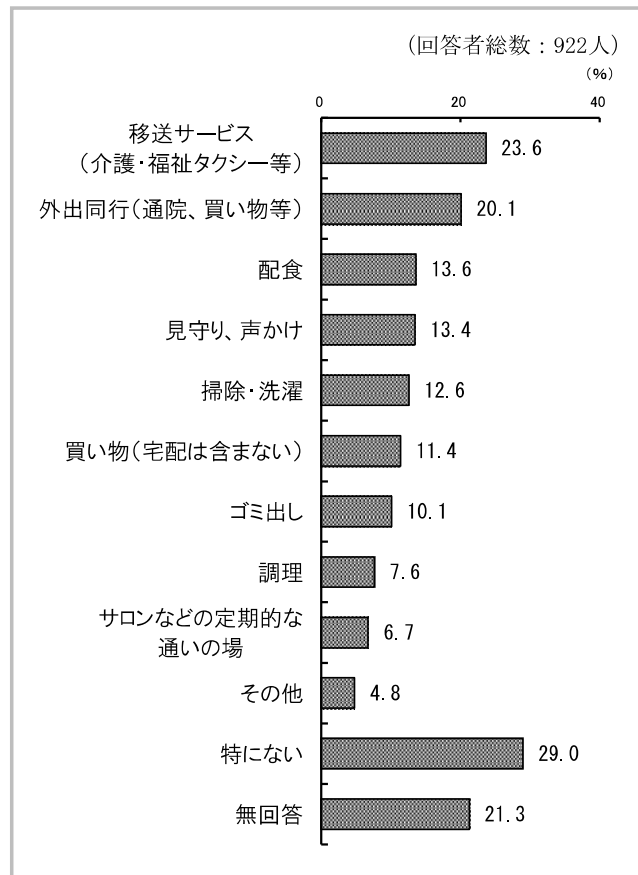
「移送サービス」が23.6%

今後の在宅生活の継続に必要、または、さらなる充実が必要と感じるサービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が23.6%で、次いで「外出同行（通院、買い物等）」が20.1%、「配食」が13.6%となっています。

表 今後必要な支援・サービス 単位：人（%）

回答者総数（人）	922
項目	回答数（構成比）
移送サービス （介護・福祉タクシー等）	218（23.6）
外出同行（通院、買い物等）	185（20.1）
配食	125（13.6）
見守り、声かけ	124（13.4）
掃除・洗濯	116（12.6）
買い物（宅配は含まない）	105（11.4）
ゴミ出し	93（10.1）
調理	70（7.6）
サロンなどの定期的な通いの場	62（6.7）
その他	44（4.8）
特にない	267（29.0）
無回答	196（21.3）

図 今後必要な支援・サービス



5 施設入所の意向について

(1) 施設入所の意向

問18 現在、施設等[※]への入所・入居の検討や申し込みをしていますか。[1つに〇]

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

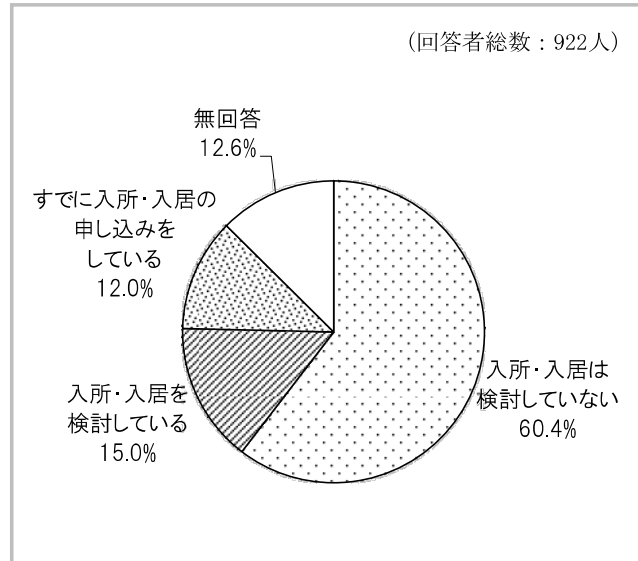
「申し込みをしている」は12.0%

現在、施設への入所・入居の検討や申し込みをしているかについては、「入所・入居は検討していない」が60.4%となっています。また、「入所・入居を検討している」は15.0%、「すでに入所・入居の申し込みをしている」は12.0%となっています。

表 施設入所の意向 単位：人（%）

項目	回答数（構成比）
回答者総数（人）	922
入所・入居は検討していない	557 (60.4)
入所・入居を検討している	138 (15.0)
すでに入所・入居の申し込みをしている	111 (12.0)
無回答	116 (12.6)

図 施設入所の意向



6 高齢者福祉や介護保険制度について

(1) 福祉や介護についての相談先

問19 福祉や介護に関して、誰に相談していますか。[主なものを3つ以内で○]

「ケアマネジャー」が68.1%

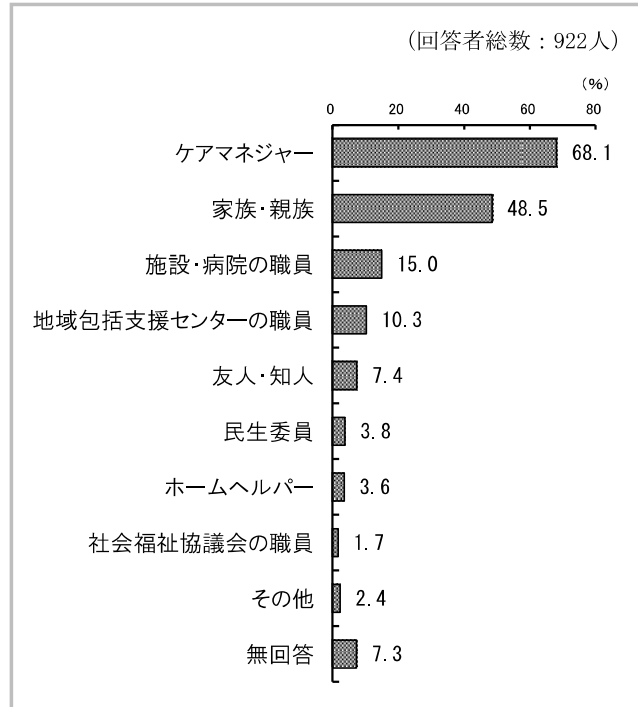
福祉や介護に関して誰に相談しているかについては、「ケアマネジャー」が68.1%で、次いで「家族・親族」が48.5%、「施設・病院の職員」が15.0%となっています。

表 福祉や介護についての相談先

単位：人（%）

回答者総数（人）	922
項目	回答数（構成比）
ケアマネジャー	628 (68.1)
家族・親族	447 (48.5)
施設・病院の職員	138 (15.0)
地域包括支援センターの職員	95 (10.3)
友人・知人	68 (7.4)
民生委員	35 (3.8)
ホームヘルパー	33 (3.6)
社会福祉協議会の職員	16 (1.7)
その他	22 (2.4)
無回答	67 (7.3)

図 福祉や介護についての相談先



(2) 認知症について関心のあること

問20 認知症についてどんなことに関心がありますか。[主なものを2つ以内で○]

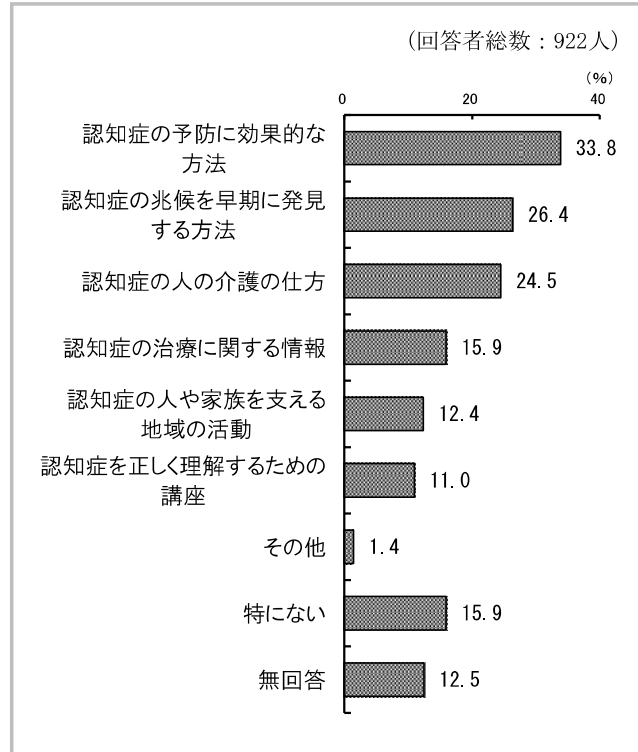
「認知症の予防に効果的な方法」が33.8%

認知症のどんなことに関心があるかについては、「認知症の予防に効果的な方法」が33.8%で、次いで「認知症の兆候を早期に発見する方法」が26.4%、「認知症の人の介護の仕方」が24.5%となっています。

表 認知症について関心のあること

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	922
項目	回答数 (構成比)
認知症の予防に効果的な方法	312 (33.8)
認知症の兆候を早期に発見する方法	243 (26.4)
認知症の人の介護の仕方	226 (24.5)
認知症の治療に関する情報	147 (15.9)
認知症の人や家族を支える地域の活動	114 (12.4)
認知症を正しく理解するための講座	101 (11.0)
その他	13 (1.4)
特にない	147 (15.9)
無回答	115 (12.5)

図 認知症について関心のあること



(3) 成年後見制度の認知状況

問21 あなたは、成年後見制度（判断力が低下した方への法的な支援制度）を知っていますか。[1つに○]

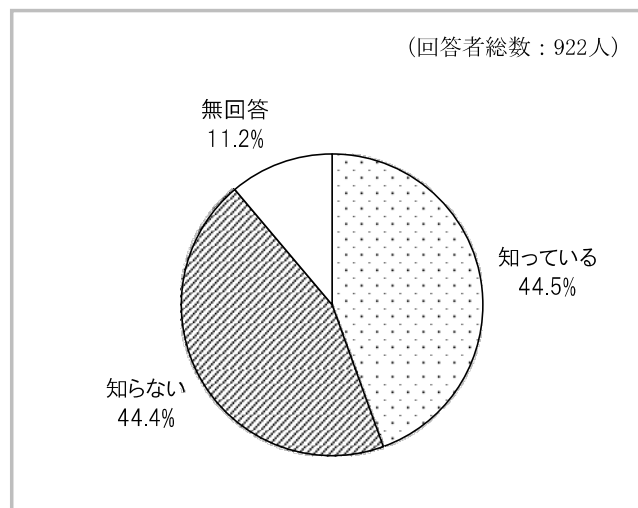
「知っている」が44.5%

成年後見制度を知っているかについては、「知っている」が44.5%、「知らない」が44.4%となっています。

表 成年後見制度の認知状況

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	922
項目	回答数 (構成比)
知っている	410 (44.5)
知らない	409 (44.4)
無回答	103 (11.2)

図 成年後見制度の認知状況



(4) 行政に期待すること

問22 高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待しますか。
 [主なものを3つ以内で〇]

「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が41.9%

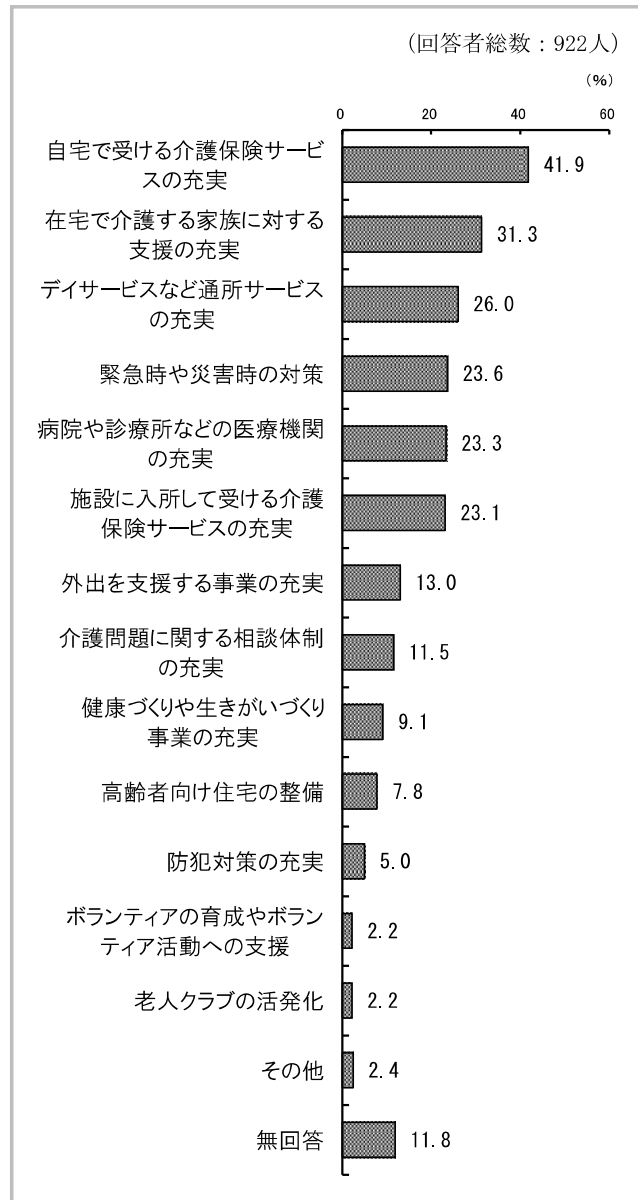
高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待するかについては、「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が41.9%で、次いで「在宅で介護する家族に対する支援の充実」が31.3%、「デイサービスなど通所サービスの充実」が26.0%となっています。

また、「緊急時や災害時の対策」が23.6%、「病院や診療所などの医療機関の充実」が23.3%となっています。

表 行政に期待すること 単位：人（%）

項目	回答数（構成比）
自宅で受ける介護保険サービスの充実	386 (41.9)
在宅で介護する家族に対する支援の充実	289 (31.3)
デイサービスなど通所サービスの充実	240 (26.0)
緊急時や災害時の対策	218 (23.6)
病院や診療所などの医療機関の充実	215 (23.3)
施設に入所して受ける介護保険サービスの充実	213 (23.1)
外出を支援する事業の充実	120 (13.0)
介護問題に関する相談体制の充実	106 (11.5)
健康づくりや生きがいがづくり事業の充実	84 (9.1)
高齢者向け住宅の整備	72 (7.8)
防犯対策の充実	46 (5.0)
ボランティアの育成やボランティア活動への支援	20 (2.2)
老人クラブの活発化	20 (2.2)
その他	22 (2.4)
無回答	109 (11.8)

図 行政に期待すること



7 介護者の状況について

(1) 家族や親族からの介護の日数

問23 家族や親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。[1つに○]

「ほぼ毎日」が35.6%

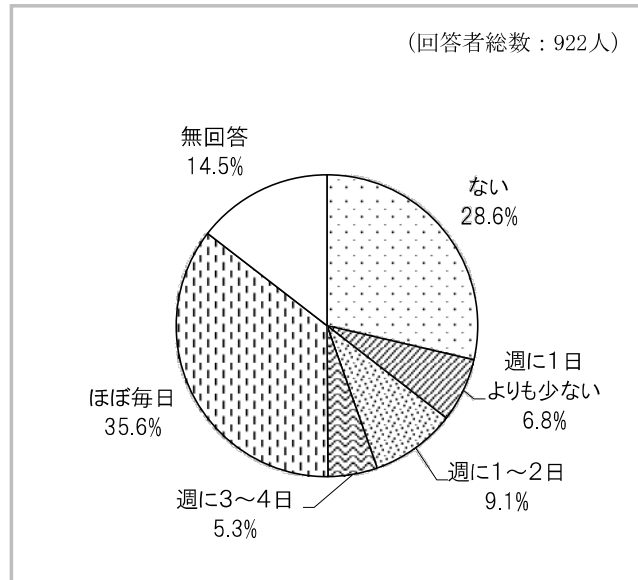
家族や親族の方からの介護は、週にどのくらいあるかについては、「週に1日より少ない」が6.8%、「週に1～2日」が9.1%、「週に3～4日」が5.3%、「ほぼ毎日」が35.6%となっています。

一方、「ない」は、28.6%となっています。

表 家族や親族からの介護の日数

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	922
項目	回答数 (構成比)
ない	264 (28.6)
週に1日より少ない	63 (6.8)
週に1～2日	84 (9.1)
週に3～4日	49 (5.3)
ほぼ毎日	328 (35.6)
無回答	134 (14.5)

図 家族や親族からの介護の日数



[以下、(2)～(13)は、家族や親族の方からの介護があると回答した524人を対象としています。]

(2) 主な介護者

問24 主な介護者の方は、どなたですか。[1つに○]

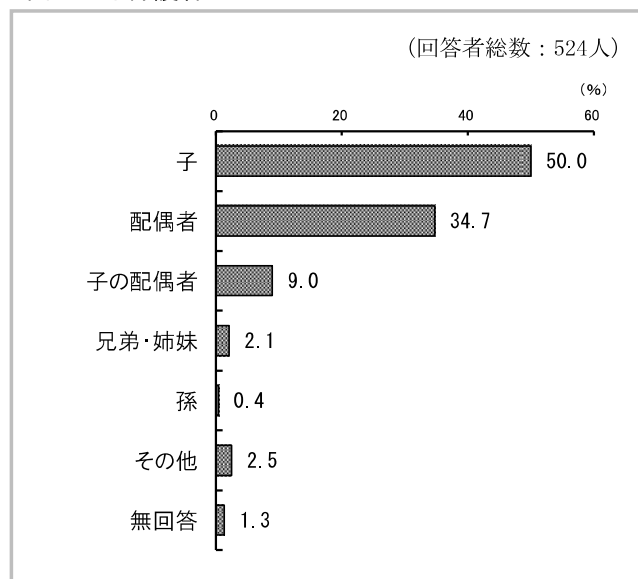
「子」が50.0%、「配偶者」が34.7%

主な介護者については、「子」が50.0%、「配偶者」が34.7%となっています。

表 主な介護者

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	524
項目	回答数 (構成比)
子	262 (50.0)
配偶者	182 (34.7)
子の配偶者	47 (9.0)
兄弟・姉妹	11 (2.1)
孫	2 (0.4)
その他	13 (2.5)
無回答	7 (1.3)

図 主な介護者



(3) 介護者の性別

問25 主な介護者の方の性別を教えてください。[1つに〇]

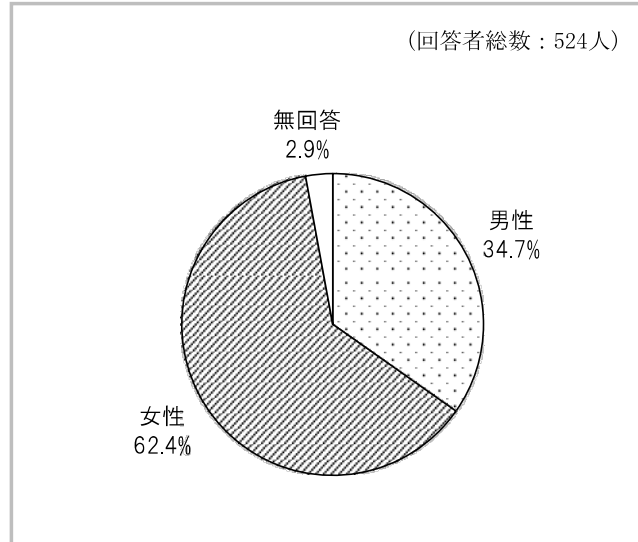
「男性」が34.7%、「女性」が62.4%

主な介護者の性別については、「男性」が34.7%、「女性」が62.4%で、女性のほうが多くなっています。

表 主な介護者の性別 単位：人（%）

回答者総数（人）	524
項目	回答数（構成比）
男性	182（34.7）
女性	327（62.4）
無回答	15（2.9）

図 主な介護者の性別



(4) 介護者の年齢

問26 主な介護者の方の年齢は何歳ですか。[1つに〇]

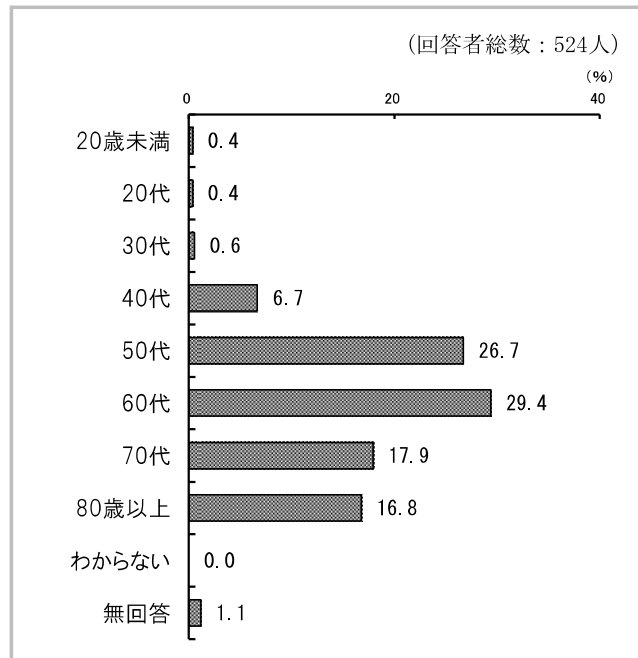
「60代」が29.4%

主な介護者の年齢については、「60代」が29.4%で、次いで「50代」が26.7%、「70代」が17.9%となっています。また、「80歳以上」は16.8%となっています。

表 主な介護者の年齢 単位：人（%）

回答者総数（人）	524
項目	回答数（構成比）
20歳未満	2（0.4）
20代	2（0.4）
30代	3（0.6）
40代	35（6.7）
50代	140（26.7）
60代	154（29.4）
70代	94（17.9）
80歳以上	88（16.8）
わからない	0（0.0）
無回答	6（1.1）

図 主な介護者の年齢



(5) 介護者が行っている介護等

問27 現在、主な介護者の方が行ってる介護等はどれですか。[あてはまるものすべてに○]

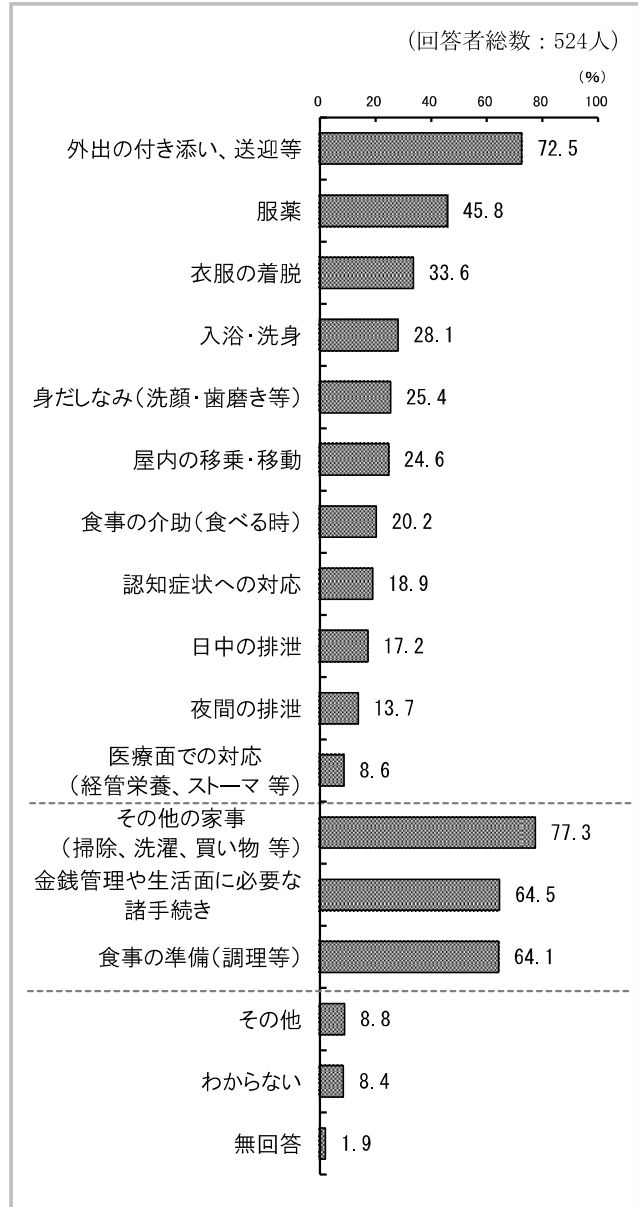
掃除、洗濯、買い物等が77.3%

主な介護者が行ってる介護等については、身体介護では「外出の付き添い、送迎等」が72.5%で、次いで「服薬」が45.8%、「衣服の着脱」が33.6%となっています。生活援助では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が77.3%、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が64.5%、「食事の準備(調理等)」が64.1%となっています。

表 主な介護者が行っている介護等

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	524
項目	回答数 (構成比)
〔身体介護〕	
外出の付き添い、送迎等	380 (72.5)
服薬	240 (45.8)
衣服の着脱	176 (33.6)
入浴・洗身	147 (28.1)
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	133 (25.4)
屋内の移乗・移動	129 (24.6)
食事の介助(食べる時)	106 (20.2)
認知症状への対応	99 (18.9)
日中の排泄	90 (17.2)
夜間の排泄	72 (13.7)
医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	45 (8.6)
〔生活援助〕	
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	405 (77.3)
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	338 (64.5)
食事の準備(調理等)	336 (64.1)
〔その他〕	
その他	46 (8.8)
わからない	44 (8.4)
無回答	10 (1.9)

図 主な介護者が行っている介護等



(6) 介護のために仕事を辞めた家族等の有無

問28 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護のために、過去1年間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません) [あてはまるものすべてに○]

「仕事を辞めた家族・親族はいない」が64.3%

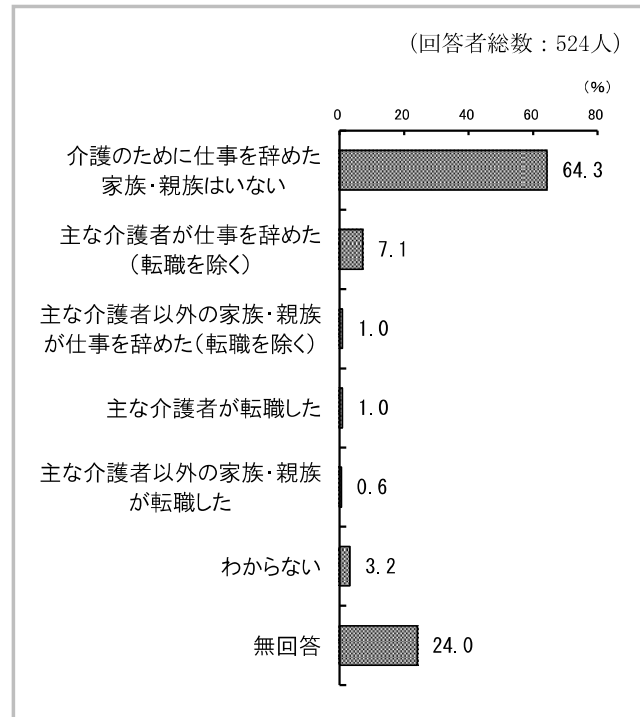
介護のために、過去1年間に仕事を辞めた家族や親族がいるかについては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が64.3%となっています。

また、「主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く)」は7.1%となっています。

表 介護のために仕事を辞めた家族等の有無

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	524
項目	回答数 (構成比)
介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	337 (64.3)
主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く)	37 (7.1)
主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職を除く)	5 (1.0)
主な介護者が転職した	5 (1.0)
主な介護者以外の家族・親族が転職した	3 (0.6)
わからない	17 (3.2)
無回答	126 (24.0)

図 介護のために仕事を辞めた家族等の有無



(7) 介護者の勤務形態

問29 主な介護者の方の現在の勤務形態はどれにあてはまりますか。[1つに○]

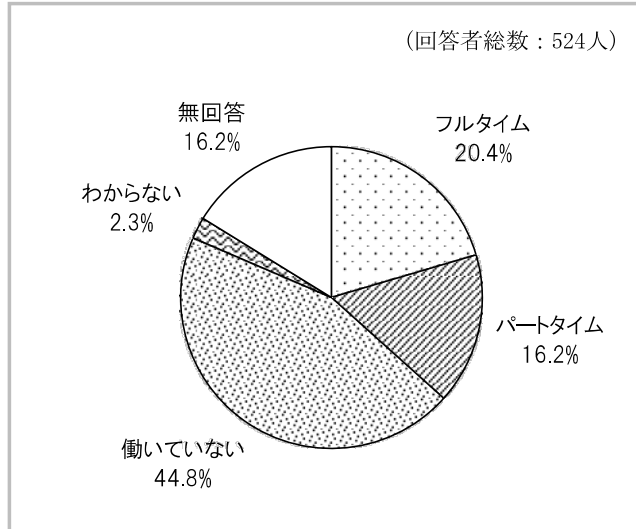
「働いていない」が44.8%

主な介護者の現在の勤務形態については、「フルタイム」が20.4%、「パートタイム」が16.2%となっています。一方、「働いていない」は44.8%となっています。

表 主な介護者の勤務形態 単位：人（%）

回答者総数（人）	524
項目	回答数（構成比）
フルタイム	107 (20.4)
パートタイム	85 (16.2)
働いていない	235 (44.8)
わからない	12 (2.3)
無回答	85 (16.2)

図 主な介護者の勤務形態



(8) 介護者の働き方の調整状況

問30 [問29で「フルタイム」または「パートタイム」と回答した方]
 主な介護者の方は、介護のために、働き方を調整していますか。[あてはまるものすべてに○]

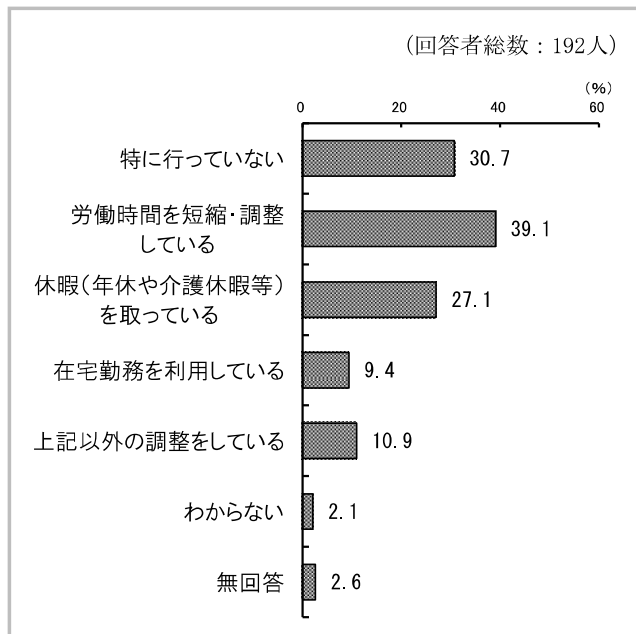
「労働時間を短縮・調整している」が39.1%

介護のために働き方を調整しているかについては、「特に行っていない」が30.7%となっています。また、「労働時間を短縮・調整している」が39.1%、「休暇（年休や介護休暇等）を取っている」が27.1%となっています。

表 介護者の働き方の調整状況 単位：人（%）

回答者総数（人）	192
項目	回答数（構成比）
特に行っていない	59 (30.7)
労働時間を短縮・調整している	75 (39.1)
休暇（年休や介護休暇等）を取っている	52 (27.1)
在宅勤務を利用している	18 (9.4)
上記2～4以外の調整をしている	21 (10.9)
わからない	4 (2.1)
無回答	5 (2.6)

図 介護者の働き方の調整状況



(9) 介護者の就労継続の見込み

問31 〔問29で「フルタイム」または「パートタイム」と回答した方〕
 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。〔1つに〇〕

「問題はあるが、何とか続けていける」が
 52.1%

今後も働きながら介護を続けていけるかについては、「問題なく、続けていける」が15.1%、「問題はあるが、何とか続けていける」が52.1%となっています。

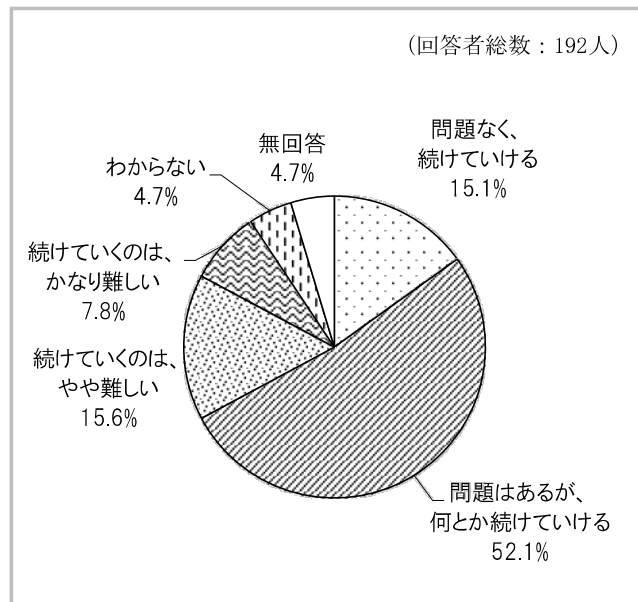
一方、「続けていくのは、やや難しい」は15.6%、「続けていくのは、かなり難しい」は7.8%となっています。

表 介護者の就労継続の見込み

単位：人（%）

回答者総数（人）	192
項目	回答数（構成比）
問題なく、続けていける	29 (15.1)
問題はあるが、何とか続けていける	100 (52.1)
続けていくのは、やや難しい	30 (15.6)
続けていくのは、かなり難しい	15 (7.8)
わからない	9 (4.7)
無回答	9 (4.7)

図 介護者の就労継続の見込み



(10) 介護者が望む勤務先からの支援内容

問32 「問29で「フルタイム」または「パートタイム」と回答した方」

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。[主なもの3つ以内で○]

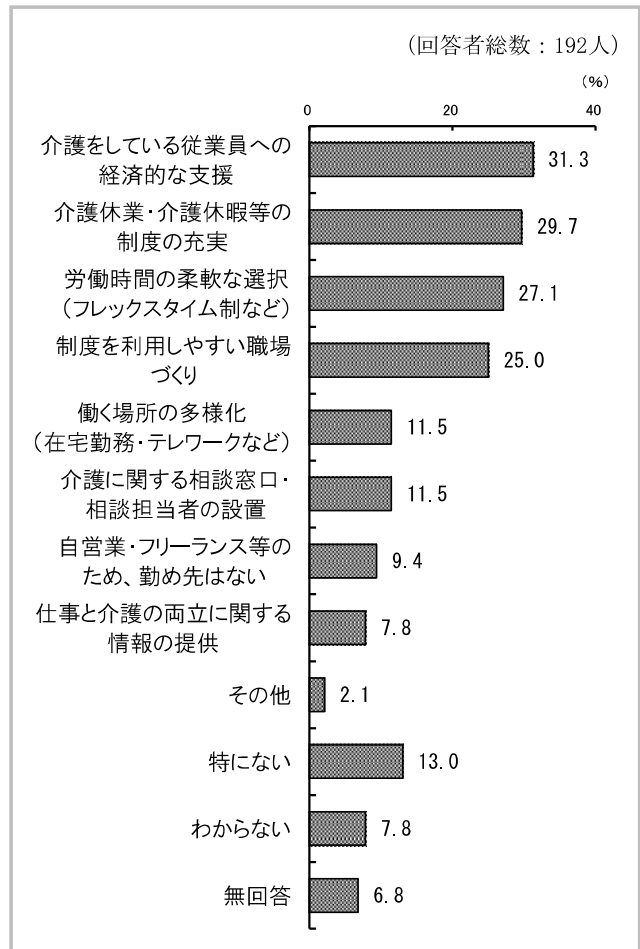
「経済的な支援」が31.3%

勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかについては、「介護をしている従業員への経済的な支援」が31.3%で、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.7%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が27.1%となっています。

表 介護者が望む勤務先からの支援内容

単位：人（%）	
回答者総数（人）	192
項目	回答数（構成比）
介護をしている従業員への経済的な支援	60 (31.3)
介護休業・介護休暇等の制度の充実	57 (29.7)
労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	52 (27.1)
制度を利用しやすい職場づくり	48 (25.0)
働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	22 (11.5)
介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	22 (11.5)
自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	18 (9.4)
仕事と介護の両立に関する情報の提供	15 (7.8)
その他	4 (2.1)
特になし	25 (13.0)
わからない	15 (7.8)
無回答	13 (6.8)

図 介護者が望む勤務先からの支援内容



(11) 介護者が不安に感じている介護の内容

問33 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等はどれですか。
 [主なもの3つ以内で○]

「外出の付き添い、送迎等」が28.1%

介護者が不安に感じる介護等については、「外出の付き添い、送迎等」が28.1%で、次いで「認知症状への対応」が25.6%、「夜間の排泄」が21.6%となっています。

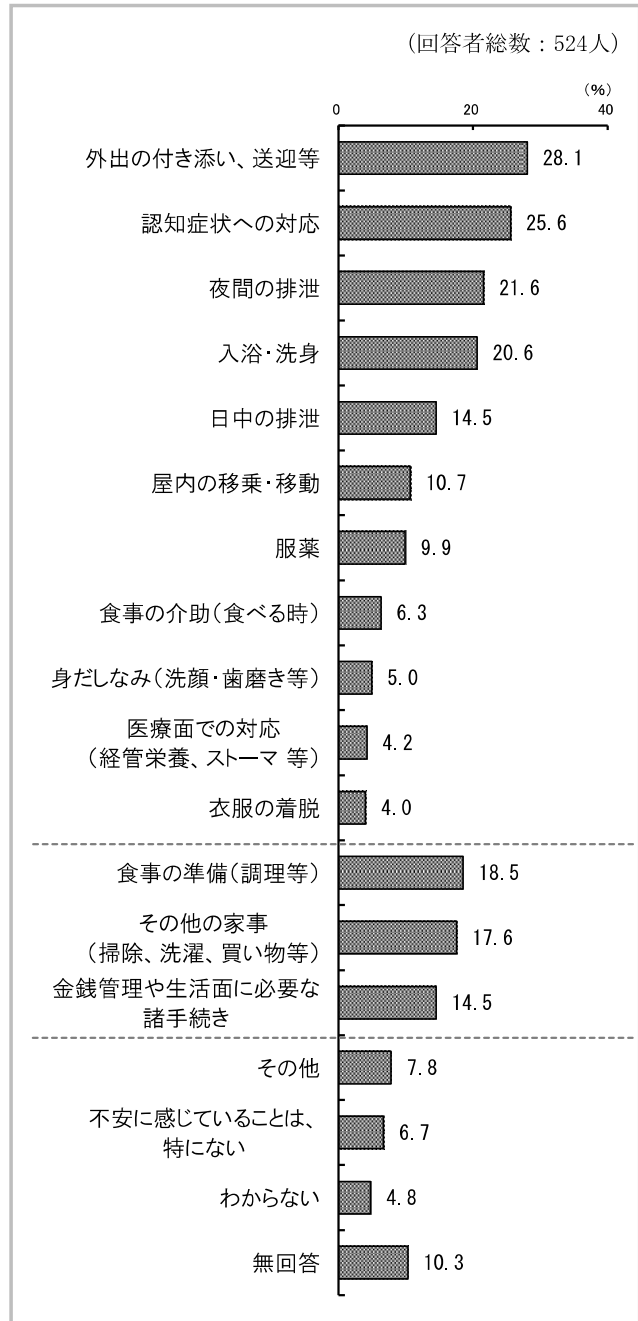
一方、「不安に感じていることは、特にない」は6.7%となっています。

表 介護者が不安に感じている介護の内容

単位：人（%）

回答者総数（人）	524
項目	回答数（構成比）
〔身体介護〕	
外出の付き添い、送迎等	147 (28.1)
認知症状への対応	134 (25.6)
夜間の排泄	113 (21.6)
入浴・洗身	108 (20.6)
日中の排泄	76 (14.5)
屋内の移乗・移動	56 (10.7)
服薬	52 (9.9)
食事の介助（食べる時）	33 (6.3)
身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	26 (5.0)
医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	22 (4.2)
衣服の着脱	21 (4.0)
〔生活援助〕	
食事の準備（調理等）	97 (18.5)
その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	92 (17.6)
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	76 (14.5)
〔その他〕	
その他	41 (7.8)
不安に感じていることは、特にない	35 (6.7)
わからない	25 (4.8)
無回答	54 (10.3)

図 介護者が不安に感じている介護の内容



(12) 介護する上で困っていること

問34 主な介護者の方が介護する上で困っていることはありますか。[あてはまるものすべてに○]

「精神的な負担が大きい」が46.4%

介護する上で困っていることについては、「精神的な負担が大きい」が46.4%で、次いで「身体的な負担が大きい」が36.5%、「金銭的な負担が大きい」が24.0%となっています。

一方、「特にない」は21.2%となっています。

図 介護する上で困っていること

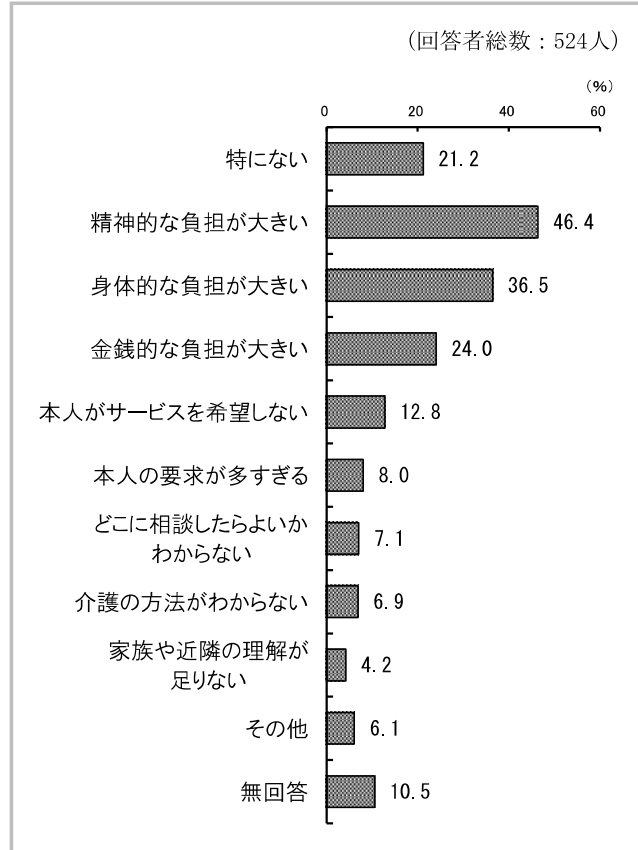


表 介護する上で困っていること

単位：人 (%)

回答者総数 (人)	524
項目	回答数 (構成比)
特にない	111 (21.2)
精神的な負担が大きい	243 (46.4)
身体的な負担が大きい	191 (36.5)
金銭的な負担が大きい	126 (24.0)
本人がサービスを希望しない	67 (12.8)
本人の要求が多すぎる	42 (8.0)
どこに相談したらよいかわからない	37 (7.1)
介護の方法がわからない	36 (6.9)
家族や近隣の理解が足りない	22 (4.2)
その他	32 (6.1)
無回答	55 (10.5)

【 認知症の診断別 】

介護する上で困っていることを認知症の診断別にみると、認知症と診断されている場合は、「精神的な負担が大きい」が63.4%、「身体的な負担が大きい」が45.5%、「金銭的な負担が大きい」が31.0%となっており、認知症と診断されていない場合と比較して割合が多くなっています。

また、「特にない」の割合は、認知症と診断されていない場合は26.8%となっていますが、認知症と診断されている場合は9.0%となっています。

表 認知症の診断別にみた介護する上で困っていること

単位：人（％）

項目	全 体	認知症の診断	
		診断されている	診断されていない
回答者総数（人）	524	145	358
特にない	111 (21.2)	13 (9.0)	96 (26.8)
精神的な負担が大きい	243 (46.4)	92 (63.4)	143 (39.9)
身体的な負担が大きい	191 (36.5)	66 (45.5)	118 (33.0)
金銭的な負担が大きい	126 (24.0)	45 (31.0)	74 (20.7)
本人がサービスを希望しない	67 (12.8)	21 (14.5)	44 (12.3)
本人の要求が多すぎる	42 (8.0)	16 (11.0)	25 (7.0)
どこに相談したらよいかわからない	37 (7.1)	18 (12.4)	17 (4.7)
介護の方法がわからない	36 (6.9)	10 (6.9)	26 (7.3)
家族や近隣の理解が足りない	22 (4.2)	8 (5.5)	13 (3.6)
その他	32 (6.1)	8 (5.5)	20 (5.6)
無回答	55 (10.5)	10 (6.9)	38 (10.6)

※ 認知症診断の無回答者数 21人を除いている。

(13) 介護者への支援で重要なこと

問35 在宅で介護する家族等への支援について、どんなことが重要だと思いますか。
[主なものを3つ以内で〇]

「介護者の自由な時間があること」が
35.5%

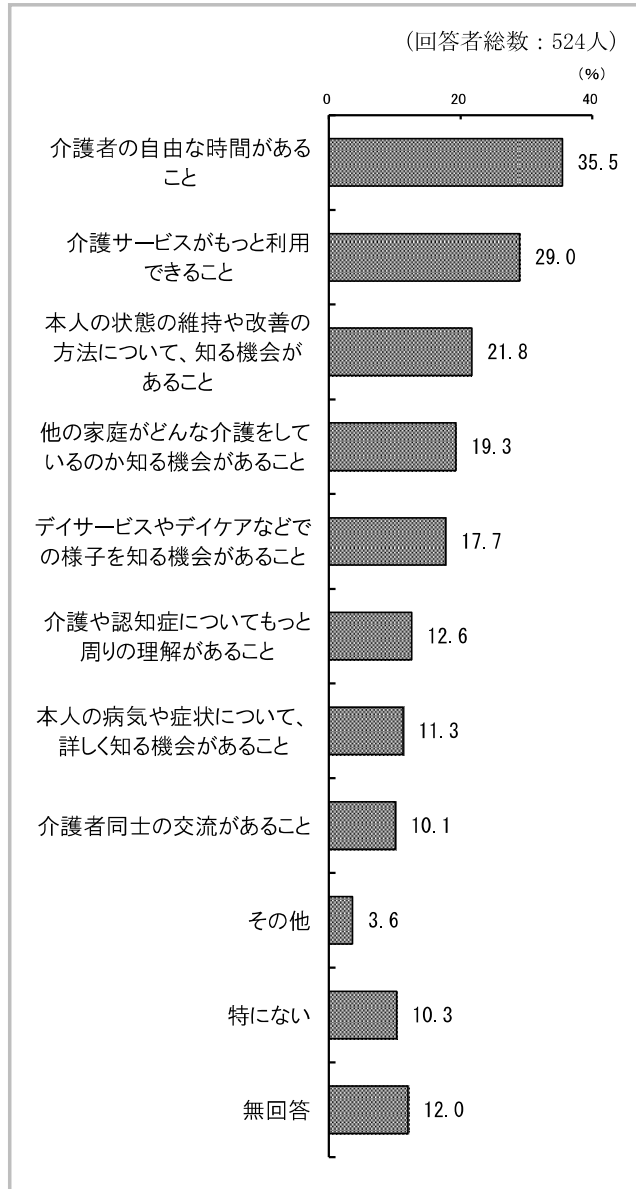
在宅で介護する家族等への支援について、どんなことが重要だと思うかについては、「介護者の自由な時間があること」が35.5%で、次いで「介護サービスがもっと利用できること」が29.0%、「本人の状態の維持や改善の方法について、知る機会があること」が21.8%となっています。

また、「他の家庭がどんな介護をしているのか知る機会があること」は19.3%、「デイサービスやデイケアなどでの様子を知る機会があること」は17.7%となっています。

表 介護者への支援で重要なこと

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	524
項目	回答数 (構成比)
介護者の自由な時間があること	186 (35.5)
介護サービスがもっと利用できること	152 (29.0)
本人の状態の維持や改善の方法について、知る機会があること	114 (21.8)
他の家庭がどんな介護をしているのか知る機会があること	101 (19.3)
デイサービスやデイケアなどでの様子を知る機会があること	93 (17.7)
介護や認知症についてもっと周りの理解があること	66 (12.6)
本人の病気や症状について、詳しく知る機会があること	59 (11.3)
介護者同士の交流があること	53 (10.1)
その他	19 (3.6)
特になし	54 (10.3)
無回答	63 (12.0)

図 介護者への支援で重要なこと



【 認知症の診断別 】

在宅で介護する家族等への支援について認知症別にみたところ、認知症が診断されている場合には、「介護者の自由な時間があること」と「介護サービスがもっと利用できること」がそれぞれ37.9%となっています。また、「本人の状態の維持や改善の方法について、知る機会があること」が26.9%、「他の家庭がどんな介護をしているのか知る機会があること」が29.7%となっており、認知症と診断されていない場合より割合が多くなっています。

表 認知症の診断別にみた介護者への支援で重要なこと

単位：人（%）

項目	全体	認知症の診断	
		診断されている	診断されていない
回答者総数（人）	524	145	358
介護者の自由な時間があること	186 (35.5)	55 (37.9)	126 (35.2)
介護サービスがもっと利用できること	152 (29.0)	55 (37.9)	92 (25.7)
本人の状態の維持や改善の方法について、知る機会があること	114 (21.8)	39 (26.9)	71 (19.8)
他の家庭がどんな介護をしているのか知る機会があること	101 (19.3)	43 (29.7)	57 (15.9)
デイサービスやデイケアなどでの様子を知る機会があること	93 (17.7)	23 (15.9)	68 (19.0)
介護や認知症についてもっと周りの理解があること	66 (12.6)	22 (15.2)	43 (12.0)
本人の病気や症状について、詳しく知る機会があること	59 (11.3)	21 (14.5)	36 (10.1)
介護者同士の交流があること	53 (10.1)	19 (13.1)	30 (8.4)
その他	19 (3.6)	3 (2.1)	14 (3.9)
特になし	54 (10.3)	8 (5.5)	46 (12.8)
無回答	63 (12.0)	8 (5.5)	49 (13.7)

※ 認知症診断の無回答者数 21人を除いている。

8 在宅介護実態調査のまとめ

①回答者の属性

性別については、「男性」が35.5%、「女性」が59.1%となっており、女性のほうが多くなっています。

年齢構成をみると、「65～69歳」が2.4%、「70～74歳」が8.6%で、前期高齢者の割合は11.0%となっています。また、「75～79歳」が14.5%、「80～84歳」が22.8%、「85～89歳」が25.5%、「90歳以上」が19.6%で、後期高齢者の割合は82.4%と多くなっています。

居住地区については、地区別では「小久喜」が23.0%、「白岡」が12.0%、「新白岡」が11.1%となっています。日常生活圏域でみると、「日勝圏域」が44.0%、「篠津・大山圏域」が51.6%となっています。

家族構成については、「1人暮らし」が21.5%、「夫婦のみの世帯」が27.0%、「その他の世帯」が48.5%となっています。

世帯全体の年収（年金含む）については、「200～300万円未満」が22.0%、「300～400万円未満」が14.0%、「150～200万円未満」が13.8%となっています。

②身体状況などについて

介護度については、「要介護1」が20.9%、「要介護2」が18.0%となっており、要介護1と要介護2で全体の約4割を占めています。

医師に「認知症」と診断されているかについては、「診断されている」が23.5%となっています。

現在抱えている傷病については、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が23.8%で、次いで「認知症」が21.9%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」が21.4%となっています。

訪問診療を利用しているかについては、「利用している」が17.5%となっています。

医療と介護の連携についてどのように考えるかについては、「自宅で必要な医療行為や介護が受けられるといいと思う」が57.8%、「入院した場合、退院後自宅に戻ってから通院が難しくなると困る」が48.4%となっています。自宅で介護を受けたいという希望が多いことから、必要な医療や介護サービスを自宅で受けながら安心して過ごせるよう、医療と介護の連携を強化していくことが必要です。

③介護保険サービス利用の有無について

現在、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険のサービスを利用しているかについては、「利用している」が63.7%となっています。これを介護度別にみると、要介護3と要介護4では、利用している割合が約8割となっています。一方、最も介護度が高い要介護5では利用している割合は60.0%となっています。

また、現在、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険のサービスを利用していない人は29.4%おり、その理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が45.0%、「本人にサービス利用の希望がない」が18.8%となっています。

認定を受けてもサービスを利用しない、必要としていないと考える人が少なくないことから、要介護認定に関することや介護サービスに関するきめ細かい情報提供の充実などが求められます。

④介護保険サービスの利用と評価について

現在利用している介護保険サービスについては、「福祉用具の貸与」が42.8%で、次いで、「通所介護」が34.4%、「通所リハビリテーション」が19.2%となっています。介護度別にみると、「訪問介護」や「訪問看護」は要介護5でそれぞれ33.3%と多く、「通所介護」は、要介護2で41.0%、要介護3で42.1%と多くなっています。また、「福祉用具の貸与」は介護度が高いほうが利用している割合が多い傾向がみられ、要介護4では最も多く67.5%となっています。

サービスの量の評価を、そのサービスの利用者にとずねました。「満足」と回答した割合が多いものをみると、『訪問入浴介護』で75.5%、『訪問看護』で72.4%、『福祉用具の貸与』で67.3%となっています。

介護保険サービスの総合的な評価については、「大変満足している」が5.3%、「満足している」が41.5%で、これらを合わせると満足と感じている人が46.8%となっています。介護度別にみると、「やや不満である」が、要介護3で16.7%、要介護4では15.7%、要介護5では18.3%となっています。

介護保険サービスを利用したことにより、高齢者ご本人の身体や生活の状況は良くなったかという、サービスの効果について項目別にとずねました。その結果、「良くなった」という割合は、『生活の張りあい』で29.4%、『健康状態』で25.8%となっています。また、「変わらない」という割合は、すべての項目で最も多い割合となっています。

現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについては、「利用していない」が56.0%で、利用しているサービスとしては、「配食」と「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がそれぞれ6.0%、次いで「外出同行（通院、買い物等）」が5.1%となっています。

今後の在宅生活の継続に必要、または、さらなる充実が必要と感じるサービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が23.6%で、次いで「外出同行（通院、買い物等）」が20.1%、「配食」が13.6%となっています。移動手段、外出に関する施策の充実が望まれており、在宅生活の継続にあたり重要性が高まっています。

⑤施設入所の意向について

特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームといった、施設への入所・入居の検討や申し込みをしているかについては、「入所・入居は検討していない」が60.4%となっています。また、「入所・入居を検討している」は15.0%、「すでに入所・入居の申し込みをしている」は12.0%となっています。

⑥高齢者福祉や介護保険制度について

福祉や介護に関して誰に相談しているかについては、「ケアマネジャー」が68.1%で、次いで「家族・親族」が48.5%、「施設・病院の職員」が15.0%となっています。「ケアマネジャー」の割合は、前回の調査結果と同様な割合となっており、要介護者や家族にとってケアマネジャーの存在が大きいことがうかがえます。

認知症のどんなことに関心があるかについては、「認知症の予防に効果的な方法」が33.8%で、次いで「認知症の兆候を早期に発見する方法」が26.4%、「認知症の人の介護の仕方」が24.5%となっています。認知症の予防と早期発見に関心が高まっています。

成年後見制度を知っているかについては、「知っている」が44.5%となっています。前回の調査結果より4.4ポイント減少していることから、より一層の周知と理解を進めていくことが求められます。

高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待するかについては、「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が41.9%で、次いで「在宅で介護する家族に対する支援の充実」が31.3%、「デイサービスなど通所サービスの充実」が26.0%となっています。また、「緊急時や災害時の対策」が23.6%、「病院や診療所などの医療機関の充実」が23.3%となっています。

⑦主な介護者の状況について

家族や親族の方からの介護は、週にどのくらいあるかについては、「週に1日よりも少ない」が6.8%、「週に1～2日」が9.1%、「週に3～4日」が5.3%、「ほぼ毎日」が35.6%となっています。一方、「ない」は、28.6%となっています。

家族や親族の方からの介護があると回答した方に、介護の状況をうかがいました。

まず、主な介護者は、「子」が50.0%、「配偶者」が34.7%となっています。主な介護者の性別については、「男性」が34.7%、「女性」が62.4%で、女性のほうが多くなっています。介護者の年齢については、「60代」が29.4%で、次いで「50代」が26.7%、「70代」が17.9%となっています。また、「80歳以上」は16.8%となっています。

高齢の介護者が多く、いわゆる「老々介護」の状況が増えていることがうかがえます。介護者の心身の負担を軽減するとともに、介護者が孤立しないための支援が必要です。

主な介護者が行っている介護等については、身体介護では「外出の付き添い、送迎等」が72.5%で、次いで「服薬」が45.8%、「衣服の着脱」が33.6%となっています。生活援助では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が77.3%、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が64.5%、「食事の準備（調理等）」が64.1%となっています。

介護のために、過去1年間に仕事を辞めた家族や親族がいるかについては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が64.3%となっています。一方、「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」は7.1%となっています。

主な介護者の現在の勤務形態については、「フルタイム」が20.4%、「パートタイム」が16.2%で、働きながら介護を担っている割合も多くなっています。一方、「働いていない」は44.8%となっています。

フルタイムやパートタイムで働いている介護者が、介護のために働き方を調整してい

るかについては、「特に行っていない」が30.7%となっています。また、「労働時間を短縮・調整している」が39.1%、「休暇（年休や介護休暇等）を取っている」が27.1%となっています。

今後も働きながら介護を続けていけるかについては、「問題なく、続けていける」が15.1%、「問題はあるが、何とか続けていける」が52.1%となっています。一方、「続けていくのは、やや難しい」は15.6%、「続けていくのは、かなり難しい」は7.8%となっており、仕事と介護の両立に困難を感じている割合は約2割となっています。

勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかについては、「介護をしている従業員への経済的な支援」が31.3%で、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.7%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が27.1%となっています。介護離職を防ぐため、介護サービスの充実とともに、介護者に寄り添った様々な支援の充実も望まれています。

介護者が不安に感じる介護等については、「外出の付き添い、送迎等」が28.1%で、次いで「認知症状への対応」が25.6%、「夜間の排泄」が21.6%となっています。

介護する上で困っていることについては、「精神的な負担が大きい」が46.4%で、次いで「身体的な負担が大きい」が36.5%、「金銭的な負担が大きい」が24.0%となっています。これを認知症の診断別にみると、認知症と診断されている場合は、「精神的な負担が大きい」が63.4%、「身体的な負担が大きい」が45.5%、「金銭的な負担が大きい」が31.0%となっており、認知症と診断されていない場合と比較して割合が多くなっています。

在宅で介護する家族等への支援について、どんなことが重要だと思うかについては、「介護者の自由な時間があること」が35.5%で、次いで「介護サービスがもっと利用できること」が29.0%、「本人の状態の維持や改善の方法について、知る機会があること」が21.8%となっています。これを認知症別にみたところ、認知症が診断されている場合には、「介護者の自由な時間があること」と「介護サービスがもっと利用できること」がそれぞれ37.9%となっています。また、「本人の状態の維持や改善の方法について、知る機会があること」が26.9%、「他の家庭がどんな介護をしているのか知る機会があること」が29.7%となっており、認知症と診断されていない場合より割合が多くなっています。

認知症の有無により、介護者の負担感や困りごとの度合いが異なっています。介護者が安心して介護を継続できるよう、要介護者の状態に応じた在宅サービスの充実とともに、介護者へのきめ細かい支援が重要となっています。

